SATO
DCS&Labeling Worldwide
株式会社 サトー
http://www.sato.co.jp

取扱説明書

SR400シリーズ

このたびは、当社バーコードプリンタSR400シリーズをお買い求めいただきまして、ありがとうございました。
本書は、はじめてSR400シリーズをお使いになる方が、短期間で基本的な操作を習得していただくことを目的としています。
本書をよくお読みいただき、SR400シリーズの機能を理解し、正しくお使いください。

●安全上のご注意……1
●設置及び取り扱い上の注意 ……4
●箱から出しましょう……5
●各部の名称……7
●用紙のセット……11
●オプションタイプのセット ……29
●電源を入れてみましょう……45
●動かしてみましょう……48
●あれ?どうしたのかな? ……95
●メモリカートリッジの取り扱い …105
●オプションについて……107
●毎日のお手入れ ……108
●基本仕様 ……110
●アフターフォローについて……113

サトー純正部品サプライ（ラベル・タグ・リボン）を必ずご使用ください。

安全上のご注意

本章では、プリンタのご使用時における安全について記載しております。
プリンタをご使用になる前に必ずよくお読みください。

▲絵表示について

この取扱説明書やプリンタの表示では、プリンタを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への被害や財産への被害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解して、本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。図の中に具体的な内容指示（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください。）が描かれています。

⚠ 警告

■不安定な場所に置かない



・ぐらついた台の上や傾いた所、振動のある場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因になります。

■水などの入った容器を置かない







・プリンタの周辺に花ビン、コップなど水や薬品の入った容器や小さな金属物を置かないでください。万一、こぼしたり、中に入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

■内部に異物を入れない







・プリンタの開口部（ケーブルの出口やメモリカートリッジ取付口など）から金属物や燃えやすいものを差し込んだり、落としたりしないでください。万一、内部に異物が入った場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■指定以外の電圧は使用しない



・指定された電源電圧（AC100V）以外は、使用しないでください。火災・感電の原因になります。

第２版　２００７年３月１２日　Ｑ００９３７００１
©２００７　株式会社サトー

⚠ 警告

■必ずアース線を接続して





- 必ずプリンタのアース線をアースへ接続してください。アース線を接続しないと感電の原因になります。

■電源コードの取り扱いについて







- 電源コードを傷つけたり、破損、加工したりしないでください。又、重いものを乗せたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■落としたり、破損したときは







- プリンタを落としたり、破損した場合は、速やかに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

■異常な状態で使用しない





- 万一、プリンタから煙がでている、変な臭いがするなどの異常が発生したまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに電源スイッチを切り、電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて、販売店、ディーラー又はサポートセンターに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

■分解しないでください





- プリンタの分解や改造をしないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店、ディーラー又はサポートセンターにご依頼ください。

■カッタについて



- カッタに手やものを入れないでください。ケガをする恐れがあります。

■ヘッド清掃液の取り扱いについて





- ヘッド清掃液は、火気厳禁です。加熱したり、火の中に放り込むことは、絶対に行わないでください。
- お子様が間違って飲み込まないように手の届かないところに保管してください。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医者と相談してください。

⚠ 注意

■湿度が高い場所に置かない



- プリンタを湿度の高い場所、結露する場所に置かないでください。結露した場合は、速やかに電源スイッチを切り、乾くまで使用しないでください。結露したまま使用すると、感電の原因となります。

■持ち運び







- 移動されるときは、必ず電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜き、外部との接続線を外したことを確認の上、行ってください。外さないまま移動すると、コード、接続線が傷つき火災・感電の原因になります。
- 用紙をセットしたまま、プリンタを持ち運ばないでください。用紙が落ち、ケガをする恐れがあります。
- プリンタを床や台の上などに置く場合、プリンタの足に指や手を挟まないように注意してください。

⚠ 注 意

■電源



•濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

■電源コード



•電源コードに熱器具を近付けないでください。熱器具を近付けた場合電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になります。



•電源コードをコンセントから抜くときは、必ず、プラグを持って抜いてください。電源コードを持って抜いた場合芯線の露出や断線し、火災・感電の原因になることがあります。



•本プリンタに付属の電源コードは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

■カバー



•カバーの開閉には、指を挟まないように注意して行ってください。
又、カバーが滑り落ちないようにしっかりと持って行ってください。

■サーマルヘッド



•印字後のサーマルヘッドは、高い温度になっています。印字直後の用紙の交換、清掃は、火傷をしないように注意して行ってください。



•サーマルヘッドの端を素手で触るとケガをする恐れがあります。用紙の交換、清掃は、ケガをしないように注意して行ってください。

•サーマルヘッドの交換は、ケガ、火傷及び感電の恐れがありますので注意して行ってください。

■サーマルヘッドの開閉



•サーマルヘッドの開閉には、用紙以外の異物を挟まないように注意して行ってください。ケガ、破損の原因になることがあります。

■用紙のセット



•ロール紙をセットするとき、用紙と供給部の間に指を挟まないように注意して行ってください。



•ファンフォールド紙通し口のバックカバーを取外し、取付けるとき、ケガをしないように注意して行なってください。

■簡易カッタ



•刃物の構造をしています。手を切らぬように注意してください。

■長期間ご使用にならないとき



•プリンタを長期間ご使用にならないときは、安全のため電源コードの抜き差しプラグをコンセントから抜いてください。

■お手入れ・清掃のとき



•プリンタのお手入れや清掃を行うときは、安全のため電源コードの抜き差しプラグをコンセントから抜いてから行ってください。

ご 注 意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2） 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、購入されました販売店ディーラーへご連絡ください。
（4） この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

設置及び取り扱い上の注意

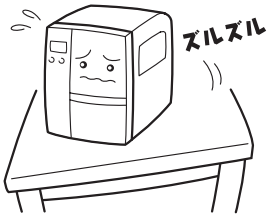
つぎのことに注意して、設置、取り扱いをおこなってください。

▲設置場所について

つぎのことに注意して、本機を設置してください。

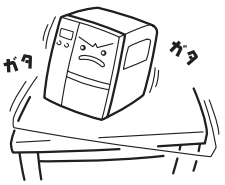
水平な場所に置いてください。

設置する場所が、でこぼこや斜めの場合、きれいな印字ができません。また、故障の原因になり、プリンタの寿命を短くする恐れがあります。



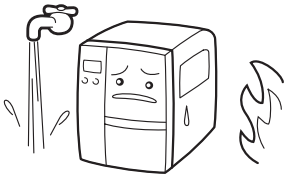
振動のある場所には置かないでください。

振動のある場所には設置しないでください。また、ロール紙をセットしたままプリンタを運んだり、大きな振動を与えないでください。



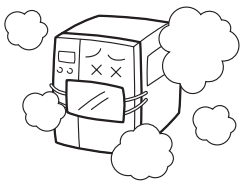
高温・多湿の場所には置かないでください。

温度・湿度が高くなる場所に設置しないでください。
温度・湿度が高くなりますと故障の原因になります。



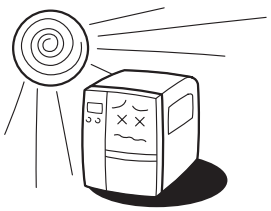
ほこりを避けて使用してください。

ほこりがつくときれいに印字できなくなることがあります。また、故障の原因になるだけでなく、製品の寿命を短くする恐れがあります。



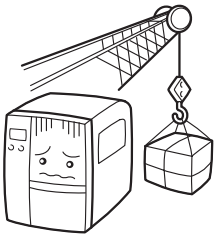
直射日光はきらいです。

本機は光学センサを内蔵していますので、直射日光が当たるとセンサが誤作動を起こすことがあります。印字するときは必ずカバーを閉じてください。
ハクリユニットを使用した際は、屋外で使用されますとラベル誤発行を起こす可能性があります。



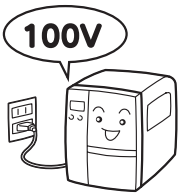
クレーンやプレス機などのそばには置かないでください。

クレーンやプレス機など大容量の電気を使う機器は、電気ノイズや電源の電圧低下を起こす原因になります。本機の誤動作や故障のもとになりますので、これらの機器のそばに本機を置かないでください。



▲電源について

本機は、AC100Vの交流電源が必要です。



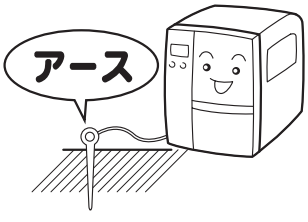
電圧の低下などの変動が少ない電源から電気を供給してください。

ヒーターや冷蔵庫などの消費電力の大きい電気製品と同じ電源や、その近くの電源から電気を供給しないでください。電源の電圧の低下などにより誤動作を起こすことがあります。



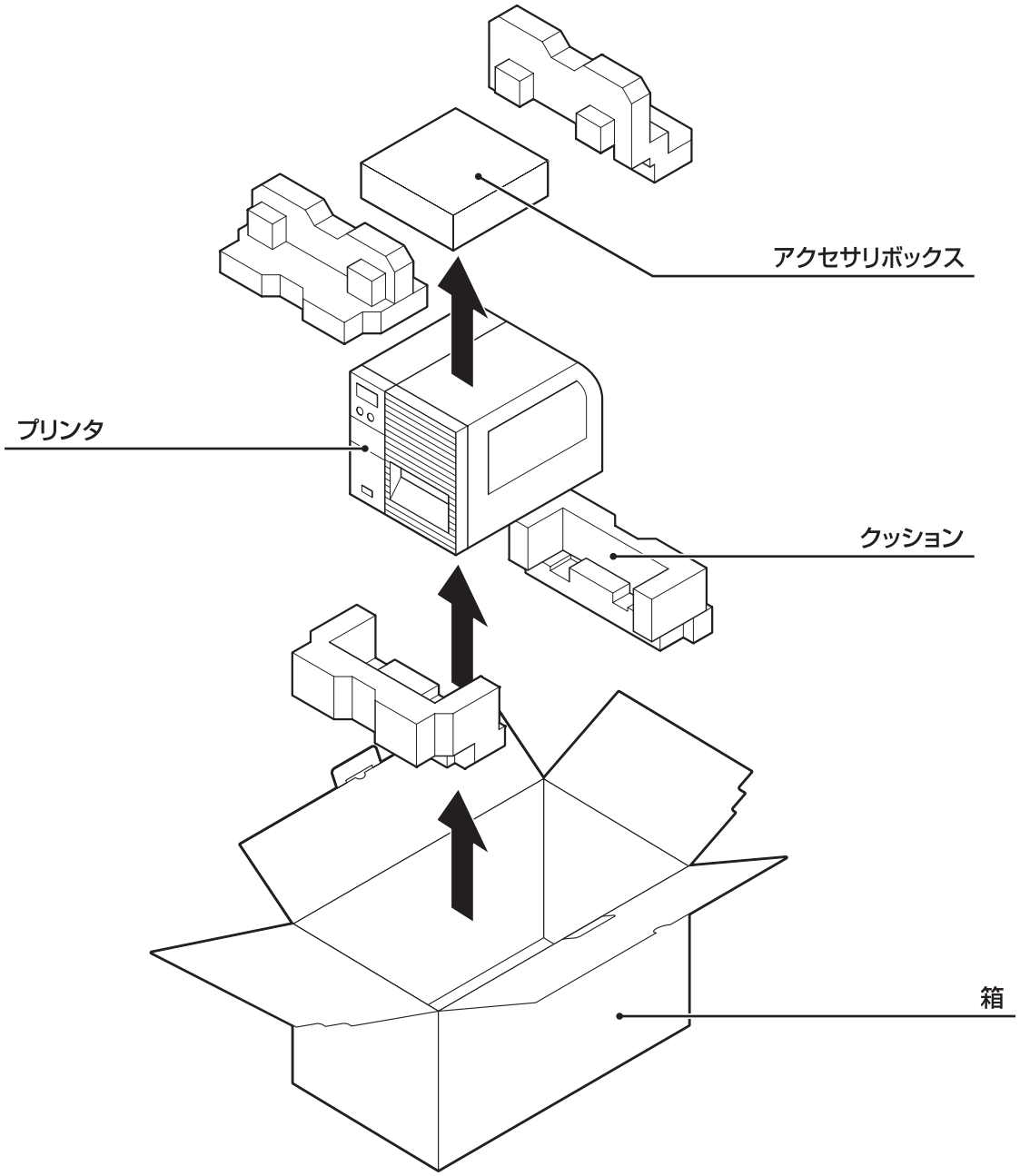
必ずアース線を接続してください。

アース設備がない場合は、アース設備工事をおこなってください。



箱から出しましょう

本機を箱から出して設置します。
それでは箱を開けましょう。



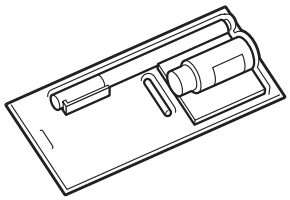
※緩衝材（プリンタ押えのクッション）の形状が
一部異なる場合があります。

添付品の確認

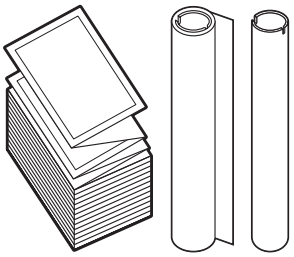
箱を開けたら、つぎの添付品が揃っているか確認してください。
もし、足りないものがありましたら、購入されました販売店・ディーラーまでお問い合わせください。



保証書



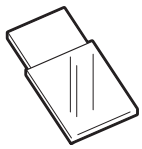
クリーニングセット



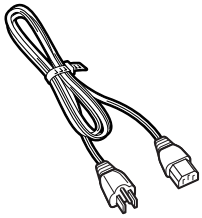
テスト用ラベルとリボン
リボンが紙管巻き取り（オプション）の場合、添付されます。



メンテナンス案内書
サービスネットワーク



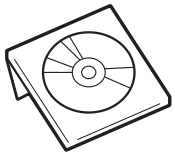
ヘッドクリーニングシート
（ラッピングシート）



電源コード



取扱説明書（本書）と
セットアップガイド

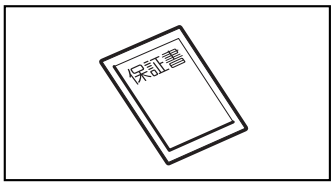


アクセサリCD-ROM

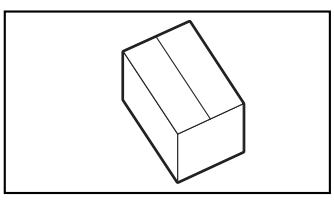


2極アダプタ

▲保証書と箱は大切に



本機は、正常なご使用のもとにおける故障については、納入日より6カ月間を保証期間として無償修理いたします。修理をご依頼いただくとき、添付の保証書によるユーザー登録が必要です。保証書は大切に保管してください。万一、保証書を紛失されたときは、修理が有償となりますのでご了承ください。



また、本機を梱包していた箱とプリンタ押え（緩衝材）も保管してください。修理をご依頼いただくときに、この箱に本機を梱包して送っていただきます。

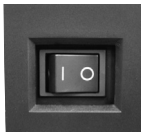
各部の名称

▲プリンタ本体



操作パネル部
メッセージを表示するディスプレイと操作を行う2つのキー、プリンタの状態を示す5つのLEDがあります。

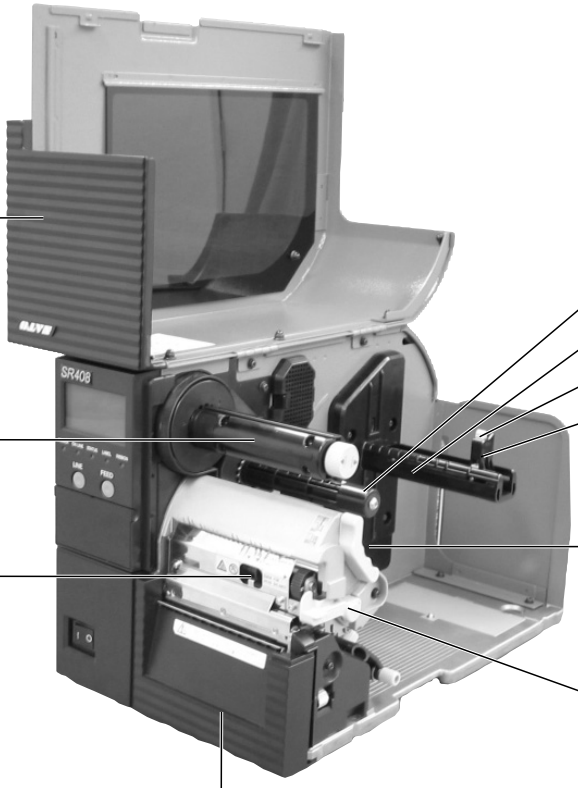
電源スイッチ
本機の電源を入れるとき、切るときに使用します。
I側に押すと電源が入ります。
○側に押すと電源が切れます。



オープンカバー

操作パネルカバー
中には各種操作キー、調整用ボリューム等があります。

フロントカバー



オープンカバー

リボン供給部

ロール紙供給部

ロールガイドレバー

ロールガイド

リボン巻き取り部

ヘッドクローズレバー

ヘッド圧調整ノブ

ヘッドオープンレバー

フロントカバー



ミニLANインタフェースカード（オプション）

インタフェースカード（オプション）
IEEE1284、高速RS-232C、USB、LAN2、無線LAN2から1つ選択できます。

EXTコネクタ（オプション）
外部信号インタフェース

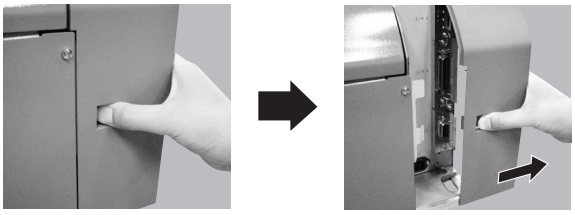
AC入力電源端子（電源コネクタ）
電源コードを差し込み、本機に電源を供給します。

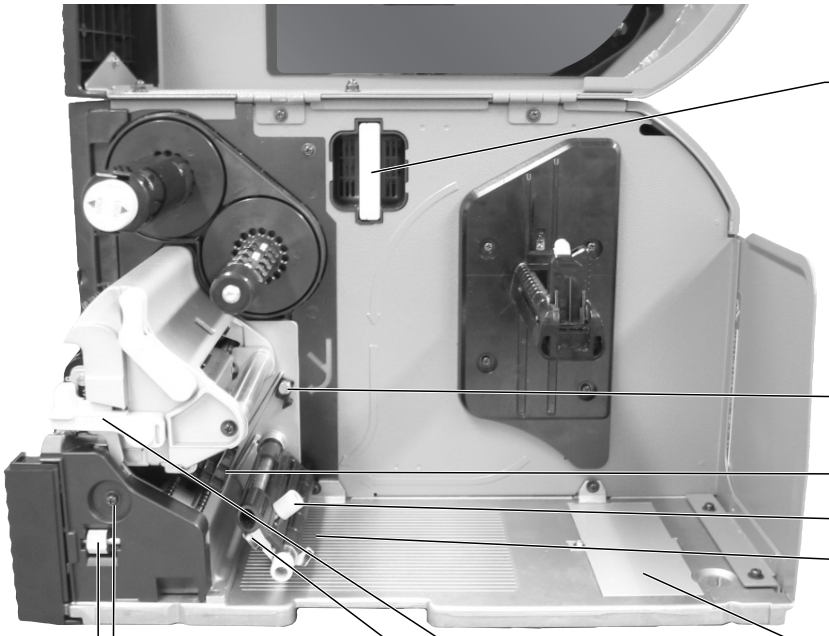
電源コード用フック
電源コードを引っ掛ける溝です。



ケーブルカバー

ケーブルカバーの取り外し方
ケーブルカバーのつめを押して横にスライドさせて、取り外します。





メモリカートリッジ
メモリカートリッジカバーのつまみを内側に倒して取り外します。
詳細は「メモリカートリッジの取り扱い」を参照してください。
→105ページ

ラベルダンパストッパ

用紙センサカバー

ラベルガイドつまみ

ラベルダンパ

ファンフォールドカバー

ヘッドオープンレバー

ラベルガイド

ストッパスクリュー

メンテナンス用スクリュー



ヘッドクローズレバー

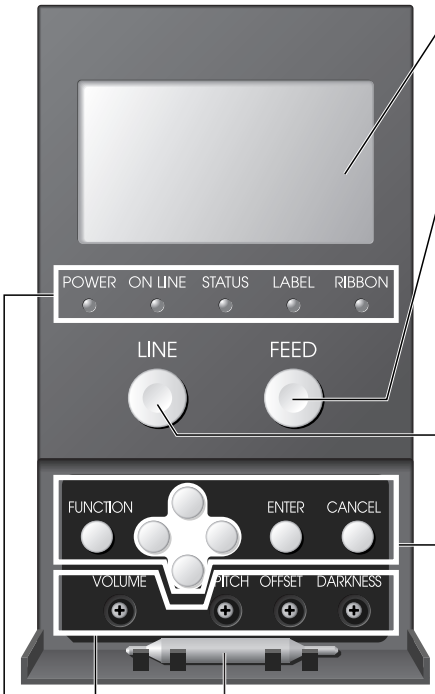
サーマルヘッド（消耗部品）
用紙に印字する部分です。
定期的にお手入れしてください。

プラテンローラ（消耗部品）
印字した用紙を送ります。
定期的にお手入れしてください。

ラベルガイドつまみ

▲操作パネル

アイコン、操作メッセージやエラーメッセージが表示されます。



ディスプレイ
アイコン、操作メッセージやエラーメッセージを表示します。

FEED キー
用紙の紙送りをします。1回押すと1枚分の用紙を送り出します。
※電源をON、用紙をセットしたときなど用紙が正規位置にない場合があります。このような場合には、LINE キーを押してオフライン状態にし、FEED キーを必ず押して用紙を正規位置に合わせてください。

LINE キー
印字のスタート・ストップ及びデータ送受信のオン・オフを切り替えます。

操作キー
プリンタの状態を表示します。

FUNCTION
各設定モードで、モード選択画面に戻ります。

◀・▶・▲・▼
各設定モードで、数値を入力、カーソル移動します。

ENTER
各設定モードで、設定した内容を決定します。

CANCEL
印字データをキャンセルします。
各設定モードで、前の設定項目に戻ります。

LED
プリンタの状態を表示します。

POWER
電源ONの時、点灯します。

ONLINE
通信可能の時、点灯します。
通信エラーの時、点滅します。

STATUS
エラーが発生した時、点灯、点滅します。
データ送受信の時、点滅します。

LABEL
用紙エラーの時、点灯、点滅します。

RIBBON
リボンエラーの時、点灯、点滅します。

調整用ボリューム
サービス調整用のボリュームです。特に指示のない限り変更しないでください。

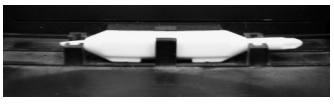
VOLUME
ブザー音量調整用

PITCH
印字位置調整用

OFFSET
カッタ、ハクリ、ティアオフ停止位置調整用

DARKNESS
印字濃度調整用

ボリューム調整用ドライバ

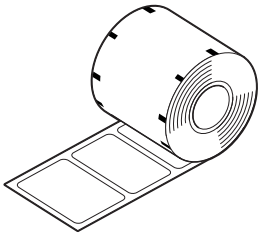


用紙のセット

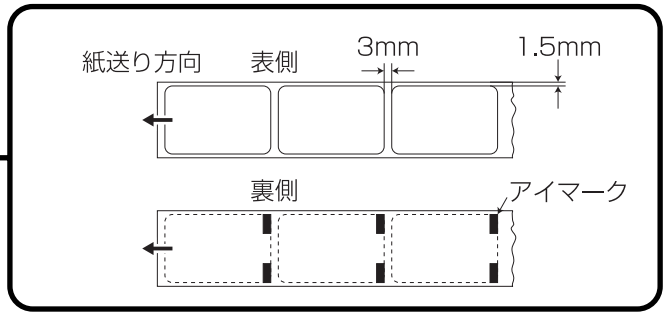
本機はロール紙・ファンフォールド紙に印字することができます。
ロール紙とファンフォールド紙では、用紙のセットの仕方が違います。
本機は、アイマークをセンサで検知することにより、適切な印字を行います。

本機の用紙は、当社純正品をお使いください。
規格以外の用紙は使用しないでください。

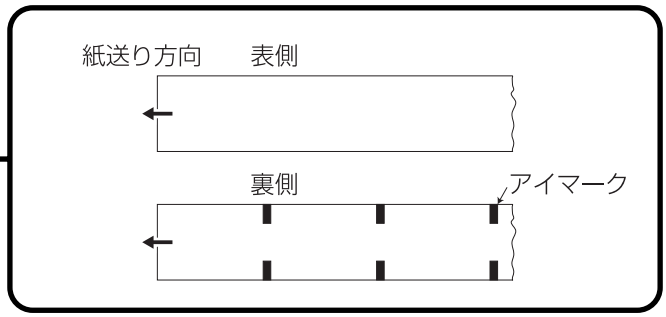
ロール紙



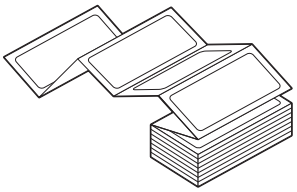
ラベル



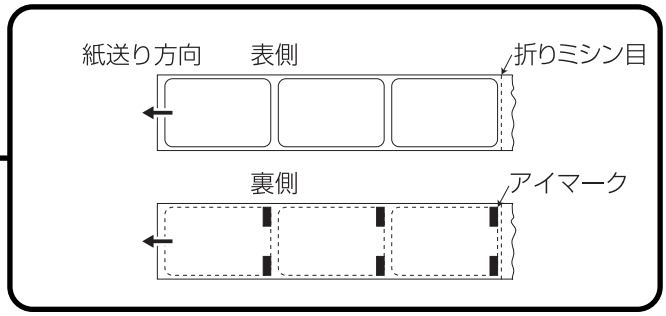
厚紙



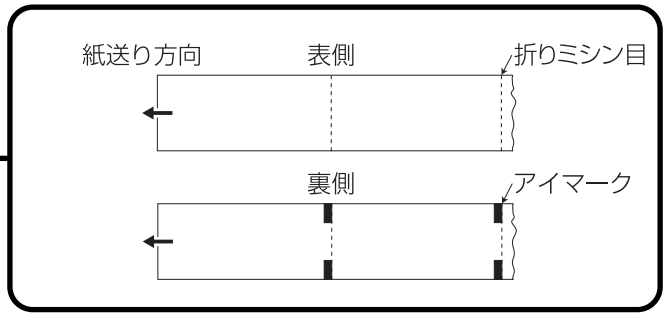
ファンフォールド紙



ラベル



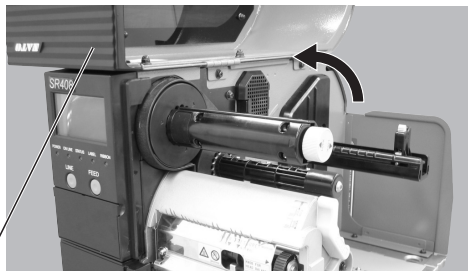
厚紙



ロール紙のセット

1

オープンカバーを開きます。

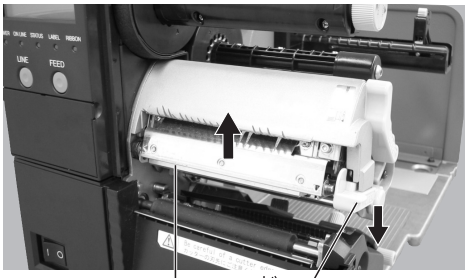


注意

オープンカバーを開くときは、開く途中でオープンカバーが閉まらないように上部までしっかり開いてください。

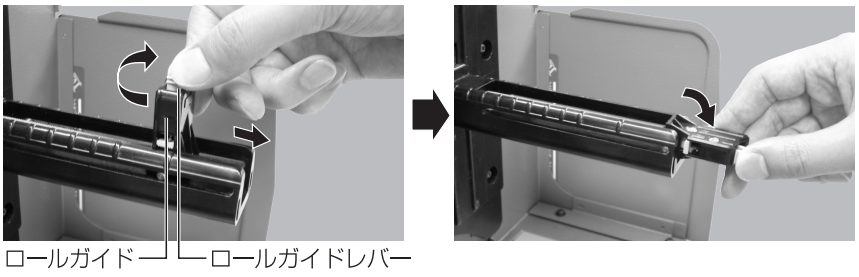
2

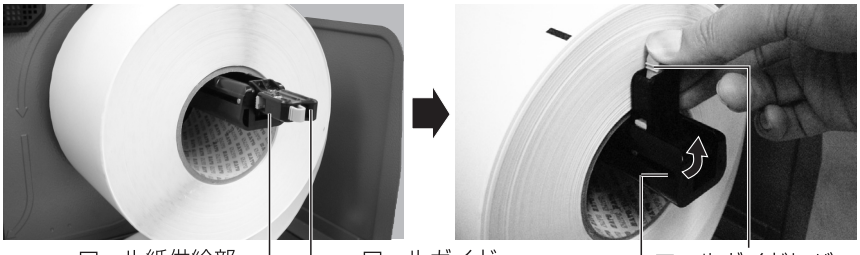
紫色のヘッドオープンレバー（▼OPEN）を下に下げます。
サーマルヘッドが開きます。



3

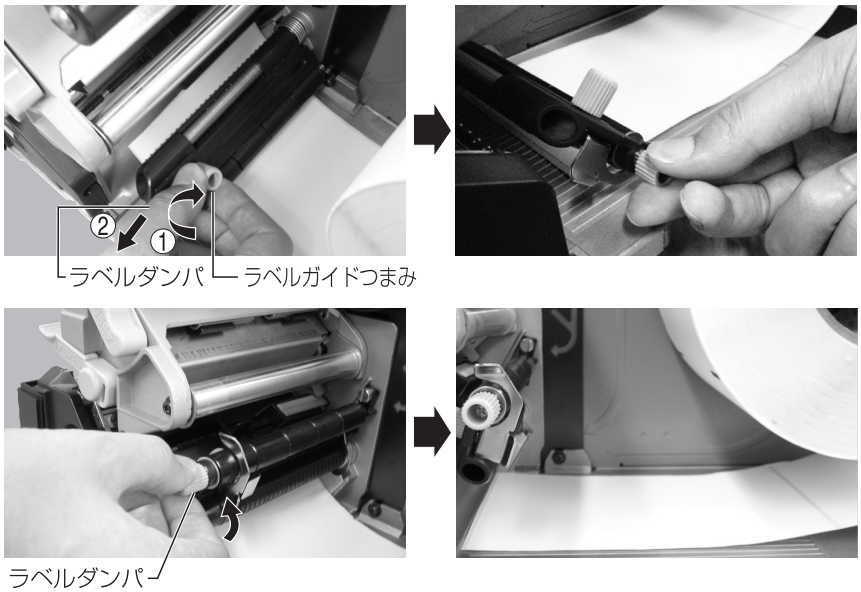
ロールガイドレバーを倒しながら、ロールガイドを端まで移動し、倒します。
ロール紙供給部に用紙をセットします。
ロールガイドを起こして用紙が動かないように調整します。





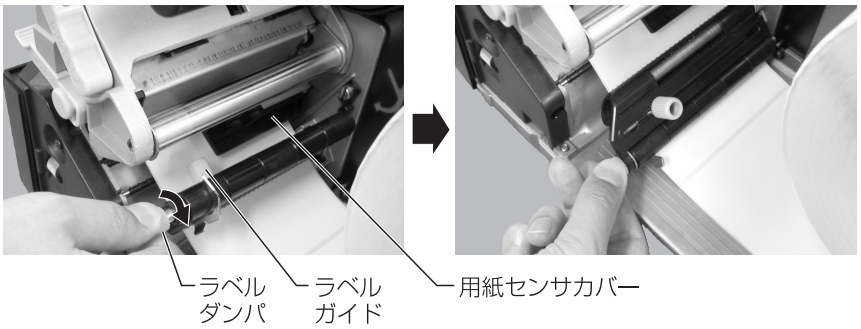
4

ラベルガイドつまみをゆるめて、手前の位置にセットします。
ラベルダンパを引き上げます。



5

用紙をラベルガイド、用紙センサカバーの下に通します。
ラベルダンパのつまみを手前に引くと、ラベルダンパは元の位置に戻ります。

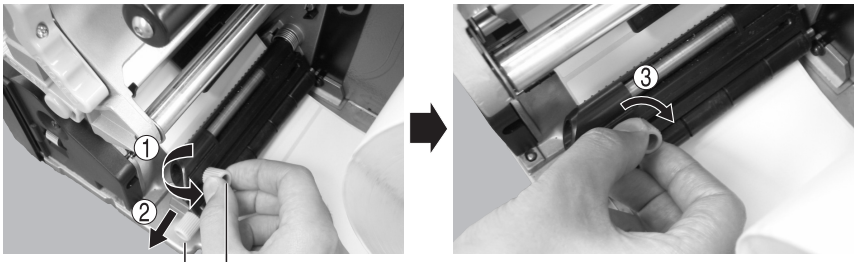


注意

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをする恐れがあります。
- 用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

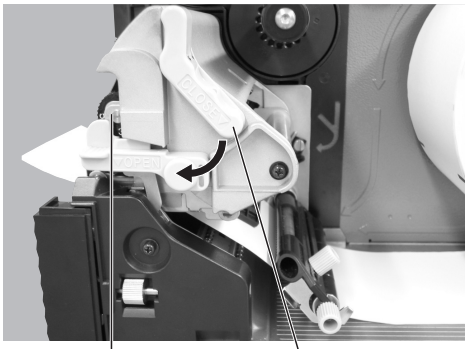
6

ラベルガイドつまみをゆるめて、ラベルガイドを用紙の端に軽く触れるようにし、ラベルガイドつまみをしっかりと締めてください。



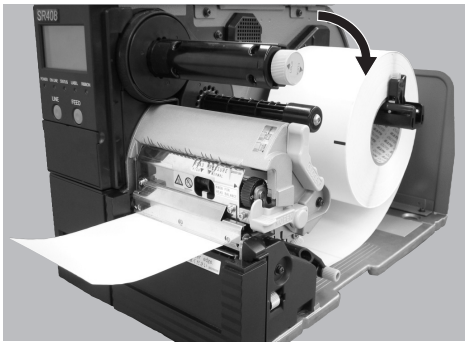
7

紫色のヘッドクローズレバー（CLOSE▼）を矢印の方向に回し、サーマルヘッドを閉じます。サーマルヘッドはロックするまでしっかり閉じてください。



8

オープンカバーを閉めます。



注意

オープンカバーを閉めるときは、指をはさまないように注意して行ってください。

▲用紙幅においての調整

基本的には無調整できれいに印字されるように調整しておりますが、使用される用紙の幅によっては、きれいに印字されない場合があります。

調整方法

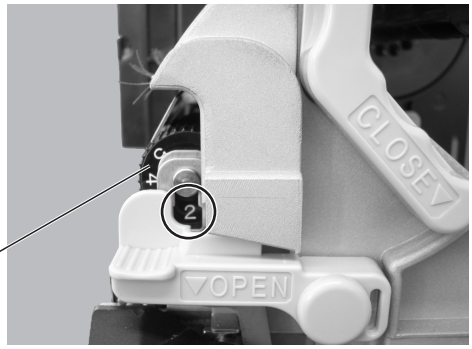
用紙幅に対するヘッド圧バランスの目盛りにヘッドプレッシャーノブを回して、調整してください。

ヘッド圧バランスの目盛り	用紙幅
1	25～42mm
2	42～59mm
3	59～78mm
4	78～95mm
5	95～131mm

あくまでも用紙幅に対するヘッド圧バランスの目盛りは、目安になります。きれいに印字されている場合は、調整しないでください。
ヘッド圧バランスの目盛りが左図のようにセットされた場合は、「2」となります。



ヘッドプレッシャーノブ



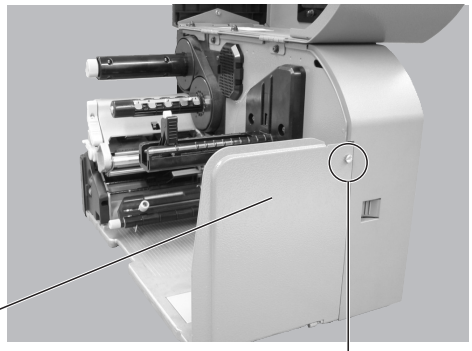
ヘッド圧バランスの目盛り

ファンフォールド紙のセット

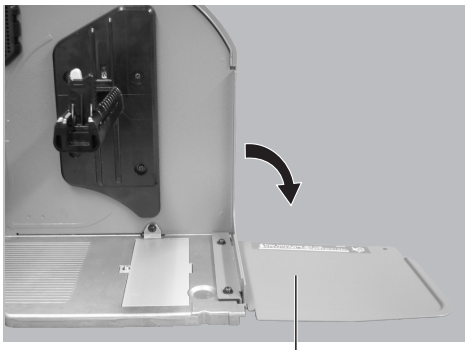
ファンフォールド紙をプリンタの後ろに置く場合

1 オープンカバーを開けます。
ロール紙のセットの1項を行います。

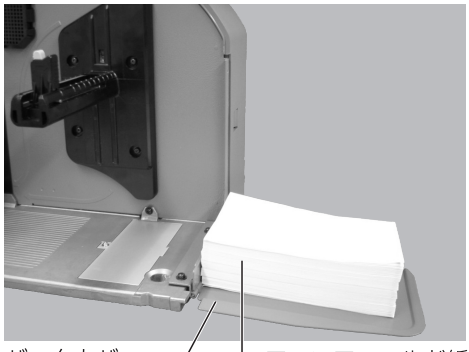
2 バックカバーのネジ1本を外します。
外したネジはなくさないように保管してください。



3 外したバックカバーを図のように後ろに倒します。
ファンフォールド紙の積み高さは20ｃｍ以下にしてください。

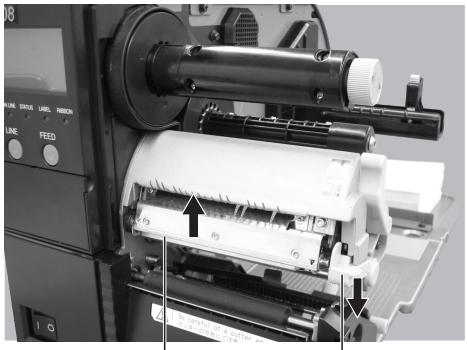


4 後に倒したバックカバーに引かれている線に合わせて、ファンフォールド紙をセットします。



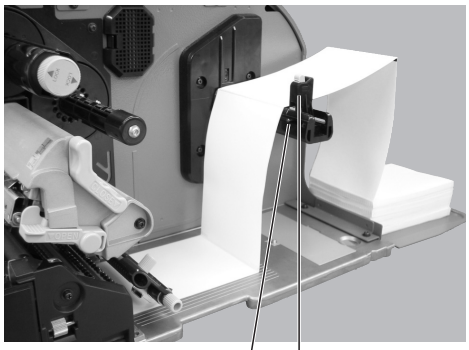
5

紫色のヘッドオープンレバー（▼OPEN）を下に下げます。
サーマルヘッドが開きます。



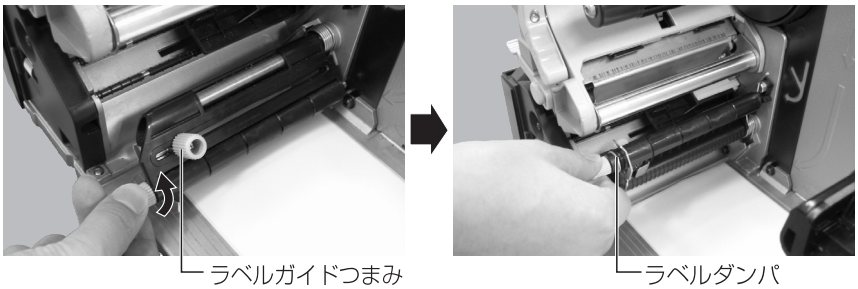
6

背面よりロール紙供給部に用紙を通します。
ロールガイドが用紙の端に軽く触れるようにし、用紙の左右がずれないように調整します。



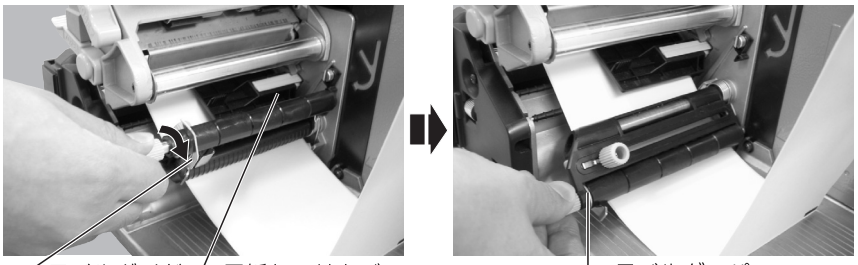
7

ラベルガイドつまみをゆるめて、手前の位置にセットします。
ラベルダンパを引き上げます。



8

用紙をラベルガイド、用紙センサカバーの下に通します。
ラベルダンパのつまみを手前に引くと、ラベルダンパは元の位置に戻ります。

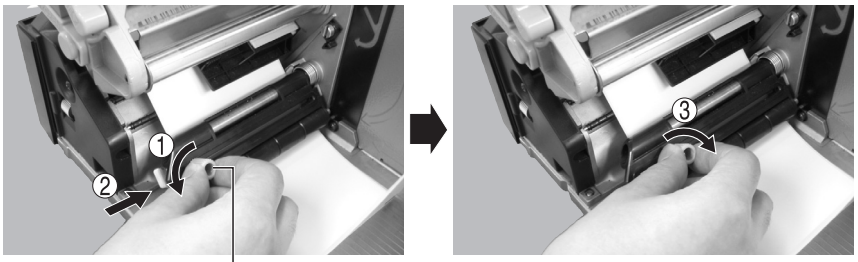


注意

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをする恐れがあります。
- 用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

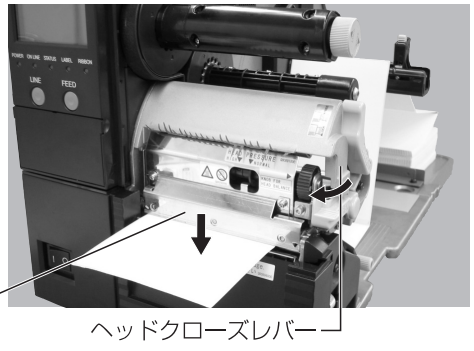
9

ラベルガイドつまみをゆるめて、スライドガイドを用紙の端に軽く触れるようにし、ラベルガイドつまみをしっかりと締めてください。



10

紫色のヘッドクローズレバー（CLOSE▼）を矢印の方向に回し、サーマルヘッドを閉じます。
サーマルヘッドはロックするまでしっかり閉じてください。



11 オープンカバーを閉めます。
ロール紙のセットの8項を行います。

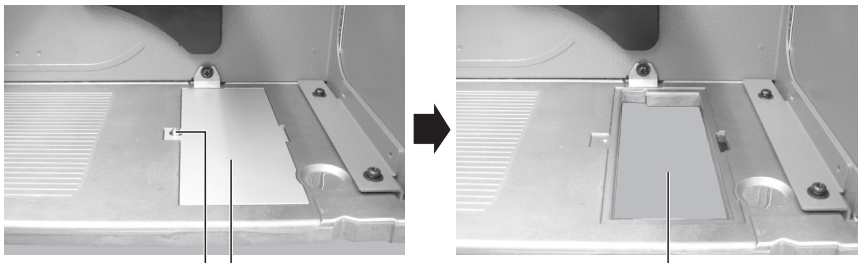
注意

オープンカバーを閉めるときは、指をはさまないように注意して行ってください。

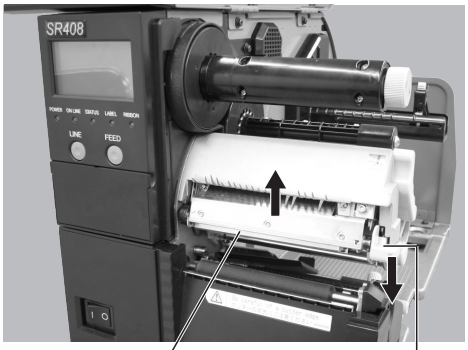
ファンフォールド紙をプリンタの下に置く場合

1 オープンカバーを開けます。
ロール紙のセットの1項を行います。

2 ファンフォールドカバーのネジ1本を外します。
外したファンフォールドカバーとネジはなくさないように保管してください。

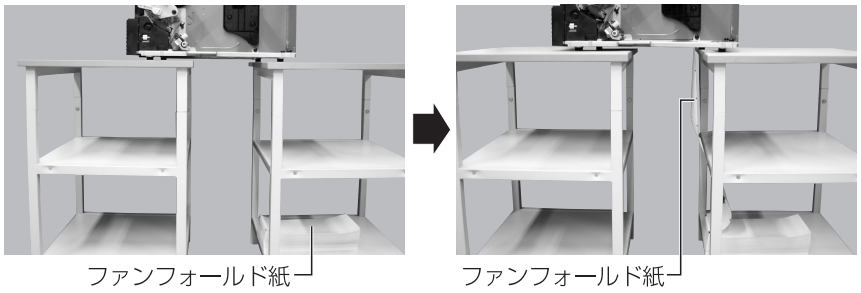


3 紫色のヘッドオープンレバー
(▼OPEN)を下に下げます。
サーマルヘッドが開きます。



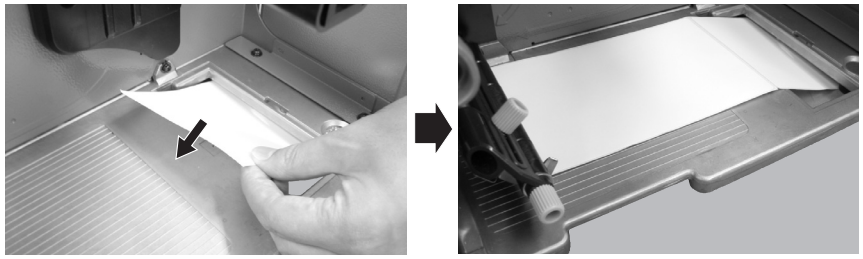
4

ファンフォールド挿入口にまっすぐになるようにファンフォールド紙をセットします。



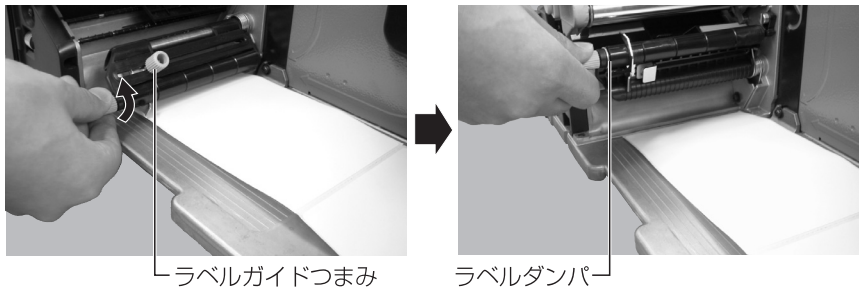
5

ファンフォールド挿入口より用紙を通します。



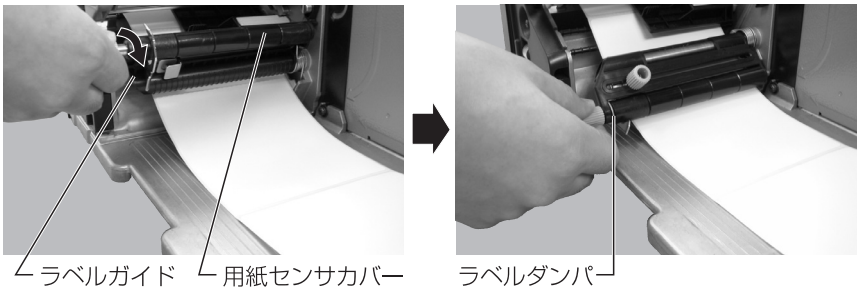
6

ラベルガイドつまみをゆるめて、手前の位置にセットします。
ラベルダンパを引き上げます。



7

用紙をラベルガイド、用紙センサカバーの下に通します。
ラベルダンパのつまみを手前に引くと、ラベルダンパは元の位置に戻ります。

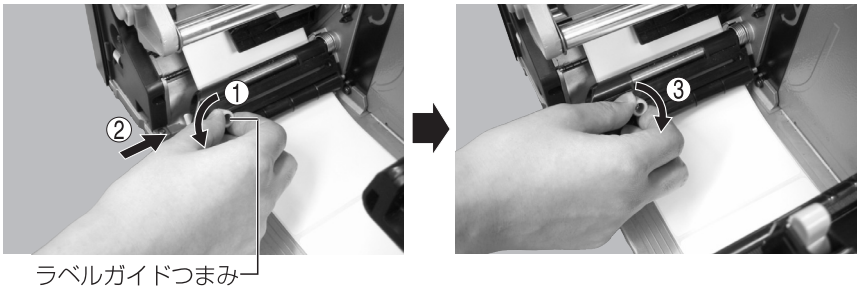


注意

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後の用紙の交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをする恐れがあります。
- 用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

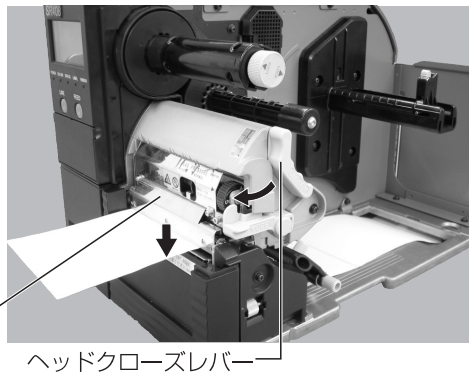
8

ラベルガイドつまみをゆるめて、スライドガイドを用紙の端に軽く触れるようにし、ラベルガイドつまみをしっかりと閉めてください。



9

紫色のヘッドクローズレバー（CLOSE▼）を矢印の方向に回し、サーマルヘッドを閉じます。
サーマルヘッドはロックするまでしっかり閉じてください。



10 オープンカバーを閉めます。
ロール紙のセットの8項を行います。

注意

オープンカバーを閉めるときは、指をはさまないように注意して行ってください。

カーボンリボンのセット

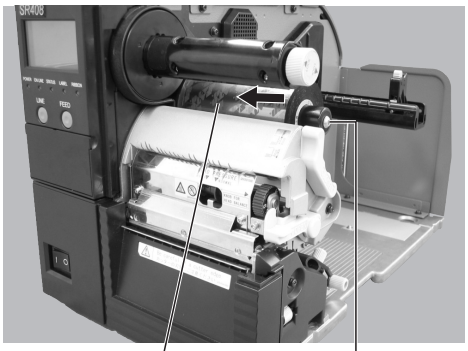
本機のカーボンリボンは、当社純正品をお使いください。
規格以外のカーボンリボンは使用しないでください。

直巻きの場合

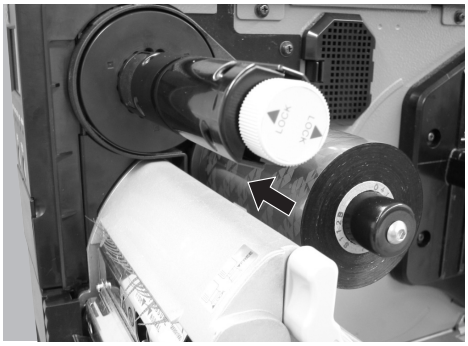
1 オープンカバーを開けます。
ロール紙のセットの1項を行います。

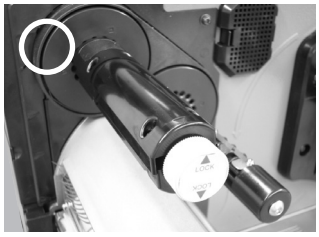
2 紫色のヘッドオープンレバー（▼OPEN）を下に下げます。サーマルヘッドが開きます。
ロール紙のセットの2項を行います。

3 リボン供給部にカーボンリボンを入れてください。
カーボンリボンを奥まで入れてください（巻き方向に注意してください。）。

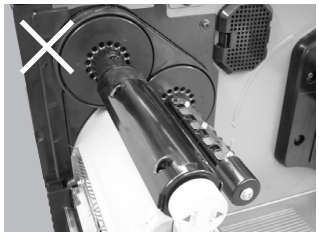


4 リボン巻き取り部が、奥側にセットされていることを確認してください。





リボン巻取り部が奥側にセットされている状態

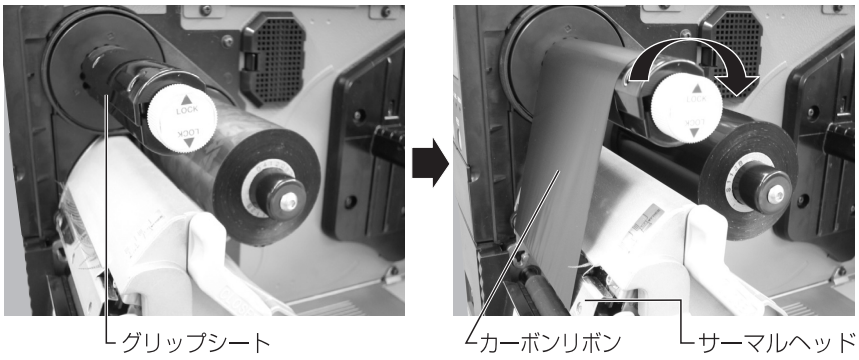


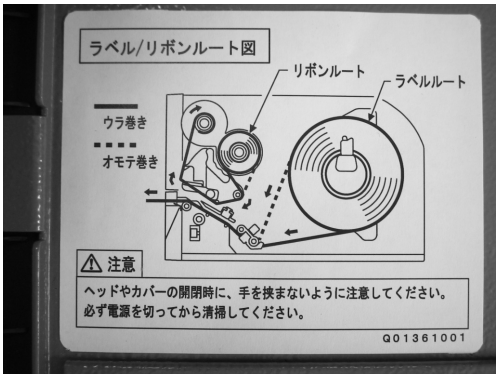
リボン巻取り部が手前に引き出されている状態

5

カーボンリボンをリボン供給部よりサーマルヘッドの下を通して、リボン巻き取り部へ通します。リボン巻き取り部のグリップシートに直接カーボンリボンを巻きつけて、数回矢印の方向へ巻き取ります。
横から見て右図のようにカーボンリボンがセットされていることを確認してください。

トップカバーに貼られているルートステッカ装着図を参照してください。





ルートステッカ装着図

注意

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後のカーボンリボンの交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをする恐れがあります。
- 用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

6

用紙をセットします。
ロール紙のセットの3～6項を行います。

7

紫色のヘッドクローズレバー（CLOSE▼）を矢印の方向に回し、サーマルヘッドを閉じます。
サーマルヘッドはロックするまでしっかり閉じてください。



8

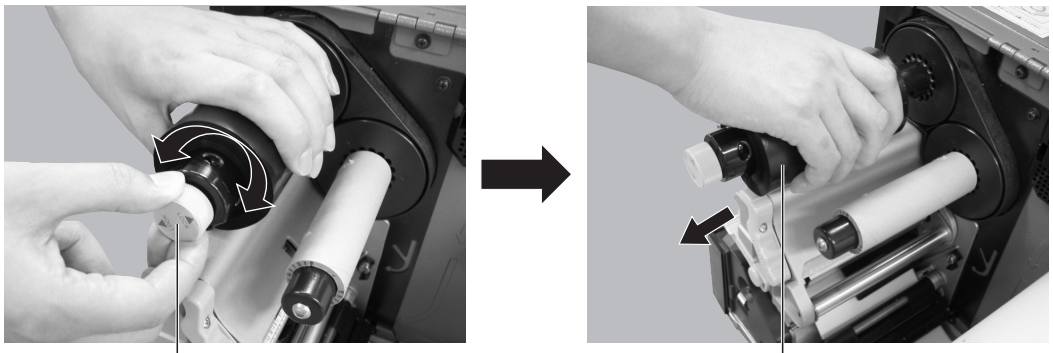
オープンカバーを閉めます。
ロール紙のセットの8項を行います。

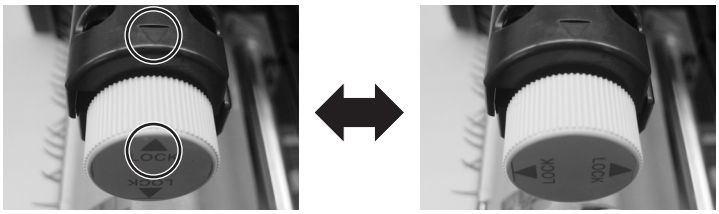
注意

オープンカバーを閉めるときは、指をはさまないように注意して行ってください。

▲カーボンリボンの取り除きかた

巻き取ったカーボンリボンをつかみ、ノブを90度回しロックを解除して、手前に引き抜きます。
カーボンリボンを取り除いた後、リボン巻き取り部を押し込みながら、ノブを回しロックします。





リボン巻き取り部がロックした状態　　ロックが解除された状態

注意

- カーボンリボン1巻ごとに、巻き取ったカーボンリボンを必ず取り除いてください。
- カーボンリボンを取り除く場合、手がインクで汚れる場合があります。
- ロックが解除された状態でのカーボンリボンの巻き取りは出来ません。

紙管巻きの場合（工場オプション）

紙管巻きの場合は、リボン巻き取りシャフトの交換（有償）が必要となります。

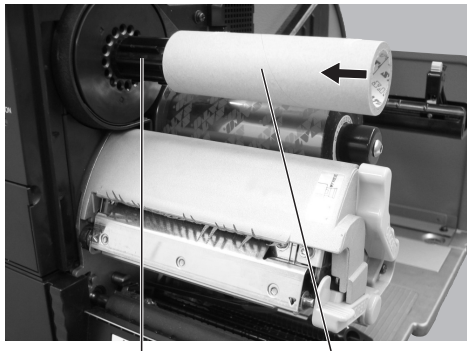
1 オープンカバーを開けます。
ロール紙のセットの1項を行います。

2 紫色のヘッドオープンレバー（▼OPEN）を下に下げます。サーマルヘッドが開きます。
ロール紙のセットの2項を行います。

3 リボン供給部にカーボンリボンを入れてください。
カーボンリボンを奥まで入れてください（巻き方向に注意してください。）。

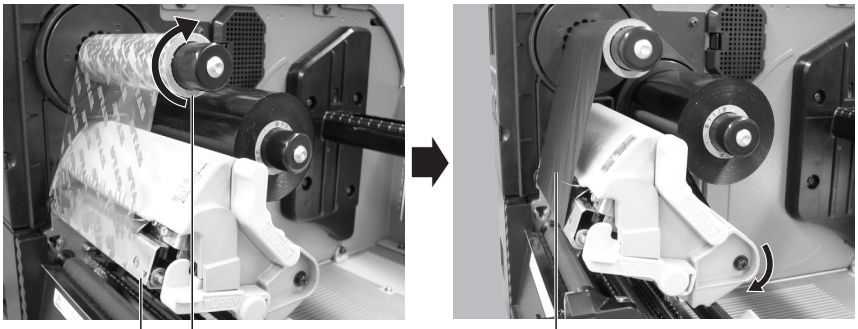


4 リボン巻き取り部にリボンコアをセットします。



5

カーボンリボンをリボン供給部よりサーマルヘッドの下を通して、リボン巻き取り部へ通します。リボンコアにカーボンリボンをテープなどで貼り付けて、数回矢印の方向へ巻き取ります。
横から見て下図のようにカーボンリボンがセットされていることを確認してください。



注意

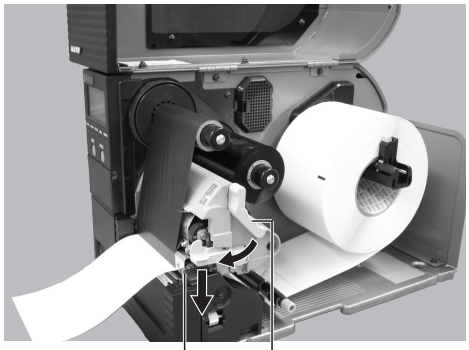
- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後のカーボンリボンの交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをする恐れがあります。
- 用紙交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

6

用紙をセットします。
ロール紙のセットの3～6項を行います。

7

紫色のヘッドクローズレバー（CLOSE▼）を矢印の方向に回し、サーマルヘッドを閉じます。
サーマルヘッドはロックするまでしっかり閉じてください。



8 オープンカバーを閉めます。
ロール紙のセットの8項を行います。

注意

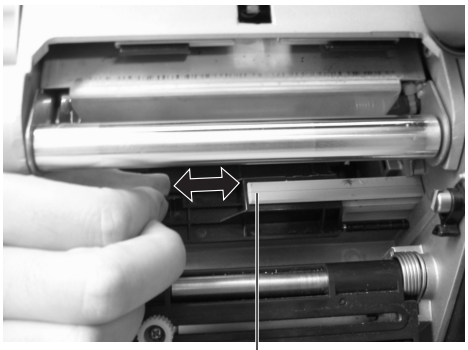
オープンカバーを閉めるときは、指をはさまないように注意して行ってください。

用紙センサの調整

基本的には調整不要です。

1 オープンカバーを開けます。
ロール紙のセットの1項を行います。

2 センサ部をスライドさせて、用紙センサの位置を調整します。



3 オープンカバーを閉めます。
ロール紙のセットの8項を行います。

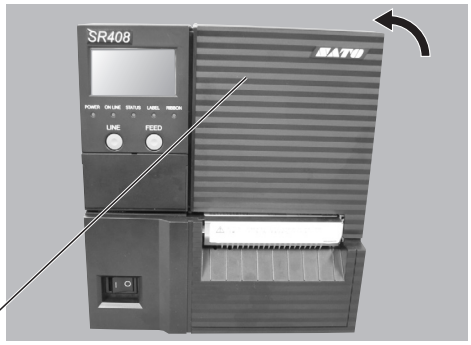
注意

オープンカバーを閉めるときは、指をはさまないように注意して行ってください。

オプションタイプのセット

カッタタイプ （工場オプション）

1 オープンカバーを開けます。



2 用紙をセットします。
ロール紙のセットの2～6項を行います。

3 カッタユニットに用紙を通し、
サーマルヘッドを閉じます。

4 オープンカバーを閉めます。
ロール紙のセットの8項を行います。

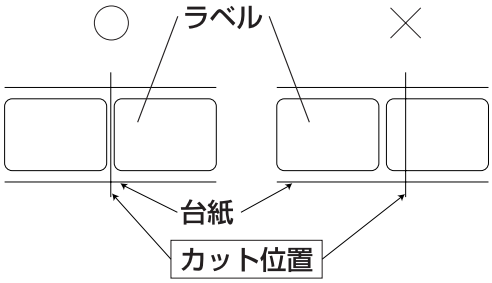
⚠ 注意

- カッタに手やものを入れないでください。ケガをする恐れがあります。
- 刃物の構造をしています。手を切らぬように注意してください。

カット位置の調整

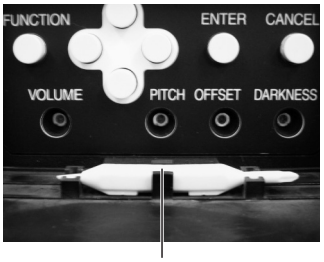
▲ラベルのカット

ラベル使用時のカット位置は、ラベルとラベルの間、カストリ（台紙のみの部分）が正規のカット位置となります。



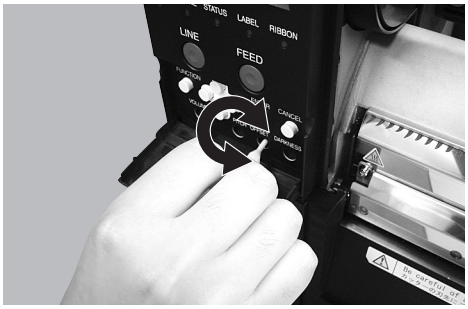
▲カット位置の調整

カット位置が正規の位置にない場合、操作パネルカバーに添付してある、ボリューム調整用ドライバのプラス側を使用して「OFFSET」調整を行います。



ボリューム調整用ドライバ

右回し：印字方向に対し前にラベル停止する

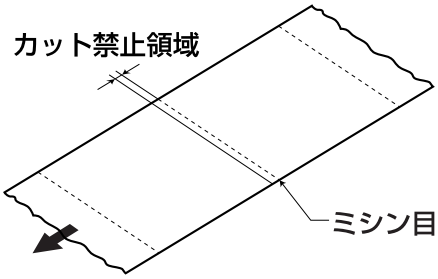


左回し：印字方向に対し後ろにラベル停止する

（ボリューム調整用ドライバを使用してください。）

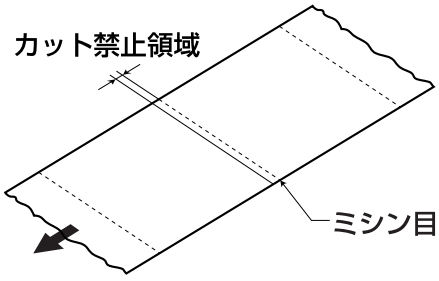
▲ミシン目のある用紙のカット

ミシン目のある用紙では、ミシン目およびミシン目の手前はカット禁止領域です。
動作不良の原因になります。
ミシン目およびミシン目の手前をカットしている場合、ミシン目の後ろでカットするようにボリューム調整用ドライバのプラス側を使用して「OFFSET」調整を行います。

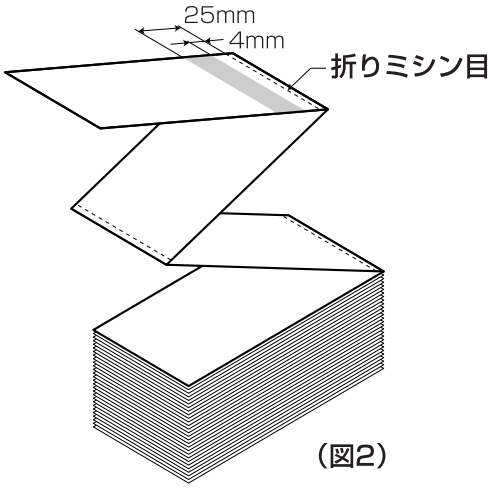


以下の項目は本機で使用できる用紙の仕様となりますので、使用する前にご確認ください。

①用紙厚さ（台紙含）は0.060mm～0.268mmです。
詳しくは、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにお問い合わせください。
②カット精度は、±1.5mmです。
③カッタユニットは、カットピッチが20～400mmまで有効です。
但し、使用条件によってはカットサイズを規制する場合があります。
④ミシン目の+1mmは、カット禁止領域（図1）です。
⑤ファンフォールド紙の折りミシン目から+4mm～+25mmはカット禁止領域（図2）です。



（図1）

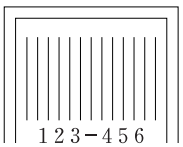


（図2）

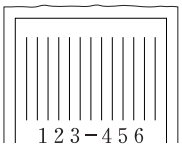
カッタの交換

カッタを使用していきますと、切れが悪くなりカット面がケバ立ちます。
このような状態になりましたら、カッタユニットの交換が必要です。
その際は、販売店、ディーラーまたはサポートセンターにご連絡ください。

○



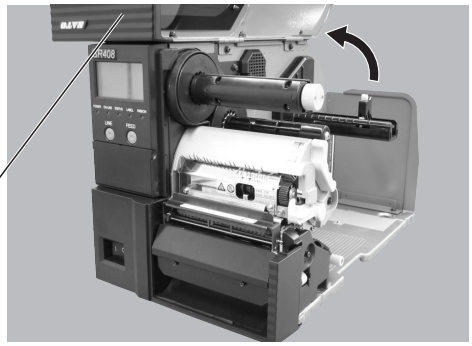
×



簡易ハクリタイプ （工場オプション）

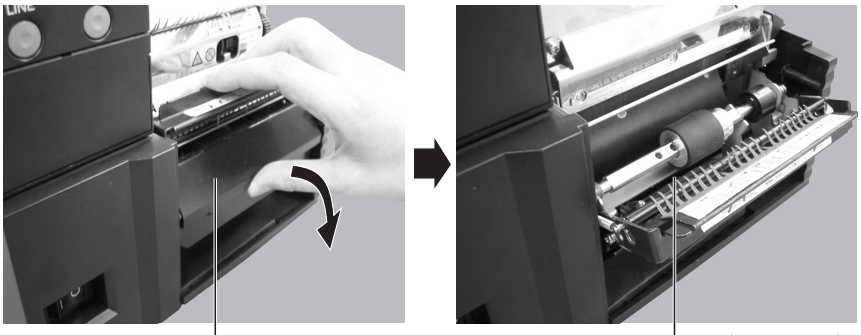
▲用紙のセット

1 オープンカバーを開きます。



2 紫色のヘッドオープンレバー（▼OPEN）を下に下げます。サーマルヘッドが開きます。
ロール紙のセットの2項を行います。

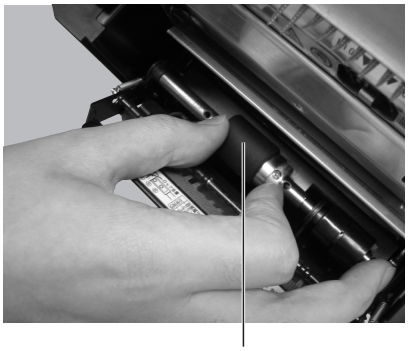
3 ハクリ開閉レバーを手前に引き、ハクリユニットを開けます。



4

使用される用紙の幅に合わせて、
プレッシャローラを左右に移動し、
ロックがカチッととまる位置に
セットしてください。
プレッシャローラは、用紙幅のほぼ
真ん中になるようにセットします。

プレッシャローラのロック位置（プリンタ正面左から）	用紙幅
1	25～35mm
2	36～54mm
3	55～73mm
4	74～92mm
5	93～111mm
6	112～131mm



プレッシャローラ

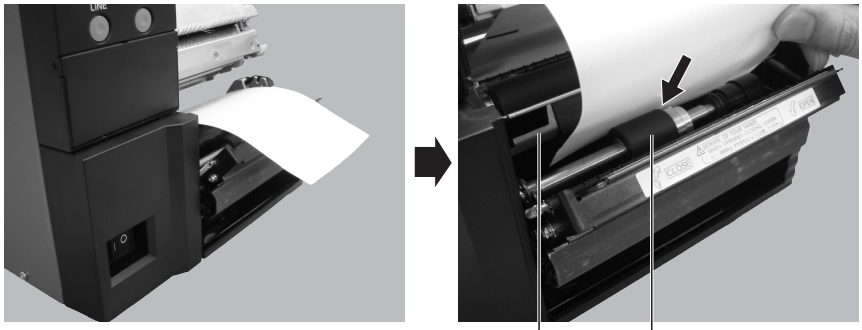
5

用紙をセットします。
ロール紙のセットの3～6項を行います。

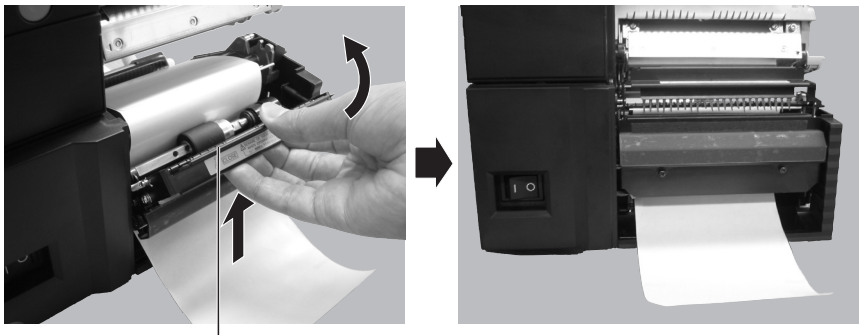
6

約8ｃｍ分のラベルをはがします。

7 下図のようにプレッシャローラとハクリユニットの間に台紙を通します。



8 ハクリ開閉レバーを引き、ハクリユニットをゆっくり閉じます。



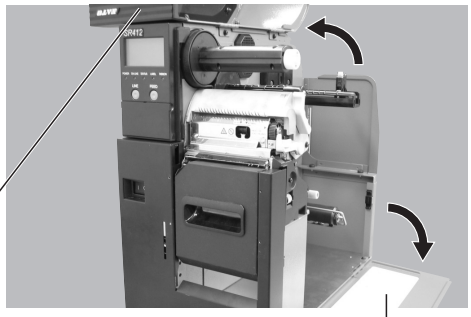
9 サーマルヘッドを閉じます。
ロール紙のセットの7項を行います。

10 オープンカバーを閉じます。
ロール紙のセットの8項を行います。

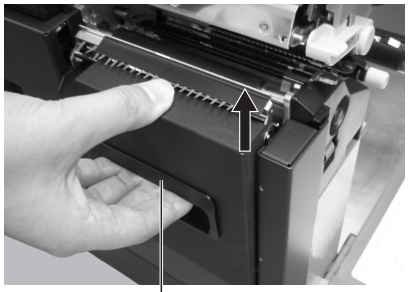
ハクリタイプ （工場オプション）

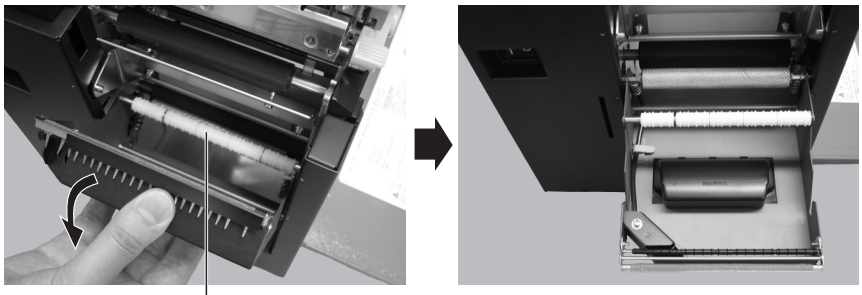
▲用紙のセット

1 オープンカバーとサイドカバーを開けます。



2 ハクリユニットを上に引きながらユニットを開きます。





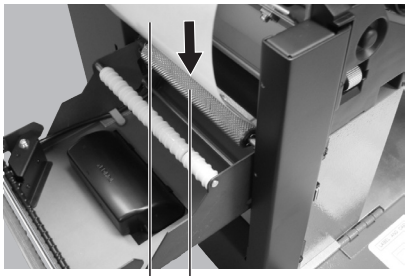
3 用紙をセットします。
ロール紙のセットの2～6項を行います。

4 約35ｃｍ分のラベルをはがします。

5

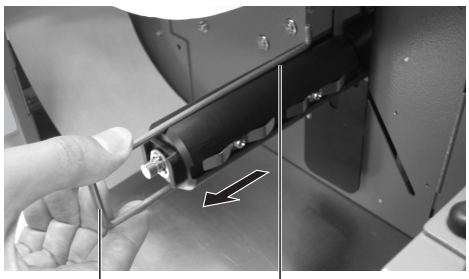
下図のようにプレッシャローラとハクリユニットの間に台紙を通します。





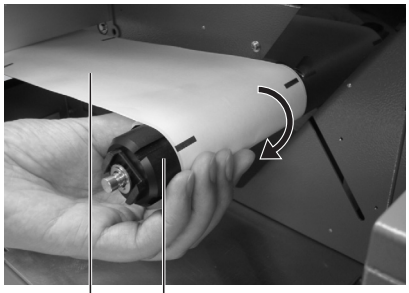
6

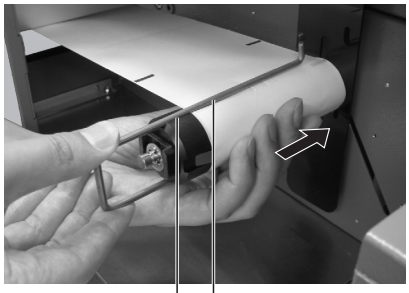
巻き取りコアからクリップを引き抜きます。



7

台紙を引き出した後、台紙を巻き取りコアに巻き、巻き取りコアの溝にクリップを通して、台紙をはさみます。

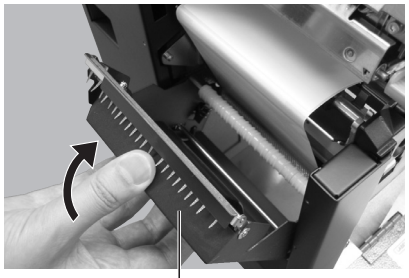


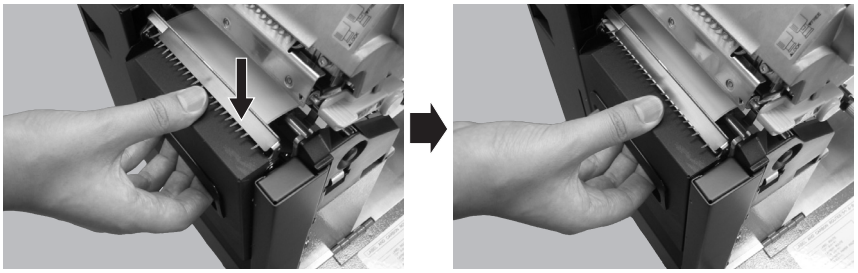




8 サーマルヘッドを閉じます。
ロール紙のセットの7項を行います。

9 ハクリユニットを押しつけ、
下に下げます。

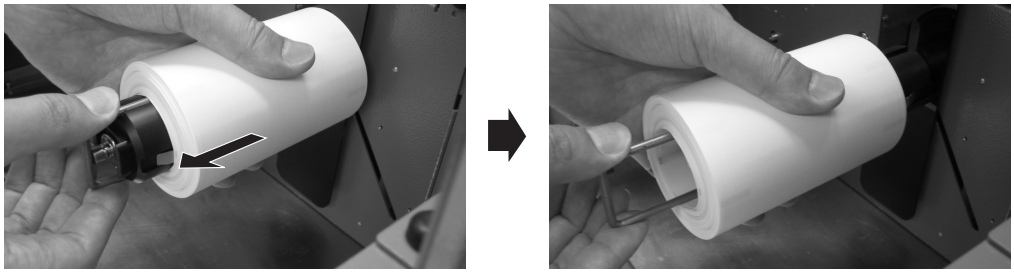




10 オープンカバーを閉めます。
ロール紙のセットの8項を行います。

▲台紙の取り除き方

クリップを手前に引き、取り除きます。
用紙1巻ごとに、巻き取った台紙を必ず取り除いてください。



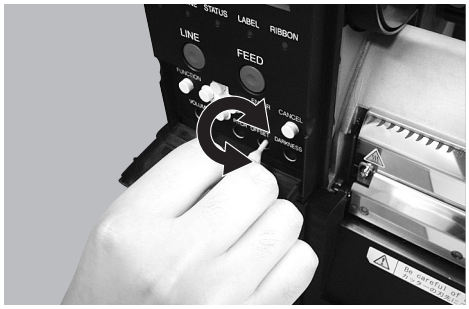
▲停止位置の調整

ハクリ時のラベル停止位置は、ラベルを2～3mm台紙に残す位置が正規の停止位置となります。
ラベルの停止位置が規定の位置にない場合、操作パネルカバーに添付してある、ボリューム調整用ドライバのプラス側を使用して「OFFSET」調整を行います。



ボリューム調整用ドライバ

右回し：印字方向に対し前にラベル停止する



左回し：印字方向に対し後ろにラベル停止する

（ボリューム調整用ドライバを使用してください。）

★注意事項

1. 台紙の厚さにより使用できない場合があります。
2. ハクリ時の印字精度は、V（縦）方向±1.5mm、H（横）方向±1.0mmです。
3. ハクリユニットは、ラベルピッチ17～397mmまでの用紙が使用可能です。
   但し、使用条件によってラベルピッチを規制する場合があります。

ラベル内部巻取りタイプ （工場オプション）

▲用紙のセット

1 オープンカバーとサイドカバーを開けます。

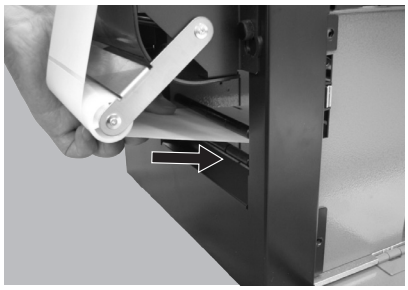


2 用紙をセットします。
ロール紙のセットの2～6項を行います。

3 約35ｃｍ分のラベルを引き出します。

4 内部巻き取りユニットのガイドカバーに沿わせて、下側の穴から内側にラベルを通します。

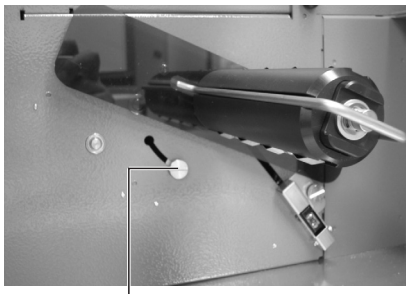


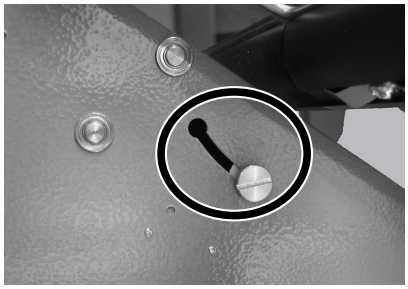




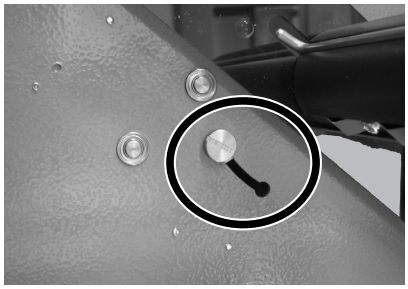
5

巻き取り方向切り替えネジをドライバで緩めて、巻き取り方向をセットします。
用紙の巻き取り方向が表巻きの場合は②の方向、裏巻きの場合は①の方向にセットしてください。





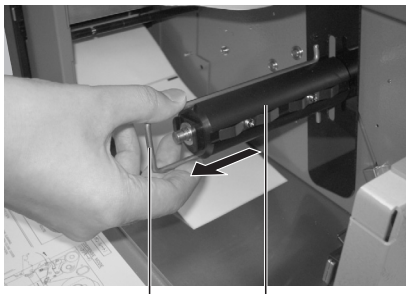
①裏巻きの場合



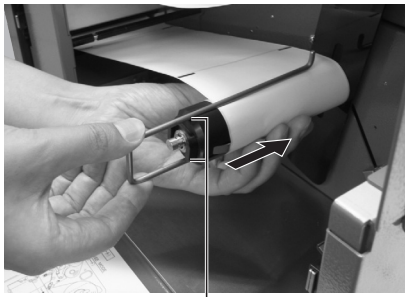
②表巻きの場合

6

巻き取りコアからクリップを引き抜きます。
用紙を引き出した後、用紙を巻き取りコアに巻き、巻き取りコアの溝にクリップを通して、用紙をはさみます。



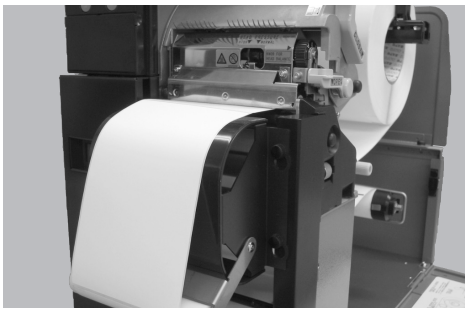




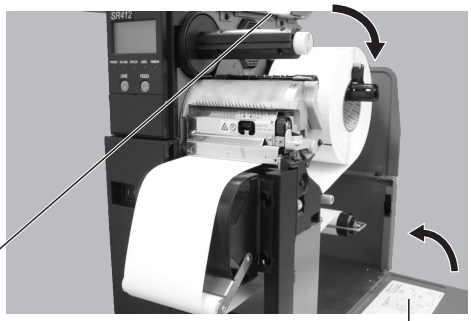
注意

クリップで巻き取りコアにはさむ部分は台紙をはさんでください。
用紙をはさむと巻き取りコアから抜けなくなる原因になります。

7 サーマルヘッドを閉じます。
ロール紙のセットの7項を行います。

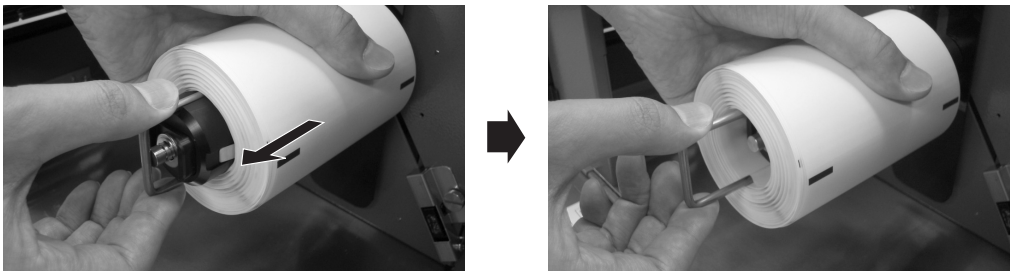


8 サイドカバーを閉じます。
オープンカバーを閉じます。



▲巻き取った用紙の取り出し方

クリップを手前に引き、用紙を取り出します。
用紙150mごとに、または巻き取りフルエラーが発生した場合、巻き取った用紙を取り出してください。



サーマルヘッドの交換

電源を切ってから行ってください。
カーボンリボンを使用している場合は、本体から取り除いてください。

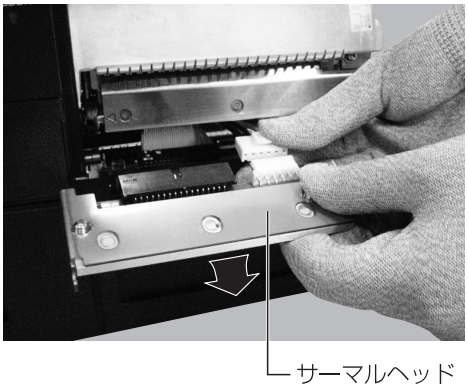
1 オープンカバーを開けます。
ロール紙のセットの1項を行います。

2 紫色のヘッドオープンレバー（▼OPEN）を下に下げます。
サーマルヘッドが開きます。
ロール紙のセットの2項を行います。

3 スライドレバー（紫色）を外側に押し開きます。
サーマルヘッドが外れます。



4 サーマルヘッドを前に引き出し、コネクタを2箇所抜きます。

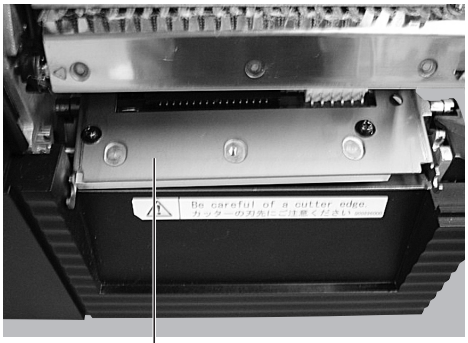


注意

- 印字終了直後のサーマルヘッドとその付近は、熱くなっています。印字直後のサーマルヘッドの交換は、火傷しないように注意して行ってください。
- サーマルヘッドの端に素手で触れるとケガをする恐れがあります。サーマルヘッドの交換は、ケガをしないように注意して行ってください。

5

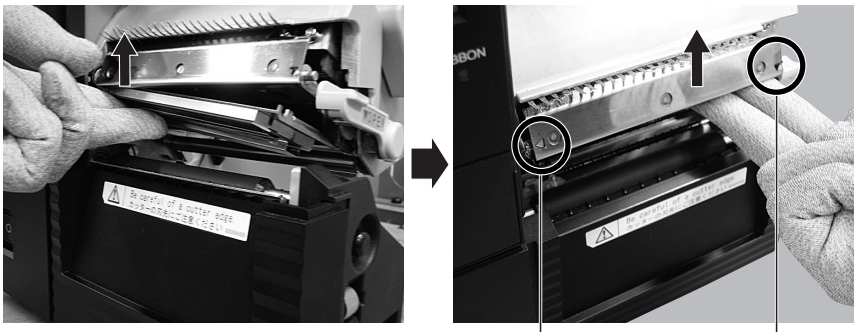
新しいサーマルヘッドにコネクタをつなぎ、交換します。



新しいサーマルヘッド

6

左側のヘッドシャフトにサーマルヘッドの左側フック（◀）を掛けます。
サーマルヘッド面を押し上げながら、右側のヘッドシャフトにサーマルヘッドの右側のフック（▼）を引っかけます。



左側フック（◀）　右側フック（▼）

⚠ 注意

サーマルヘッドの発熱体には素手で触れないでください。触れた場合、クリーニングペンでサーマルヘッドを清掃してください。
詳細は、「毎日のお手入れ」を参照してください。→108ページ

▲ サーマルヘッドの交換を行われる際は、必ず最寄りのサポートセンターにお問い合わせください。

電源を入れてみましょう

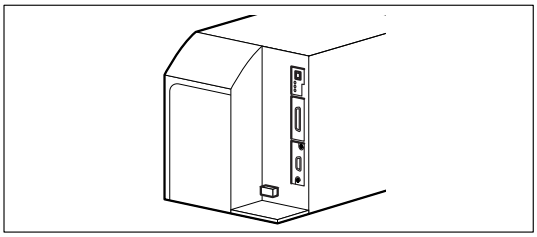
電源コード、インタフェースケーブルのセット手順を説明します。

電源コード、インタフェースケーブルのセット

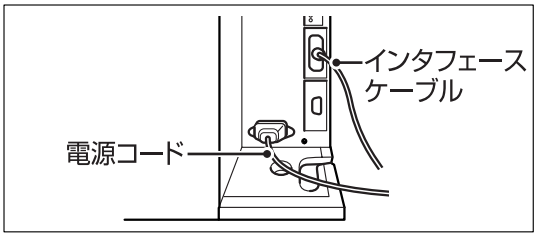
設置が終ったら、つぎのように電源コード、インタフェースケーブルをセットします。

▲電源コードとインタフェースケーブル

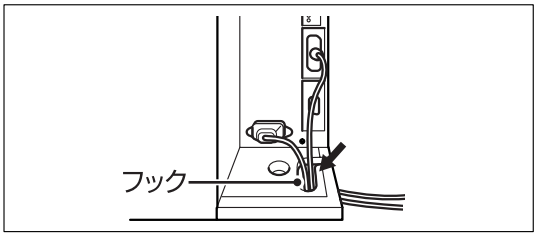
ケーブルカバーのつめを押して横にスライドさせ、取り外します。



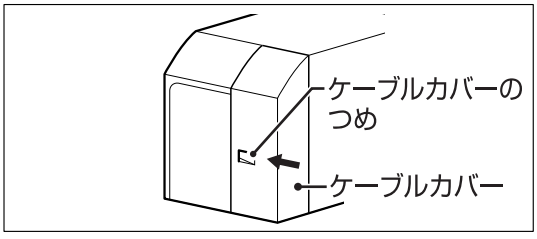
電源コードとインタフェースケーブルをプリンタ本体に差し込むときは、差し込む向きを確認してください。
プリンタ本体に差し込むときは、本体を片手で押さえて差し込んでください。



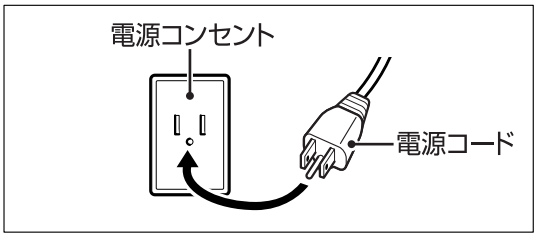
電源コード、インタフェースケーブルをフックに通して下から出してください。



ケーブルカバーのつめを押しながら横にスライドさせて取り付けます。

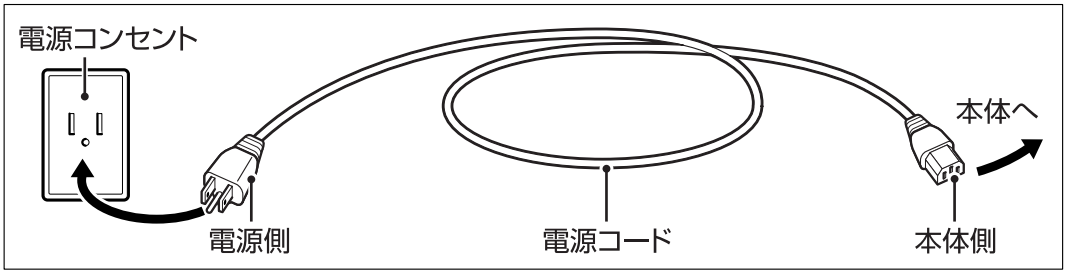


インタフェースケーブルをパソコンに接続します。
添付の電源コードのプラグの形は、イラストのように3極タイプになっています。
3極タイプのコンセントは3本の足のうち1本がアース用です。
電源コンセントが3極のときは、そのまま電源コードを差し込んでください。

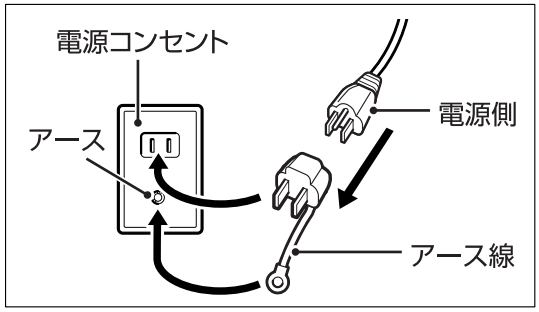


▲電源コードとコンセント

添付の電源コードを本体側、電源コンセント側の順に差し込みます。



電源コンセントが2極タイプのときは、添付の2極アダプタを使い電源コンセントに差し込んでください。



警告

必ずアース線をアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。

注意

- 本プリンタに付属の電源コードは、本プリンタ専用です。他の電気製品には使用できません。

電源を入れてみましょう

本機正面の電源スイッチを入れます。「｜」と書いてある側を押してください。



電源スイッチを入れるとPOWERランプが点灯し、ディスプレイに「オンライン」と表示されます。



注意

- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

あれ？おかしいな

今までにおこなった準備が正しくできていないときは、ディスプレイに「オンライン」と表示されません。準備が正しくできていないときは、ディスプレイにメッセージが表示されます。メッセージが、表示されたときは（詳細は「あれ?どうしたのかな?」を参照してください。→95ページ）、準備をし直してください。

電源を切りましょう

本機が正常に動いたことを確認したら、電源を切ってみましょう。
いきなり電源を切らないで、電源を切ってもよいかつぎのことを確認しましょう。

▲電源を切る前に確認してください

必ず次のことをおこなってから、電源を切ってください。

オフライン状態にする

本機の電源を切るときは、オフライン状態になっていることを確認してください。
ディスプレイにつぎのように「オンライン」と表示されているときは、オンライン状態になっています。



オフライン状態にします。 LINE キーを押します。ディスプレイに、つぎのように「オフライン」と表示されます。



印字した用紙が残っているときは、用紙を切り取ってください。

用紙の切り取りかた

用紙の片方を持って、ななめ下に軽く引っ張ります（標準機の場合）。





動かしてみましょう

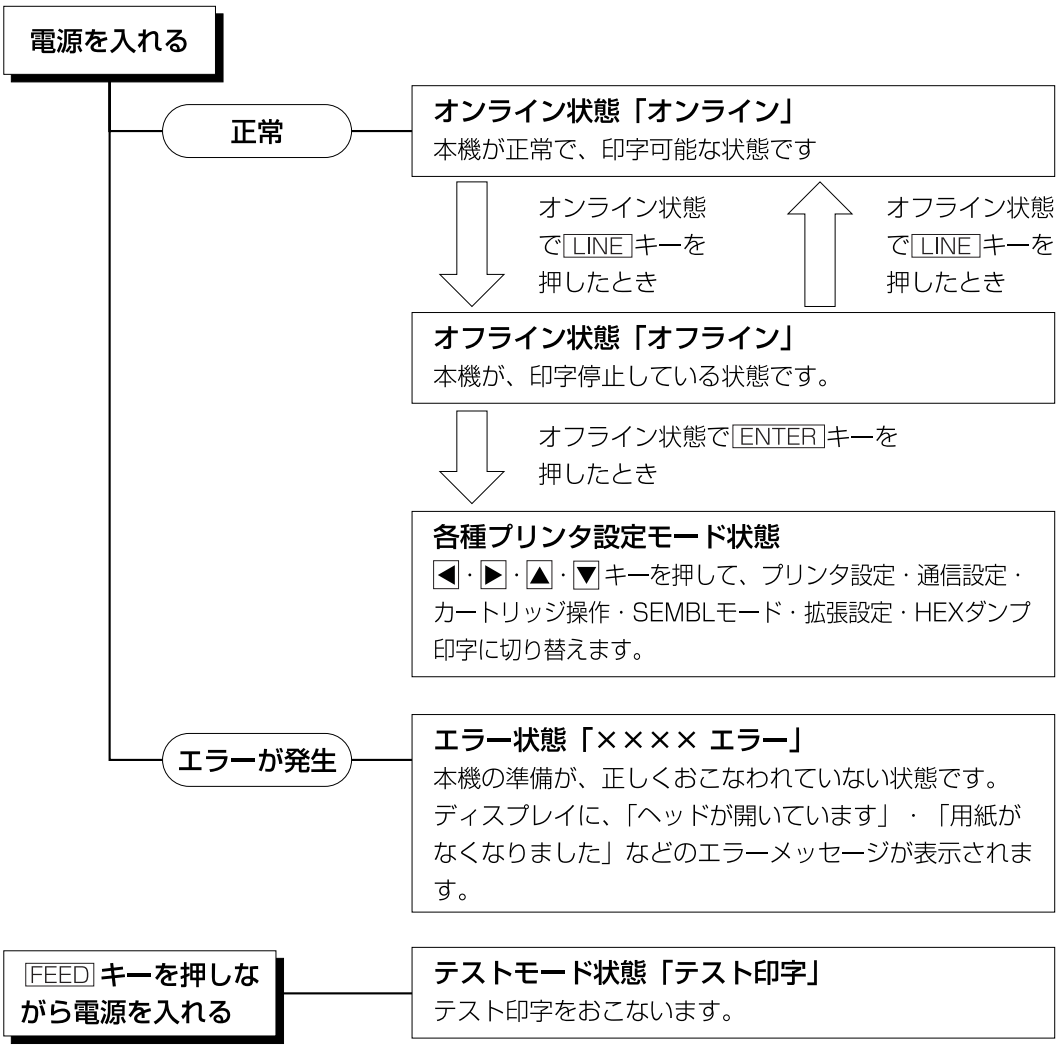
本機を動かしてみましょう。本機を動かすのに必要な操作のしかたや機能を覚えてください。

動かしてみる前に

本機を本格的に動かしてみる前に、操作の流れを説明します。
本機は、操作パネル上にある2つのキーと、操作パネルカバー内の操作キーで簡単に操作できます。
5つの状態から、いろいろな操作をおこないます。

▲操作の流れ

本機はオンライン・オフライン・プリンタ設定モード・エラー・テストモードの5つの状態から操作をおこないます。
5つの状態と操作の流れをよく理解してください。



ディスプレイ画面の表示

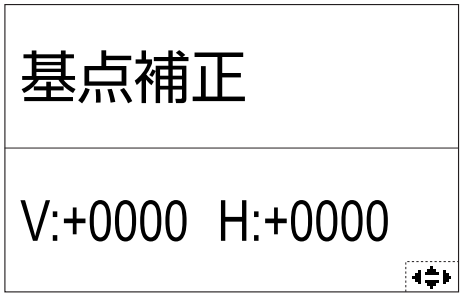
▲通常モード



アイコン表示部
プリンタの状態を示すアイコンを最大で5個表示します。
アイコンは各種プリンタ設定モードのときは表示されません。

メッセージ表示部
各種メッセージを最大2行で表示します。

▲各種プリンタ設定モード



設定項目表示部
設定項目名を最大2行で表示します。

設定内容表示部
現在の設定内容を3行で表示します。
表示方法は各設定で異なります。

有効操作キー表示部
表示中の画面で操作可能なキーを画面右隅に表示します。
表示するキーは方向キー(▲·▼·◀·▶)のみです。

〈アイコン一覧〉

【モード表示】

No	アイコン	説　明	表示位置
1		プリンタがオンライン状態の時に表示します。	アイコン1
2		プリンタがオフライン状態の時に表示します。	アイコン1
3		プリンタがテスト印字モードおよびHEXダンプ印字の時に表示します。	アイコン1
4		プリンタがSEMBLモードの時に表示します。	アイコン1
5		プリンタがダウンロードモードの時に表示します。	アイコン1
6		プリンタがアップロードモードの時に表示します。	アイコン1
7		プリンタがカートリッジ操作の時に表示します。	アイコン1

【モード選択画面】

No	アイコン	説　明	表示位置
1		プリンタを通常モードに移行します。	—
2		プリンタをプリンタ設定に移行します。	—
3		プリンタを通信設定に移行します。	—
4		プリンタをカートリッジ操作に移行します。	—
5		プリンタをSEMBLモードに移行します。	—
6		プリンタを拡張設定に移行します。	—
7		プリンタをHEXダンプ印字に移行します。	—

【エラー関連】

No	アイコン	説　明	表示位置
1		ラベルエンドを検出した時に表示します。	アイコン1
2		リボンエンドを検出した時に表示します。	アイコン1
3		センサエラーを検出した時に表示します。	アイコン1
4		ヘッドオープンを検出した時に表示します。	アイコン1
5		ヘッド断線を検出した時に表示します。	アイコン1
6		通信エラーを検出した時に表示します。	アイコン1
7		受信バッファオーバーを検出した時に表示します。	アイコン1
8		アイテムNOエラーまたはBCCエラーを検出した時に表示します。	アイコン1
9		カッタエラーを検出した時に表示します。	アイコン1

No	アイコン	説　明	表示位置
10		カッタ上刃が開いている時に表示します。	アイコン1
11		メモリカートリッジに正常にアクセスできなかった時に表示します。	アイコン1
12		メインROMへの書込みに失敗した時に表示します。 また、漢字ROMエラーを検出した時も表示します。	アイコン1
13		ICタグ・ラベルに情報の書込みができなかった時に表示します。	アイコン1
14		内部巻き取り機の用紙がいっぱいになった時に表示します。	アイコン1
15		上記以外のプリンタエラーを検出した時に表示します。	アイコン1
16		各種エラーに対応したエラー番号を表示します。	アイコン2

【警告関連】

No	アイコン	説　明	表示位置
1		リボンニアエンドを検出した時に表示します。	アイコン3~5
2		ラベルニアエンドを検出した時に表示します。	アイコン3~5
3		コマンドエラーを検出した時に表示します。	アイコン3~5
4		受信バッファニアフルを検出した時に表示します。	アイコン3~5
5		ヘッドが断線している時に表示します。	アイコン3~5

▲ディスプレイ画面の濃度調整

『通常モード』または『SEMBLモード』のときに、◀／▶キーを押すことで表示濃度を調整できます。



・左右3段階（全7段階）で表示濃度の調節が可能です。
・◀・◀キー1回の押下で1段階変化します。
・初期値設定（デフォルト設定モード）の設定の初期化でセンターに戻ります。「初期値設定（デフォルト設定　モード）」を参照してください。→83ページ

詳しい操作

本機の詳しい操作のしかたを説明します。

オンライン操作

本機がオンライン状態のとき、つぎの操作ができます。

○本機に接続したコンピュータからデータを送り、印字動作をスタートさせます。
○[LINE]キーを押して、オフライン状態に切り替えたり、印字を中断することができます。

オンライン状態

本機が正常な状態で、印字可能な状態です。
ディスプレイに、つぎのように表示されます。



オフライン操作

本機がオフライン状態のとき、つぎの操作ができます。

○[LINE]キーを押して、オンライン状態に切り替えます。
○[FEED]キーを押して、用紙送りします。
○[ENTER]キーを押して、各種プリンタ設定モードに切り替えます。

オフライン状態

本機が印字停止している状態です。ディスプレイに、つぎのように表示されます。



印字データキャンセル操作

本機が印字動作中または、[LINE]キーを押して印字を中断しているとき、既に受信済みの印字データを全てクリアする操作ができます。

○印字動作中に[LINE]キーを押してオフライン状態に切り替えます。
○[CANCEL]キーを押します。
ディスプレイにつぎのように表示されます。

● [◀]・[▶]キーでカーソルを移動し、[ENTER]キーで決定します。
● [する]の場合、受信済みの印字データをクリアし、つぎの画面に変わります。
● [しない]の場合、オフライン状態に戻ります。



印字データがクリアされると、ディスプレイにつぎのように表示されます。
約3秒間表示後、オフライン状態に変わります。



受信データ保存操作

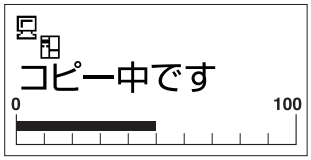
本機が印字動作中または、LINEキーを押して印字を中断しているとき、受信バッファをメモリカートリッジに保存できます。

○印字動作中に LINEキーを押してオフライン状態に切り替えます。
○▼キーを5秒以上押します。
ディスプレイにつぎのように表示されます。

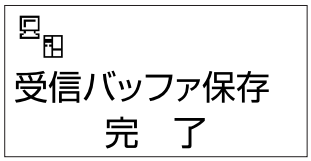
- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTER キーで決定します。
- する の場合、メモリカートリッジに保存中の画面に変わります。
- しない の場合、オフライン状態に戻ります。



保存中は、ディスプレイにつぎのように表示されます。



受信データの保存が終了すると、ディスプレイにつぎのように表示されます。
ENTERキーを押すと、オンライン状態に変わります。



エラーモード操作

「あれ？どうしたのかな？」で説明します。→95ページ

プリンタ設定操作

プリンタ設定操作のとき、プリンタの印字条件を設定するつぎの操作ができます。

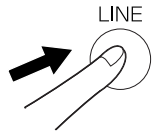
○「調整ボリューム」（ボリューム設定値表示）
○「印字速度」（印字速度設定）
○「印字濃度」（印字濃度設定）
○「基点補正」（印字位置補正設定）
○「ゼロスラッシュ」（ゼロスラッシュ切替え設定）
○「JISコード」（JIS漢字コード切替え設定）
○「漢字書体」（漢字フォント選択設定）
○「プロポーショナルピッチ」（プロポーショナルピッチ設定）

各操作については、詳しくは「印字条件の設定」をご覧ください。

▲プリンタ設定画面の呼び出し

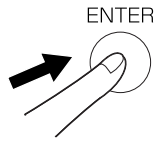
本機の印字条件を設定するには、プリンタ設定画面を呼び出します。つぎに、各印字条件の設定画面を呼び出します。

まず、[LINE]キーを押してオフライン状態にします。





つぎに操作パネルカバーを開け、[ENTER]キーを押します。



ディスプレイに、つぎのように表示されます。



▶キーを押し、「プリンタ設定」画面に切り替えます。

[ENTER]キーを1回押すごとにディスプレイの表示が、各印字条件の設定画面に切り替わります。



- [CANCEL]キーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。
- [FUNCTION]キーを押すと、設定値を登録しないで「プリンタ設定」画面に戻ります。

印字条件の設定

「プリンタ設定」画面において、ENTERキーを押すと、ディスプレイにつぎのように表示されます。

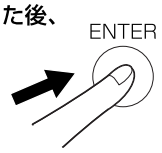


設定する前に、本機がプリンタ設定状態になっているか、ディスプレイの表示を確認してください。

注意

設定の登録

各印字条件の設定を登録するためには、設定が終った後、ENTERキーを１回押してください。
設定が登録され、つぎの設定画面が表示されます。



ENTERキーを押さないかぎり、設定は登録されませんので注意してください。

1 ボリューム設定値表示

操作パネルカバー内の調整用ボリューム設定値を表示します。
「ボリューム設定値表示」画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。



● ENTER キーを押すと、つぎの設定画面に変わります。

PITCH	PITCHボリュームの設定値を表示（印字位置）
OFFSET	OFFSETボリュームの設定値を表示（カッタ･ハクリ･ティアオフ停止位置）
DARKNESS	DARKNESSボリュームの設定値を表示（印字濃度）

2 印字速度設定

印字の速度（速さ）を、SR408、SR412は11段階、SR424は5段階に設定できます。
用紙又は印字内容によって、良い印字品質が得られないときは、速度を下げてください。
「印字速度設定」画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。



- 02から12までの数字は、印字の速度を表示します。
- 02インチ/秒が一番遅く、12インチ/秒が一番速くなります。
- ▲・▼キーで設定値を変更し、数字を選び、印字の速度を設定します。
- ENTER キーを押すと、設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、SR408は4インチ/秒、SR412は4インチ/秒、SR424は3インチ/秒になります。

【8ドット/mm】初期値:06IPS	02,03,04,05,06,07,08,09,10,11,12　IPS（インチ/秒）
【12ドット/mm】初期値:06IPS	02,03,04,05,06,07,08,09,10,11,12　IPS（インチ/秒）
【24ドット/mm】初期値:03IPS	02,03,04,05,06　IPS（インチ/秒）

3 印字濃度設定

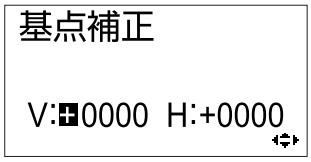
印字の濃度（濃さ）を、5段階で設定できます。
「印字濃度設定」画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。



- 1～5までの数字は、印字の濃度（濃さ）を表します。1が一番薄く、5が一番濃くなります。
- ◀・▶キーを押すと、カーソルが左または右に移動します。
- ENTER キーを押すと、設定が登録され、つぎの設定画面に変ります。
- 初期値は、3になります。

4 印字位置補正設定

「印字位置補正設定」画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。



印字位置補正

印字位置補正とは、用紙に印字する位置を設定する操作です。
本機には、最初から印字の基準となる位置（印字基準位置）が記憶されています。この印字基準位置からどれくらい離れた位置（基点）に印字するか設定します。
本機では印字基準位置から印字したい位置までの距離をドット単位で設定します。1ドットの長さは機種によって違います。SR408は8ドット＝0.125mm、SR412は12ドット＝0.083mm、SR424は24ドット＝0.042mmです。

V：印字基準位置から、縦方向に何ドット離れた位置を基点にして印字するかを設定します。
“＋”と“－”は移動する方向です。
“＋”：印字方向に対し後
“－”：印字方向に対し前

H：印字基準位置から、横方向に何ドット離れた位置を基点にして印字するかを設定します。
“＋”と“－”は移動する方向です。
“＋”：フレーム側（奥側）
“－”：カバー側（外側）

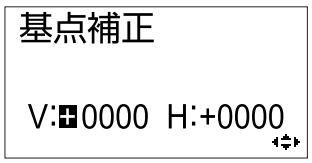
初期値は、縦印字位置補正は0ドット、横印字位置補正は0ドットになります。

注　意

- ヘッドの密度により「印字位置補正設定」画面が異なりますのでご注意ください。
- SR408　：V±000～1424ドット　H±000～832ドット
- SR412　：V±000～2136ドット　H±000～1248ドット
- SR424　：V±000～4272ドット　H±000～2496ドット

①V（縦方向）の移動方向の設定

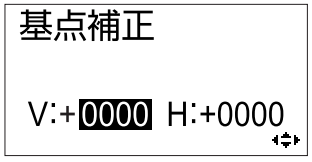
「印字位置補正設定」画面がディスプレイに表示されると、カーソルが、V（縦方向）の“＋”にあり、白黒反転しています。



- ▲・▼ キーを１回押すたびに“＋”と“－”に表示が切り替わります。
- ◀キーを押すと、カーソルがH（横方向）の数字に移動します。
- ▶キーを押すと、カーソルがV（縦方向）の数字に移動します。
- ENTER キーを押して設定を登録します。

②V（縦方向）の移動ドット数の設定

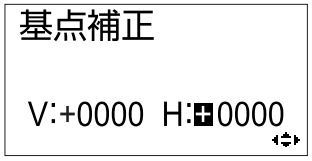
V（縦方向）の数字が白黒反転しています。



- ▲キーを1回押す度に数字が1つ上がります。
- ◀キーを押すと、カーソルがV（縦方向）の“＋”に移動します。
- ▶キーを押すと、カーソルがH（横方向）の“＋”に移動します。
- ENTER キーを押して設定を登録します。

③H（横方向）の移動方向の設定

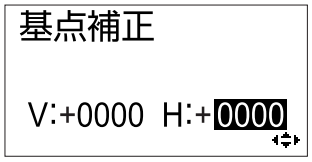
H（横方向）の“＋”が白黒反転しています。



- ▲・▼ キーを１回押すたびに“＋”と“－”に表示が切り替わります。
- ◀キーを押すと、カーソルがV（縦方向）の数字に移動します。
- ▶キーを押すと、カーソルがH（横方向）の数字に移動します。
- ENTER キーを押して、設定を登録します。

④H（横方向）の移動ドット数の設定

カーソルが、H（横方向）の“数字”が白黒反転しています。



- ▲キーを1回押す度に数字が1つ上がります。
- ◀キーを押すと、カーソルがH（横方向）の“＋”に移動します。
- ▶キーを押すと、カーソルがV（縦方向）の“＋”に移動します。
- ENTER キーを押して設定を登録します。

【設定しましょう】

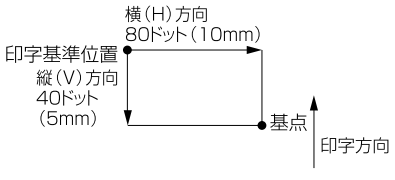
それでは実際に設定してみましょう。

SR408で印字基準位置から

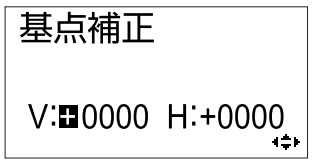
縦（V）方向に＋40ドット（5mm）

横（H）方向に＋80ドット（10mm）

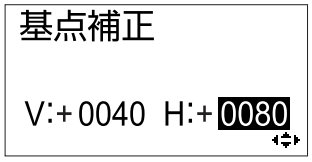
離れた位置を基点として、右の図のように印字することにします。



ディスプレイに、「印字位置補正設定」画面が表示されていることを確認してください。



◀·▶·▲·▼キーで数字を設定し、ENTERキーで登録を行い、次の画面表示にしてください。



ENTER キーを1回押します。
ディスプレイの画面は、「ゼロスラッシュ切替え設定」画面に変わります。
これで印字位置補正の設定は終わりです。

5 ゼロスラッシュ切替え設定

ゼロスラッシュ（漢字は除く）を“O”又は、“Ø”に設定できます。
「ゼロスラッシュ切替え設定」画面がつぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。

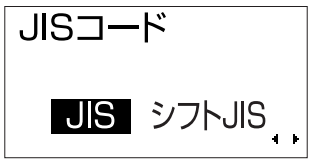


- 表示の 有効 と 無効 が印字するゼロスラッシュを表します。
- ◀·▶キーでカーソルを移動し、ゼロスラッシュを設定します。
- ENTER キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は無効になります。

ディスプレイの画面は、「JIS漢字コード切替え設定」画面に変わります。

6 JIS漢字コード切替え設定

取り扱うJIS漢字コードをJISコード、シフトJISコードに設定できます。
「JIS漢字コード切替え設定」画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。



- 表示の JIS 、シフトJIS が取り扱うJIS漢字コードを表します。
- ◀·▶ キーでカーソルを移動し、JIS漢字コードを設定します。
- ENTER キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、JISコードになります。

ディスプレイの画面は、「漢字フォント書体設定」画面に変わります。

7 漢字フォント書体設定

印字漢字書体フォントの“ゴシック体”、“明朝体”を設定することができます。
「漢字フォント書体設定」画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。

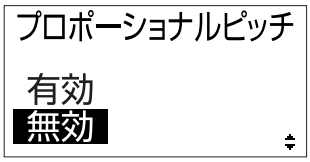


- 表示の［明朝］、［ゴシック］が漢字フォント書体を表します。
- ［◀］·［▶］キーでカーソルを移動し、漢字フォント書体を設定します。
- ［ENTER］キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値はゴシック体になります。

ディスプレイの画面は、「プロポーショナルピッチ設定」画面に変わります。

8 プロポーショナルピッチ設定

プロポーショナルピッチ処理（各文字ごとの横幅で印字するかまたは文字幅を固定で印字するか）を設定することができます。
「プロポーショナルピッチ設定」画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。



対象フォントは、×21～24となります。

- ［▲］·［▼］キーでカーソルを移動し、［有効］か［無効］を設定します。
- ［ENTER］キーを押すと設定が登録され、つぎの設定画面に変わります。
- 初期値は、固定ピッチ（［無効］）になります。

ディスプレイの画面は、プリンタ設定に戻ります。

これでプリンタ設定操作による、プリンタ設定が終了しました。
プリンタ設定を終了するには、［FUNCTION］か［CANCEL］キーを押してください。

通信設定操作

オンラインモード画面から ◀· ▶· ▲· ▼ キーを押して「通信設定」画面に切り替えます。

ENTERキーを1回押すごとにディスプレイの表示が、各通信設定画面に切り替わります。



- CANCELキーを押すと、設定値を登録しないで前の画面に戻ります。
- FUNCTIONキーを押すと、設定値を登録しないで「通信設定」画面に戻ります。

ENTERキーを押すとディスプレイにつぎのように表示されます。

1 インタフェースカード通信設定

インタフェースカードを通信設定するか、しないを選択できます。「インタフェースカード通信設定」画面が、つぎのようにディスプレイに表示されているか確認してください。



- ◀·▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- する の場合、「インタフェースカードスロット選択」画面に変わります。
- しない の場合、「データ入力ポート設定」画面に変わります。

【するを選択した場合】

2 インタフェースカードスロット選択

通信設定を変更するインタフェースカードのスロットを選択できます。

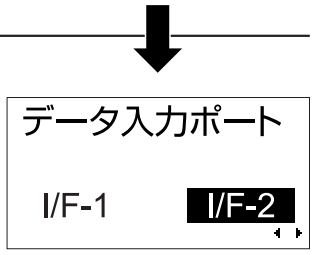


- ◀·▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- I/F-1 はミニLANのインタフェースカードです。
- I/F-2 はミニLAN以外のインタフェースカードです。
- 初期値は、ミニLAN以外のインタフェースカードになります。

- 装着されているインタフェースカードにより設定内容が異なります。
- 各インタフェースカードの設定後、「データ入力ポート設定」画面に変わります。

3 データ入力ポート設定

印字データを受信するポートを設定します。



- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- I/F-1 はミニLANのインタフェースカードから印字データを受信するポートです。
- I/F-2 はミニLAN以外のインタフェースカードから印字データを受信するポートです。
- 初期値は、ミニLAN以外のインタフェースカードになります。

本設定と異なるポートから印字データを受信した場合は、印字しません。

ディスプレイ画面は通信設定に戻ります。
これで通信選択操作によるプリンタ設定を終了しました。

各インタフェースカードの設定画面について

【パラレルインタフェースカード（IEEE1284）の場合】

1 通信プロトコル設定

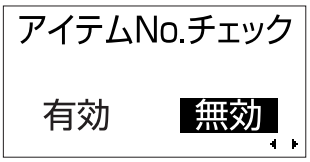
通信プロトコルを設定します。



- ▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 初期値は、STATUS5になります。

2 アイテム番号チェック設定

アイテム番号有効／無効の設定を行います。



- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 初期値は、無効になります。

▲ 本画面は通信プロトコルがSTATUS5のときのみ表示されます。

3 BCCチェック設定

BCCチェック有効／無効の設定を行います。

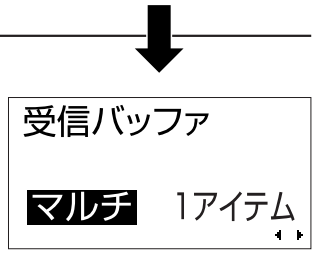


- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 初期値は、無効になります。

▲ 本画面は通信プロトコルがSTATUS5のときのみ表示されます。

4 受信バッファタイプ設定

受信バッファタイプを設定します。

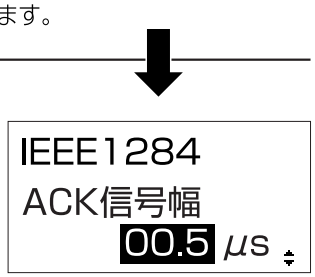


- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- マルチは、マルチ受信です。
- 1アイテムは、1アイテム受信です。
- 初期値は、マルチ受信になります。

▲ 本画面は通信プロトコルがドライバ専用プロトコルのときのみ表示されます。

5 IEEE1284通信設定

IEEE1284通信のACK信号幅を設定します。



- ▲・▼キーでACK信号幅をを変更し、ENTERキーで決定します。
- 00.5μsから12.0μsまで0.1μs単位で設定します。
- 初期値は、STATUS5になります。

▲ 本画面は受信バッファタイプ1アイテムのときのみ表示されます。

ディスプレイの画面は、「データ入力ポート設定」画面に変わります。

【RS-232Cインタフェースカードの場合】

1 RS-232C優先設定

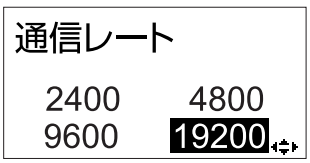
RS-232C通信設定をインタフェースカードのディップスイッチの設定を優先するか、ディスプレイの設定を優先するかを設定します。



- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- DIPSWは、インタフェースカードのディップスイッチの設定を優先します。
- LCDは、ディスプレイの設定を優先します。
- 初期値は、ディスプレイの設定を優先します。

2 RS-232Cボーレート設定

RS-232Cのボーレートを設定します。



- ◀・▶・▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 下記のボーレートの中から選択可能です。
  - 2400bps
  - 4800bps
  - 9600bps
  - 19200bps
  - 38400bps
  - 57600bps
- 初期値は、19200bpsになります。

▲ 本画面はRS-232C優先設定がディスプレイ優先設定のときのみ表示されます。

3 RS-232Cパリティビット設定

RS-232Cのパリティビットを設定します。



- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 初期値は、なし（NONE）になります。

▲ 本画面はRS-232C優先設定がディスプレイ優先設定のときのみ表示されます。

4 RS-232Cストップビット設定

RS-232Cのストップビットを設定します。



- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 初期値は、1ビットになります。

▲ 本画面はRS-232C優先設定がディスプレイ優先設定のときのみ表示されます。

5 RS-232Cデータ長設定

RS-232Cのデータ長を設定します。



- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 初期値は、8ビットになります。

▲ 本画面はRS-232C優先設定がディスプレイ優先設定のときのみ表示されます。

6 通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。

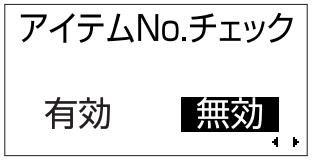


- ▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 下記の通信プロトコルの中から選択可能です。
  - ・READY/BUSY
  - ・XON/XOFF
  - ・STATUS3
  - ・ドライバ専用プロトコル
  - ・STATUS5
- 初期値は、READY/BUSYになります。

▲ 本画面はRS-232C優先設定がディスプレイ優先設定のときのみ表示されます。

7 アイテム番号チェック設定

アイテム番号有効／無効の設定を行います。



- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 初期値は、無効になります。

▲ 本画面はRS-232C優先設定がディスプレイ優先設定、通信プロトコルがSTATUS5のとき表示されます。

8 BCCチェック設定

BCCチェック有効／無効の設定を行います。

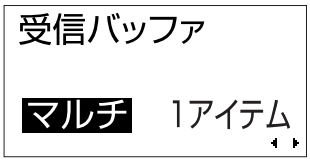


- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 初期値は、無効になります。

▲ 本画面はRS-232C優先設定がディスプレイ優先設定、通信プロトコルがSTATUS5のとき表示されます。

9 受信バッファタイプ設定

受信バッファタイプを設定します。



- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- マルチは、マルチ受信です。
- 1アイテムは、1アイテム受信です。
- 初期値は、マルチ受信になります。

▲ 本画面は通信プロトコルがREADY/BUSYまたはXON/XOFFのとき表示されます。

ディスプレイの画面は、「データ入力ポート設定」画面に変わります。

【USBインタフェースカードの場合】

1 通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 初期値は、STATUS5になります。



2 アイテム番号チェック設定

アイテム番号有効／無効の設定を行います。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 初期値は、無効になります。

▲ 本画面は通信プロトコルがSTATUS5のときのみ表示されます。



3 BCCチェック設定

BCCチェック有効／無効の設定を行います。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 初期値は、無効になります。

▲ 本画面は通信プロトコルがSTATUS5のときのみ表示されます。



ディスプレイの画面は、「データ入力ポート設定」画面に変わります。

【LAN2／無線LAN2／ミニLANインタフェースカードの場合】

1 LAN優先設定

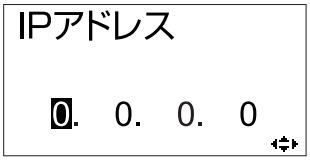
LAN通信設定をインタフェースカードの設定を優先するか、ディスプレイの設定を優先するかを設定します。



- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- ボードは、インタフェースカードの設定を優先します。
- LCDは、ディスプレイの設定を優先します。
- 初期値は、インタフェースカードの設定を優先します。

2 IPアドレス設定

インタフェースカードのIPアドレスを設定します。

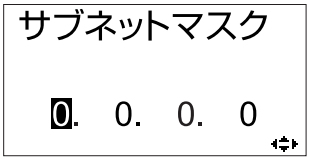


- ◀・▶・▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- ただし、設定したIPアドレスは、次回の電源投入で有効になります。
- 初期値は、0.0.0.0になります。

▲ 本画面はLAN優先設定がディスプレイ優先設定のときのみ表示されます。

3 サブネットマスク設定

インタフェースカードのサブネットマスクを設定します。

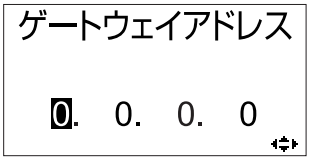


- ◀・▶・▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- ただし、設定したサブネットマスクは、次回の電源投入で有効になります。
- 初期値は、0.0.0.0になります。

▲ 本画面はLAN優先設定がディスプレイ優先設定のときのみ表示されます。

4 ゲートウェイアドレス設定

インタフェースカードのゲートウェイアドレスを設定します。

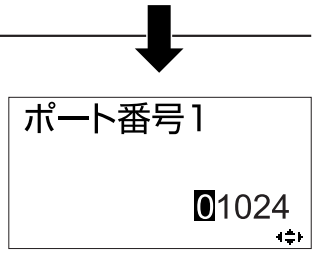


- ◀・▶・▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- ただし、設定したゲートウェイアドレスは、次回の電源投入で有効になります。
- 初期値は、0.0.0.0になります。

▲ 本画面はLAN優先設定がディスプレイ優先設定のときのみ表示されます。

5 LANポート番号1設定

インタフェースカードのポート番号1を設定します。



- ◀・▶・▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 00000から65535までの範囲で設定します。
- ポート番号2、3と同一のポート番号の設定はできません。
- ただし、設定したポート番号1は、次回の電源投入で有効になります。
- 初期値は、01024になります。

▲ 本画面は無線LAN2またはミニLANインタフェースカード、LAN優先設定がディスプレイ優先設定のときのみ表示されます。

6 LANポート番号2設定

インタフェースカードのポート番号2を設定します。



- ◀・▶・▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 00000から65535までの範囲で設定します。
- ポート番号1、3と同一のポート番号の設定はできません。
- ただし、設定したポート番号2は、次回の電源投入で有効になります。
- 初期値は、01025になります。

▲ 本画面は無線LAN2またはミニLANインタフェースカード、LAN優先設定がディスプレイ優先設定のときのみ表示されます。

7 LANポート番号3設定

インタフェースカードのポート番号3を設定します。



- ◀・▶・▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 00000から65535までの範囲で設定します。
- ポート番号1、2と同一のポート番号の設定はできません。
- ただし、設定したポート番号3は、次回の電源投入で有効になります。
- 初期値は、09100になります。

▲ 本画面は無線LAN2またはミニLANインタフェースカード、LAN優先設定がディスプレイ優先設定のときのみ表示されます。

8 無線LAN通信モード設定

無線LANインタフェースの通信モードを設定します。

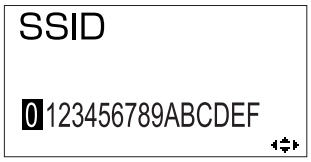


- ▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 下記の通信モードの中から選択可能です。
  - ・802.11 Ad Hoc
  - ・Ad Hoc
  - ・Infrasturucture
- ただし、設定した通信モードは、次回の電源投入で有効になります。
- 初期値は、802.11 Ad Hocになります。

▲ 本画面は無線LAN2インタフェースカード、LAN優先設定がディスプレイ優先設定のときのみ表示されます。

9 無線LANSSID設定

無線LANインタフェースのSSIDを設定します。



- ◀・▶・▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 英数字で最大32桁までの範囲で設定します。
  無線SSID設定で英字は英大文字のみ設定できます。英小文字、記号の設定はできません。英小文字、記号を設定するときは添付しているアクセサリCD-ROMのネットワークユーティリティを使用して設定してください。
- ただし、設定したSSIDは、次回の電源投入で有効になります。
- 初期値は、全てスペースになります。

▲ 本画面は無線LAN2インタフェースカード、LAN優先設定がディスプレイ優先設定のときのみ表示されます。

10 無線LANチャンネル設定

無線LANインタフェースのチャンネルを設定します。



- ▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 01から14までの範囲で設定します。
- ただし、チャンネルは、次回の電源投入で有効になります。
- 初期値は、01になります。

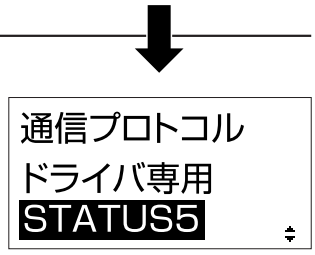
▲ 本画面は無線LAN2インタフェースカード、LAN優先設定がディスプレイ優先設定のときのみ表示されます。

通信設定操作では、認識方式やWEPキー等の無線LANインタフェースの設定はできません。
添付しているアクセサリCD-ROMのネットワークユーティリティを使用して設定してください。

11 通信プロトコル設定

通信プロトコルを設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTER キーで決定します。
- 下記の通信プロトコルの中から選択可能です。
  - ・STATUS3
  - ・ドライバ専用プロトコル
  - ・STATUS5
- 初期値は、STATUS5になります。



12 アイテム番号チェック設定

アイテム番号有効／無効の設定を行います。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTER キーで決定します。
- 初期値は、無効になります。

▲ 本画面は通信プロトコルがSTATUS5のときのみ表示されます。



13 BCCチェック設定

BCCチェック有効／無効の設定を行います。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTER キーで決定します。
- 初期値は、無効になります。

▲ 本画面は通信プロトコルがSTATUS5のときのみ表示されます。

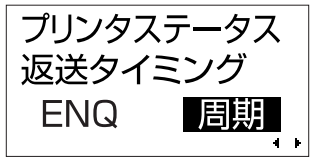


14 ステータス返送タイミング設定

ステータス情報をホストに返送するタイミングの設定を行います。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTER キーで決定します。
- 初期値は、周期応答になります。

▲ 本画面は通信プロトコルがドライバ専用プロトコルのときのみ表示されます。



ディスプレイの画面は、「データ入力ポート設定」画面に変わります。

カートリッジ操作

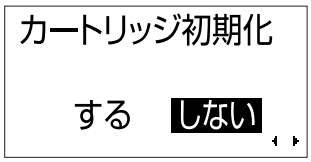
オンラインモード画面から ◀·▶·▲·▼ キーを押して「カートリッジ操作」画面に切り替えます。

ENTERキーを押すとディスプレイがつぎのように表示されます。



1 カートリッジフォーマット画面

メモリカートリッジの登録領域を初期化します。

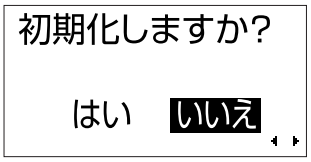


- ◀·▶ キーでカーソルを移動し、ENTER キーで決定します。
- する の場合、カートリッジフォーマット開始確認画面に変わります。
- しない の場合、「カートリッジ操作」画面に戻ります。

【するを選択した場合】

2 カートリッジフォーマット開始確認画面

メモリカートリッジのフォーマット開始確認画面です。



- ◀·▶ キーでカーソルを移動し、ENTER キーで決定します。
- はい の場合、フォーマットを開始してカートリッジフォーマット中画面に変わります。
- いいえ の場合、「カートリッジフォーマット選択」画面に戻ります。

▲ フォーマットを開始すると、お客様が登録されたデータは全てクリアされます。

3 カートリッジフォーマット中画面

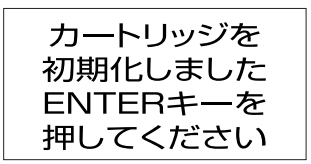
メモリカートリッジの登録領域初期化中の画面です。
初期化終了後、つぎの画面に変わります。



4 カートリッジ初期化完了画面

メモリカートリッジの初期化が完了した際に表示します。

ENTERキーを押すと「カートリッジ操作」画面に戻ります。

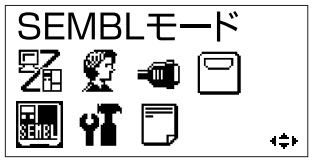


SEMBLモード操作

SEMBL（Sato EMbeded Basic Language）とは、サトーの組み込み式ベーシック言語の呼称であり、本機能を使用することにより、お客様個別の運用が実現できる機能です。詳細は、各担当営業にお問い合わせください。

オンラインモード画面から◀・▶・▲・▼キーを押して「SEMBLモード」画面に切り替えます。

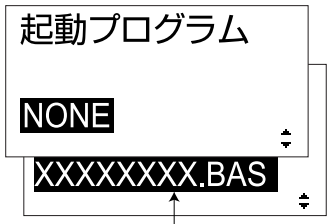
ENTERキーを押すとディスプレイがつぎのように表示されます。



1 起動プログラム設定

SEMBLモードを起動した際に実行するプログラムを設定します。

- NONEは、起動プログラムを指定しません。
- XXXXXXXX．BASは、起動プログラムを指定します。
  XXXXXXXX．BASには、メモリカートリッジに登録されているプログラム名を表示します。
- ▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。



登録済みのプログラム名を表示

CANCELキーまたはFUNCTIONキーを押すと「SEMBLモード」画面に戻ります。

2 SEMBLモード状態画面

SEMBLモード状態の画面です。
下段の数字は残発行枚数を表示します。

ENTERキーを押すと「SEMBLモード」画面に戻ります。



LINEキーを押すと、オフライン状態に変わります。



拡張設定操作

オンラインモード画面から ◀·▶·▲·▼ キーを押して「拡張設定」画面に切り替えます。

ENTERキーを押すとディスプレイがつぎのように表示されます。



- CANCELキーを押すと、設定値を保存しないで前の画面に戻ります。
- FUNCTIONキーを押すと、設定値を保存しないで「拡張設定」画面に戻ります。

1 印字濃度レンジ設定画面

印字濃度レンジを設定します。
基本的には調整不要です。



- ◀·▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- ENTER キーで設定値を保存して次の画面に変わります。
- 初期値は、Aになります。

2 動作モード自動設定画面

オプションユニットの装着状態を認識して、動作モードを自動で切り替える機能を設定します。



- ◀·▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 有効は、機能有効です。
- 無効は、機能無効です。
- 各種オプションユニットを検出した場合、動作モードを下記のように切り替えます。
  ・カッタユニットはカッタ動作。
  ・ハクリユニットはハクリ動作。
- 初期値は、有効になります。

オプションユニットを接続した状態で他の動作モードに設定する場合、本設定は“無効”にしてください。

3 動作モード設定画面

動作モードを設定します。



- ▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 下記の動作モードの中から選択可能です。
  - ・連続発行。
  - ・ティアオフ。
  - ・ハクリ。
  - ・カッタ。
  - ・ノンセパ。
- 初期値は、連続発行になります。

カッタ／ハクリ／ノンセパについてはオプションの装着状態により表示しない場合があります。

4 バックフィード動作設定画面

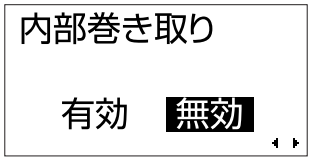
バックフィード動作を設定します。



- ▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 下記のバックフィード動作の中から選択可能です。
  - ・印字後は、動作1（印字後バックフィード）。
  - ・印字前は、動作2（印字前バックフィード）。
  - ・ なし は、バックフィードなし。
- 初期値は、動作1になります。

5 内部巻き取り機設定画面

内部巻き取り機を使用するかしないかを設定します。

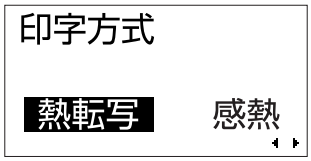


- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 有効は、内部巻き取り機を使用します。
- 無効は、内部巻き取り機を使用しません。
- 初期値は、無効になります。

▲ 本画面は内部巻き取り機が装着された状態で連続モードのときのみ表示します。

6 印字モード設定画面

印字モードの設定画面です。



- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 初期値は、熱転写になります。

7 用紙センサ設定画面

用紙センサ有効／無効を切り替えます。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 初期値は、有効になります。



8 用紙センサ種設定画面

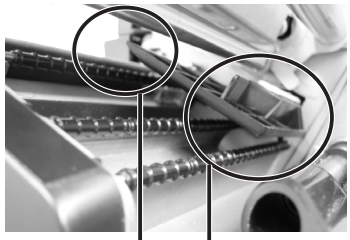
使用する用紙センサ種を設定します。

- ▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 下記の用紙センサ種の中から選択可能です。
  - ・ 反射1 は、反射センサ1。
  - ・ 透過 は、透過センサ。
  - ・ 反射2 は、反射センサ2。
- ENTERキーで設定値を保存して次の画面に変わります。
- 初期値は、反射センサ1になります。

▲ 本画面は用紙センサ有効のときのみ表示されます。

反射センサ2は、用紙ピッチの短いラベルで使用します。
通常は、反射センサ1を設定してください。





9 ヘッドチェック設定画面

ヘッドチェック有効／無効の設定を行います。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 初期値は、有効になります。

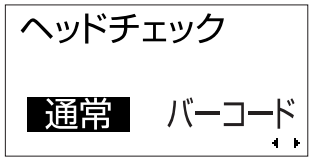


10 ヘッドチェック範囲設定画面

ヘッドチェックを行う範囲を設定します。

- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 通常 は印字領域。
- バーコード はバーコード印字領域。
  バーコード印字領域に設定し、バーコードをグラフィックデータで印字した場合、ヘッドチェックされません。
- ENTERキーで設定値を保存して次の画面に変わります。
- 初期値は、印字領域になります。

▲ 本画面はヘッドチェック有効のときのみ表示されます。



ヘッドチェック機能について

ヘッドチェック機能は、ヘッド断線の目安で、バーコード読取りを保証する機能ではありません。

定期的に読取りチェックをお願いします。

（印字の白抜けとヘッドチェック機能が働く時期とは多少ずれが生ずることがあります。）

ヘッドエラー発生後に発行したラベルについては、印字したバーコードのスキャナ読み取りを行って確認してください。

〈ヘッドエラー発生時の対処方法〉

①ヘッドチェック範囲設定が印字領域の場合ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。

- [FEED] キーを5秒間押すと、ヘッドチェック範囲設定画面が表示されます。
  - ・ [通常] を選択すると、ヘッドチェック範囲は印字領域のまま発行を再開します。再度ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。
  - ・ [バーコード] を選択すると、ヘッドチェック範囲をバーコード印字領域に切り替えて発行を再開します。
- [LINE] キー、[FEED] キーを5秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

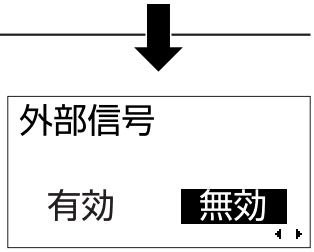
②ヘッドチェック範囲設定がバーコード印字領域の場合ヘッドエラーのメッセージ画面が表示されます。

- [LINE] キー、[FEED] キーを5秒間押すと、ヘッドチェックを解除して発行を再開します。

11 外部信号出力有無設定

外部信号の入出力有無を設定します。

- [◀]・[▶] キーでカーソルを移動し、[ENTER] キーで決定します。
- [有効] は入出力を許可します。
- [無効] は入出力を禁止します。
- 初期値は、無効になります。



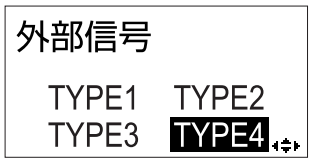
12 外部信号出力タイプ設定

PREND信号の出力タイプを設定します。

- [◀]・[▶]・[▲]・[▼] キーでカーソルを移動し、[ENTER] キーで決定します。
- 初期値は、タイプ4になります。

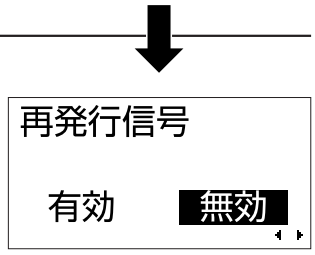
▲ 本画面は外部信号入出力を許可にした場合のみ表示されます。

詳細は、添付されていますアクセサリCD-ROMのSBPLプログラミングガイドを参照してください。



13 外部信号出力設定（再発行）

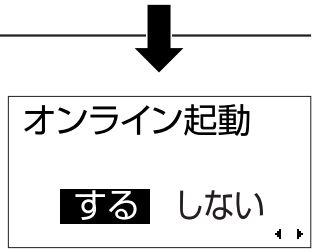
外部信号7ピンの入力による再発行機能を設定します。



- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 有効 は、再発行を許可します。
- 無効 は、再発行を禁止します。
- 初期値は、無効になります。

14 オートオンライン設定画面

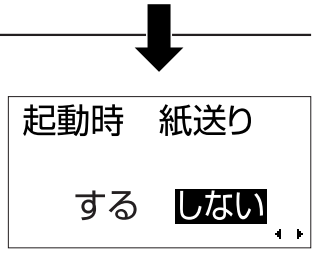
オートオンライン設定画面です。
電源投入時のプリンタの状態を設定します。



- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- する は、電源投入時にオンライン状態で起動します。
- しない は、電源投入時にオフライン状態で起動します。
- 初期値は、オンライン状態で起動するになります。

15 初期フィード設定画面

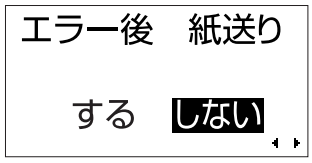
初期フィード設定画面です。
起動後のオンライン時に自動で用紙フィードを行います。



- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- する は、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードを行います。
- しない は、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードを行いません。
  ただし、16オンラインフィード設定画面で、する に設定した場合、電源投入時のオンライン状態で用紙フィードを行います。
- 初期値は、紙送りしないになります。

16 オンラインフィード設定画面

オンラインフィード設定画面です。
エラー復旧後、または電源投入後、オンライン状態に遷移した際、自動で用紙フィードを行います。



- ◀·▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- [する]は、オンライン状態に遷移した際、用紙フィードを行います。
- [しない]は、オンライン状態に遷移した際、用紙フィードを行いません。
  ただし、15初期フィード設定画面で、[する]に設定した場合、電源投入時のオンライン状態に遷移した際、用紙フィードを行います。
- 初期値は、紙送りしないになります。

17 言語設定画面

ディスプレイに表示するメッセージの言語設定画面です。



- ▲·▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 初期値は、日本語になります。

▲ 本画面はメモリカートリッジが装着されたときのみ表示します。

18 プロトコルコード設定画面

プロトコルコードのコード設定画面です。



- ▲·▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 初期値は、スタンダードコードになります。

19 SEMBLモード自動起動設定画面

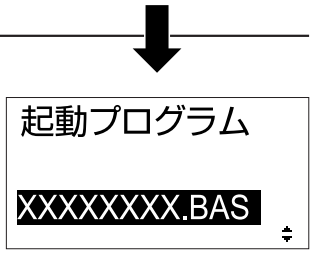
電源投入時にSEMBLモードを自動起動します。



- ◀·▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- [する]は、電源投入時にSEMBLモードを起動します。
- [しない]は、通常起動（SEMBLモードを自動起動しません。）
- 初期値は、通常起動になります。

20 SEMBLモード自動起動プログラム設定画面

電源投入時にSEMBLモードを自動起動した際に実行するプログラムを設定します。



- NONEは、起動プログラムを指定しません。
- XXXXXXXX．BASは、起動プログラムを指定します。
  XXXXXXXX．BASには、メモリカートリッジに登録されているプログラム名を表示します。
- ▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 初期値は、無効になります。

▲ 本画面はSEMBLモード自動起動を有効にしたときのみ表示します。

ディスプレイ画面は「拡張設定」画面に戻ります。
これで拡張設定操作によるプリンタ設定を終了しました。

HEXダンプ印字操作

オンラインモード画面から◀・▶・▲・▼キーを押して「HEXダンプ印字」画面に切り替えます。

ENTERキーを押すとディスプレイがつぎのように表示されます。



1 ダンプデータ選択画面

ダンプデータ選択画面です。
ダンプ印字するデータを選択します。



- ▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
  - 受信データ は、受信したデータをダンプ印字します。
  - 受信バッファ は、受信済みの印字データ（1アイテム分）をダンプ印字します。
- ENTERキーで設定値を保存して次の画面に変わります。

▲ 受信データが無い場合は“受信バッファ”は選択できません。

CANCELキーまたはFUNCTIONキーを押すと「HEXダンプ印字」画面に戻ります。

HEXダンプ印字状態の画面を示しています。

HEXダンプ印字後、[LINE]キーを押し、オフライン機能にし、
[ENTER]キーを押すと「HEXダンプ印字」画面に戻ります。



【受信バッファの場合】

[LINE] キーを押すとHEXダンプ印字を行います。

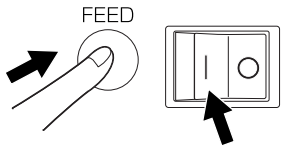


発行後、自動でオンライン状態に戻ります。



テスト印字モード操作

テスト印字をしてみましょう。
プリンタの電源が入っていたら、いったん電源を切ってください。
[FEED] キーを押しながら電源を入れます。
ディスプレイにつぎのように表示されます。



テスト印字パターンを選択します。

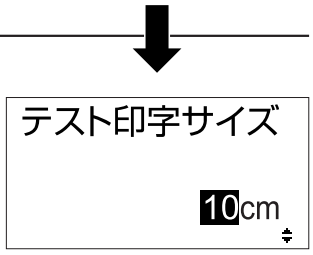


- [▲]・[▼]キーでカーソルを移動し、[ENTER] キーで決定します。
- 下の表のテスト印字の発行を行います。
- [ENTER] キーで設定値を保存して次の画面に変わります。

[設定内容]	本機設定内容を印字します。
[バーコード一覧]	本機に搭載しているバーコードを印字します。
[ヘッドチェック]	選択している用紙サイズ領域のヘッドチェックパターンを印字します。
[メモリ状態]	本機に搭載しているメモリカートリッジ内容を印字します。
[フォント一覧]	本機に搭載しているフォント内容を印字します。
[工場調整パターン]	工場テスト印字を行います。

2 テスト印字サイズ選択①

テスト印字の用紙サイズ幅を選択します。



- ▲・▼キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 入力範囲は“04”cmから“10”cmで1cm単位で設定が可能です。
- 本画面は次のテスト印字項目を選択したときに表示します。
  - ・設定内容
  - ・バーコード一覧
  - ・ヘッドチェック
- ENTERキーで設定値を保存して次の画面に変わります。

CANCELキーまたはFUNCTIONキーを押すと「テスト印字項目選択」画面に戻ります。

3 テスト印字サイズ選択②

テスト印字の用紙サイズ幅を選択します。



- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- 本画面は工場調整パターンのテスト印字項目を選択したときに表示します。
- ENTERキーで設定値を保存して次の画面に変わります。

大きい	幅10cmのサイズで印字
小さい	幅4cmのサイズで印字

CANCELキーまたはFUNCTIONキーを押すと「テスト印字項目選択」画面に戻ります。

4 テスト印字発行

テスト印字を開始します。



- ENTERキーを押すと、テスト印字の発行を開始します。
- テスト印字発行中にENTERキーを押すと発行を一時停止します。
  再度ENTERキーを押すと発行を再スタートします。

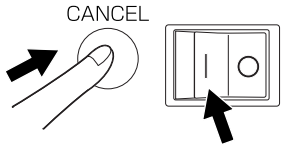
テスト印字モードを終了するにはプリンタの電源を切ってください。

ご注意！

通常は使用しないでください。印字条件が変更されます。

初期値設定（デフォルト設定モード）

初期値とは、本機がはじめから記憶している設定値です。
この初期値設定をおこなうと、いままでの印字条件の設定値を本機が記憶している設定値に戻します。
プリンタの電源が入っていたら、いったん電源を切ってください。
CANCEL キーを押しながら電源を入れます。
ディスプレイにつぎのように表示されます。



1 初期化項目選択

初期化するデータを選択します。

設定初期化
プリンタ設定
プロトコルコード

- ▲ · ▼ キーでカーソルを移動し、ENTER キーで決定します。
- 下の表の設定を初期化します。
- ENTER キーで設定値を保存して次の画面に変わります。

プリンタ設定	プリンタの設定を初期化します。
プロトコルコード	プロトコルコードを初期化します。

2 設定の初期化

【プリンタ設定の場合】

プリンタの設定を初期化します。

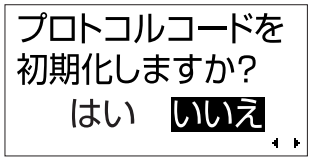
プリンタ設定を
初期化しますか?
はい いいえ

- ◀ · ▶ キーでカーソルを移動し、ENTER キーで決定します。
- はい を選択して ENTER キーを押すとプリンタ設定情報を初期化します。
- ENTER キーで設定値を保存して次の画面に変わります。

CANCEL キーまたは FUNCTION キーを押すかいいえを選択すると「初期化項目選択」画面に戻ります。

【プロトコルコードの場合】

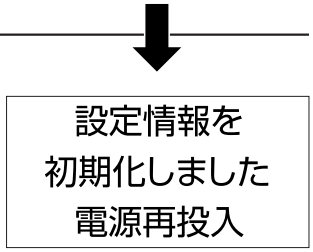
プロトコルコードを初期化します。



- ◀・▶キーでカーソルを移動し、ENTERキーで決定します。
- はいを選択してENTERキーを押すとプロトコルコードを初期化します。
- ENTERキーで設定値を保存して次の画面に変わります。

CANCELキーまたはFUNCTIONキーを押すかいいえを選択すると「初期化項目選択」画面に戻ります。

3 初期化完了画面



プリンタ設定／プロトコルコード初期化完了画面です。
デフォルト設定モードを終了するにはプリンタの電源を切ってください。

印字速度設定・印字濃度設定・印字位置補正設定・ゼロスラッシュ切替え設定・JIS漢字コード切替え設定・漢字フォント切替え設定・プロポーショナルピッチ設定の各設定値が次の初期値にもどります。

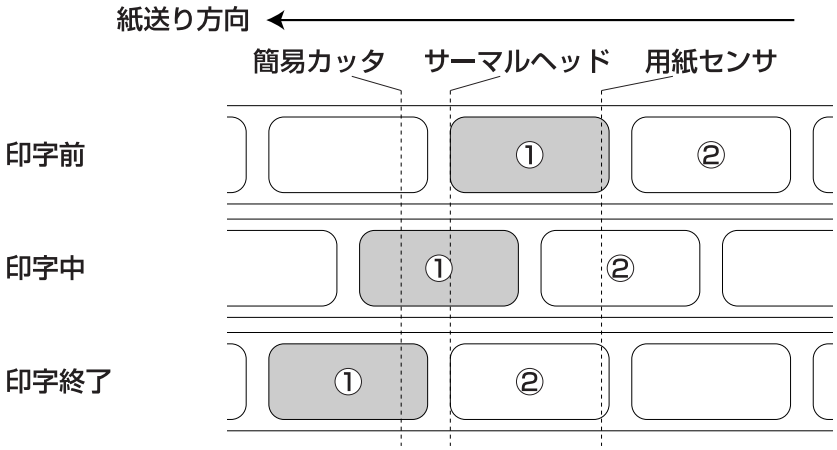
項　　目	SR400シリーズ
印字速度設定	04（SR424 は「03」になります）
印字濃度設定	3
印字位置補正設定	+0000
ゼロスラッシュ切替え設定	無効
JIS漢字コード切替え設定	JIS
漢字フォント切替え設定	ゴシック
プロポーショナルピッチ設定	無効

連続印字とティアオフ

本プリンタの動作モードでは、オプション（カッタやハクリ）を使用しない動作モードとして、連続印字動作とティアオフ動作があります。

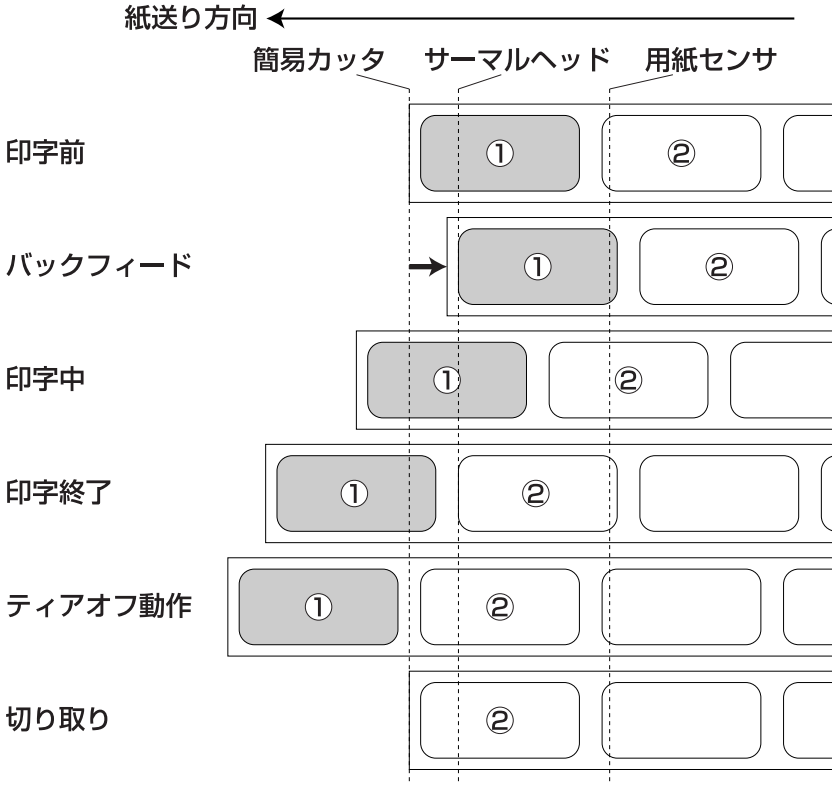
連続印字動作モード

連続印字動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字するモードで、印字終了後、又は、1枚フィードの時には、次の印字開始位置がサーマルヘッド位置で停止します。



ティアオフ動作モード

ティアオフ動作モードとは、指定された印字枚数分を続けて印字した後、ラベルとラベルの間（台紙部）を簡易カッタの位置まで自動的に送り出します。
この動作により、印字終了後に手で簡単に用紙を切り取ることができます。
又、次の印字を行なう時には、用紙の先端がサーマルヘッド位置までもどり、印字を開始します。

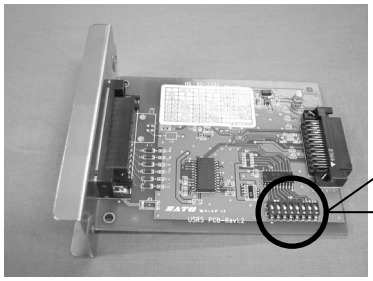


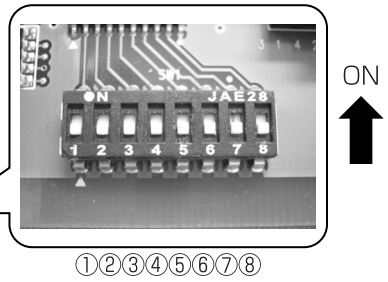
○インタフェースカードの設定

▲ 高速RS-232C

シリアルインタフェースカード（オプション）には、通信条件を決めるディップスイッチがあります。
ディップスイッチを変更するためには、①プリンタの電源を切り、②RS-232Cケーブルを取り外し、③シリアルインタフェースカード（オプション）の取り付けネジを2本取り外し、④シリアルインタフェースカード（オプション）を取り外してから行ってください。







①②③④⑤⑥⑦⑧

	SR400シリーズ　シリアルインタフェースカード　ディップスイッチ表		
NO	機　　能	説　　明	
1	データ長設定	ＯＮ　：7ビット ＯＦＦ：8ビット	
2 3	パリティビット設定	ＯＦＦ－ＯＦＦ：無し ＯＦＦ－ＯＮ　：偶数 ＯＮ　－ＯＦＦ：奇数 ＯＮ　－ＯＮ　：未使用	
4	ストップビット設定	ＯＮ　：2ビット ＯＦＦ：1ビット	
5 6	ボーレート設定	ＯＦＦ－ＯＦＦ：9600bps ＯＦＦ－ＯＮ　：19200bps ＯＮ　－ＯＦＦ：38400bps ＯＮ　－ＯＮ　：57600bps	
7 8	通信プロトコル設定	1-7　1-8　互換モードOFF	互換モードON
		ＯＦＦ－ＯＦＦ：READY/BUSY	READY/BUSY
		ＯＦＦ－ＯＮ　：XON/XOFF	XON/XOFF
		ＯＮ　－ＯＦＦ：ドライバ専用プロトコル	ステータス3
		ＯＮ　－ＯＮ　：未使用	未使用

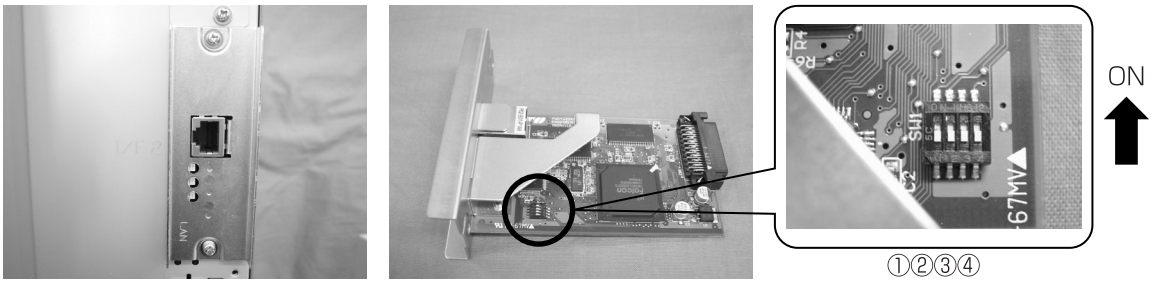
※シリアルインタフェースカードの設定1シールを確認してください。
通信プロトコル設定は互換モードによって異なります。
シリアルインタフェースカードのディップスイッチで設定できない通信条件は、通信設定で設定してください。→61ページ

注意

- インタフェースカードの取り付け、取り外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行ってください。インタフェースカードやプリンタ本体を破損する恐れがあります。

▲ LAN2

LAN2インタフェースカード（オプション）には、LAN設定情報初期化、LAN設定情報印字、自己診断印字するディップスイッチがあります。ディップスイッチを変更するためには、①プリンタの電源を切り、②LANケーブルを取り外し、③LAN2インタフェースカード（オプション）の取り付けネジを2本取り外し、④LAN2インタフェースカード（オプション）を取り外してから行ってください。

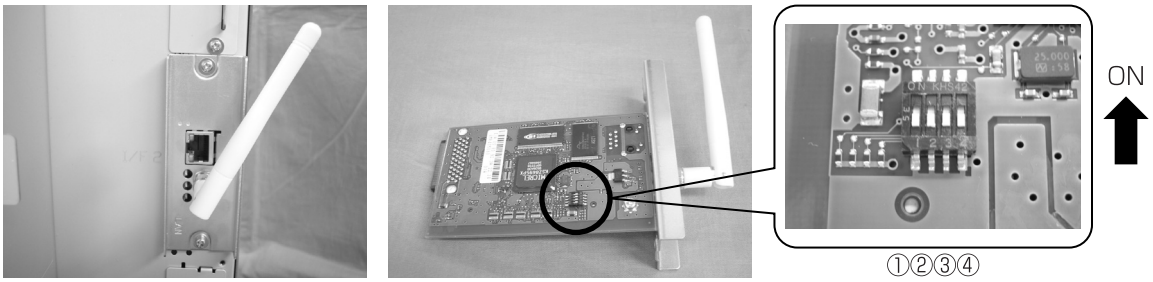


	SR400シリーズ　LAN2インタフェースカード　ディップスイッチ表
NO	ONにしてプリンタの電源を入れたときの動作
1	未使用
2	LAN2カード設定情報初期化
3	LAN2カード設定情報印字（IPアドレス等の設定情報を印字します）
4	LAN2カード自己診断印字（LAN2カードの診断結果を印字します）

※全てOFFに設定してください。

▲ 無線LAN2

無線LAN2インタフェースカード（オプション）には、LAN/無線LAN設定情報初期化、LAN/無線LAN設定情報印字、自己診断印字、通信モードを設定するディップスイッチがあります。
ディップスイッチを変更するためには、①プリンタの電源を切り、②LANケーブルを接続している場合はLANケーブルを取り外し、③無線LAN2インタフェースカード（オプション）の取り付けネジを2本取り外し、④無線LAN2インタフェースカード（オプション）を取り外してから行ってください。

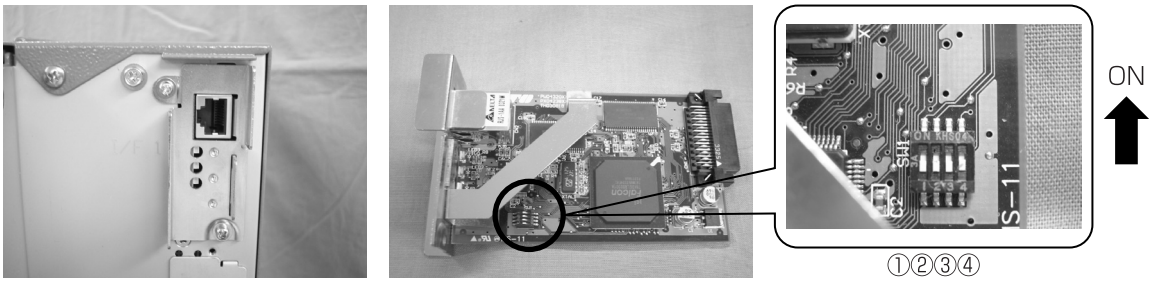


	SR400シリーズ　無線LAN2インタフェースカード　ディップスイッチ表	
NO	ONにしてプリンタの電源を入れたときの動作	
1	未使用	
2	無線LAN2カード設定情報初期化	
3	無線LAN2カード設定情報印字/自己診断印字 （IPアドレス等の設定情報の印字と無線LAN2カードの診断結果を印字します）	
4	通信モード （無線LAN動作の場合）	ＯＮ　：Infrastructure ＯＦＦ：Ad hoc

LANケーブルを接続して電源を投入すると、LANインタフェースで起動します。
LANケーブルを接続せずに電源を投入すると、無線LANインタフェースで起動します。

▲ ミニLAN

ミニLANインタフェースカード（オプション）には、LAN設定情報初期化、LAN設定情報印字、自己診断印字するディップスイッチがあります。ディップスイッチを変更するためには、①プリンタの電源を切り、②LANケーブルを取り外し、③ミニLANインタフェースカード（オプション）の取り付けネジを2本取り外し、④ミニLANインタフェースカード（オプション）を取り外してから行ってください。

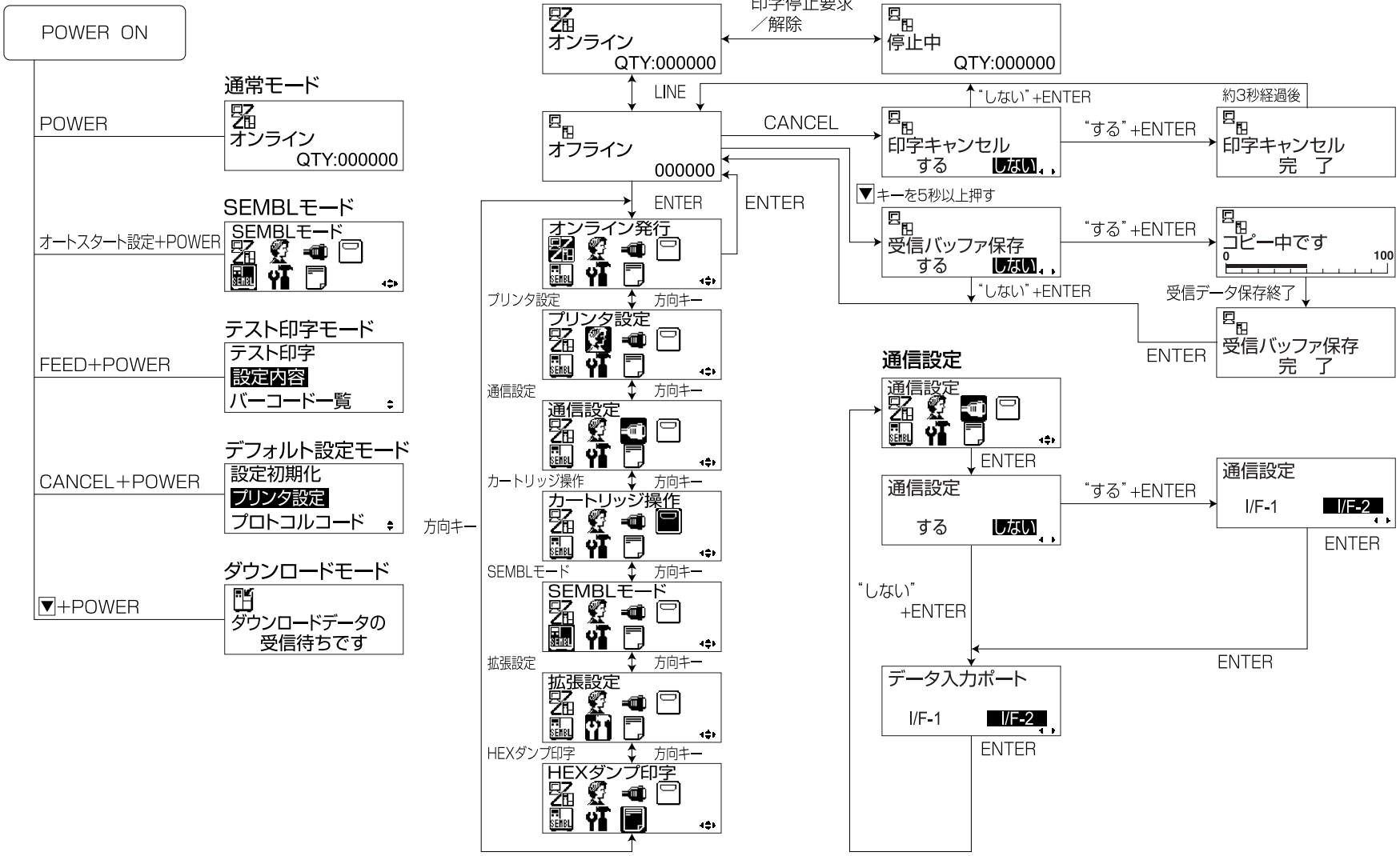


	SR400シリーズ　ミニLANインタフェースカード　ディップスイッチ表
NO	ONにしてプリンタの電源を入れたときの動作
1	未使用
2	ミニLANカード設定情報初期化
3	ミニLANカード設定情報印字（IPアドレス等の設定情報を印字します）
4	ミニLANカード自己診断印字（ミニLANカードの診断結果を印字します）

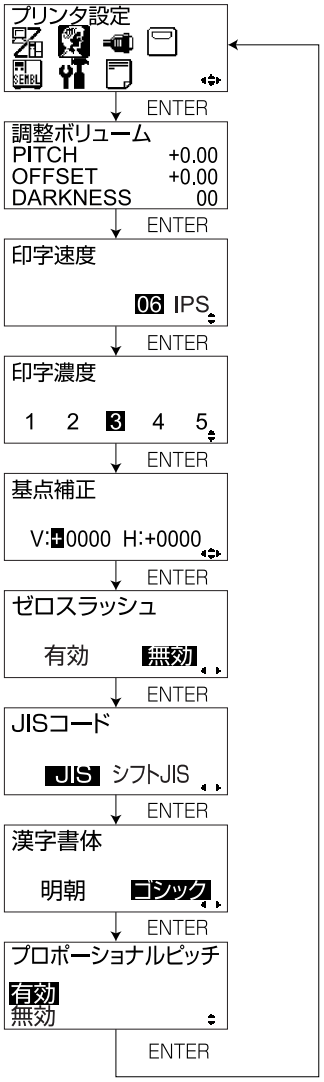
※全てOFFに設定してください。

ディスプレイ遷移図

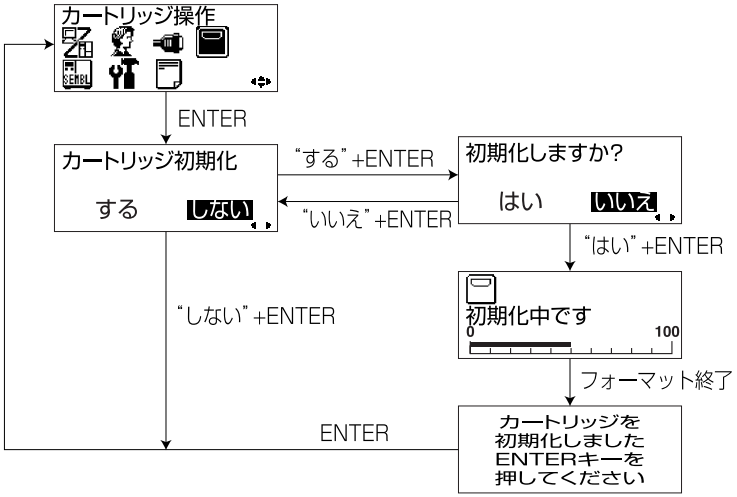
LCDモード一覧



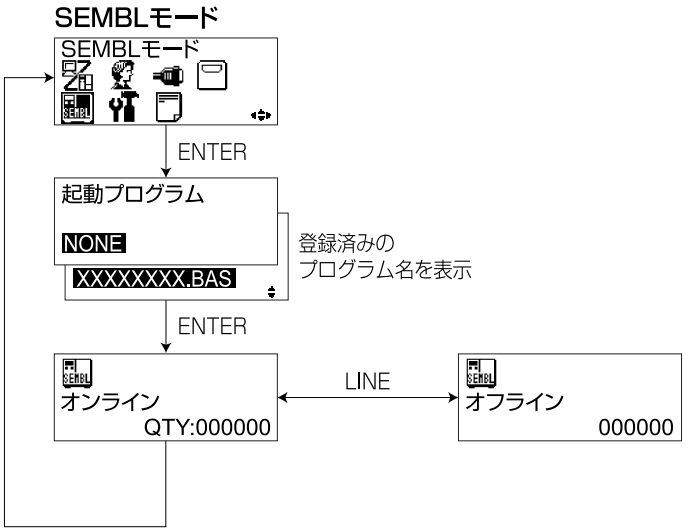
プリンタ設定



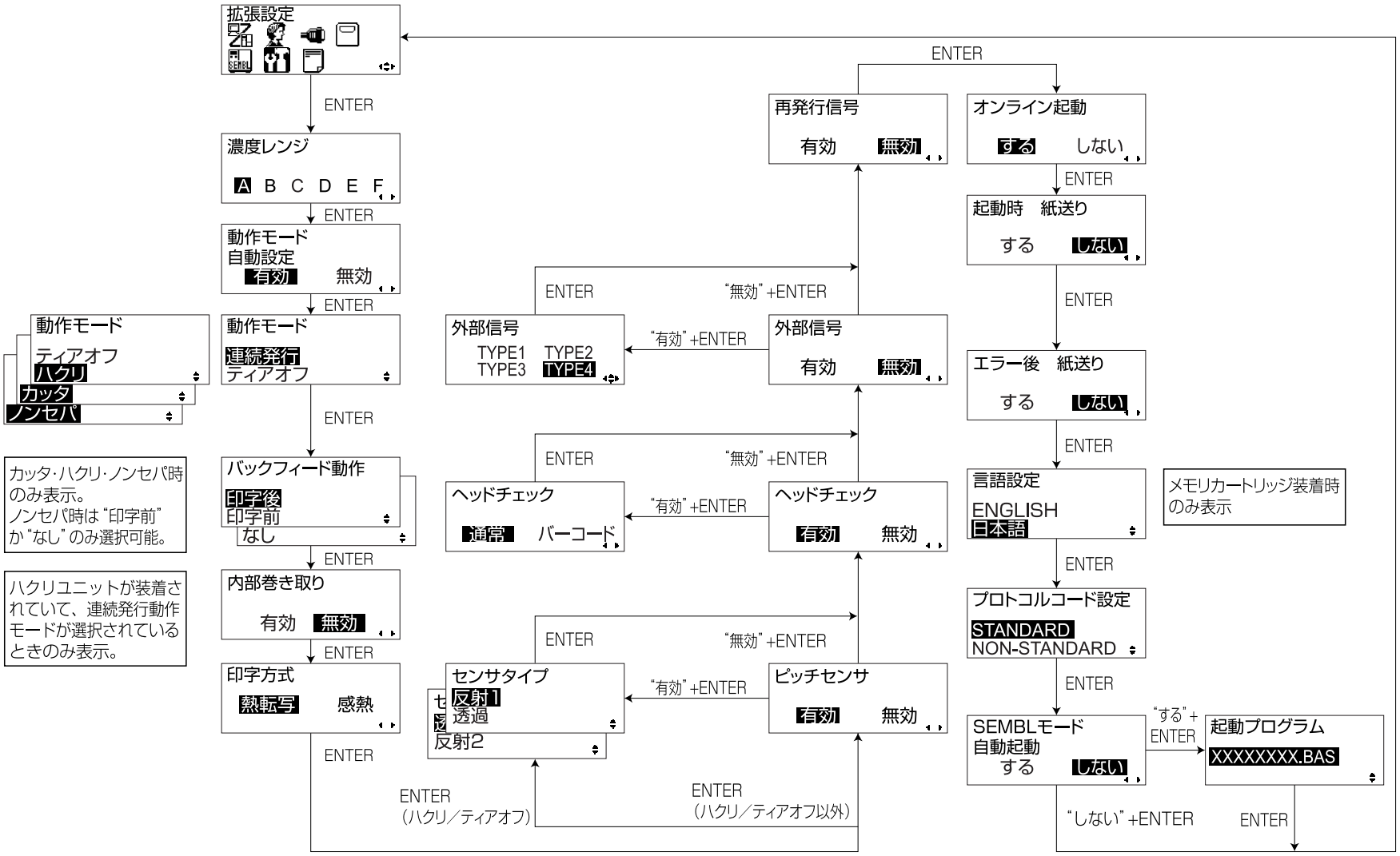
カートリッジ操作



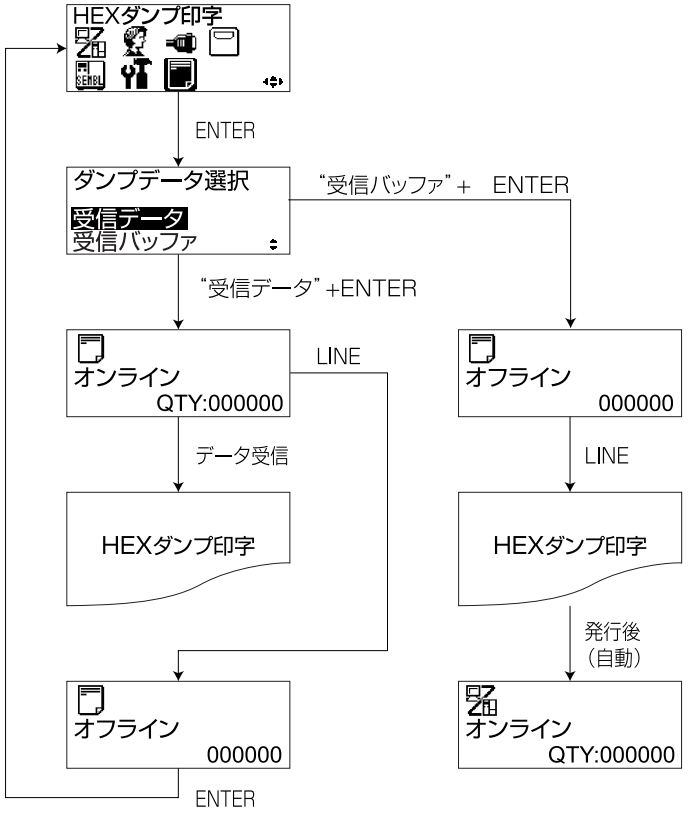
SEMBLモード



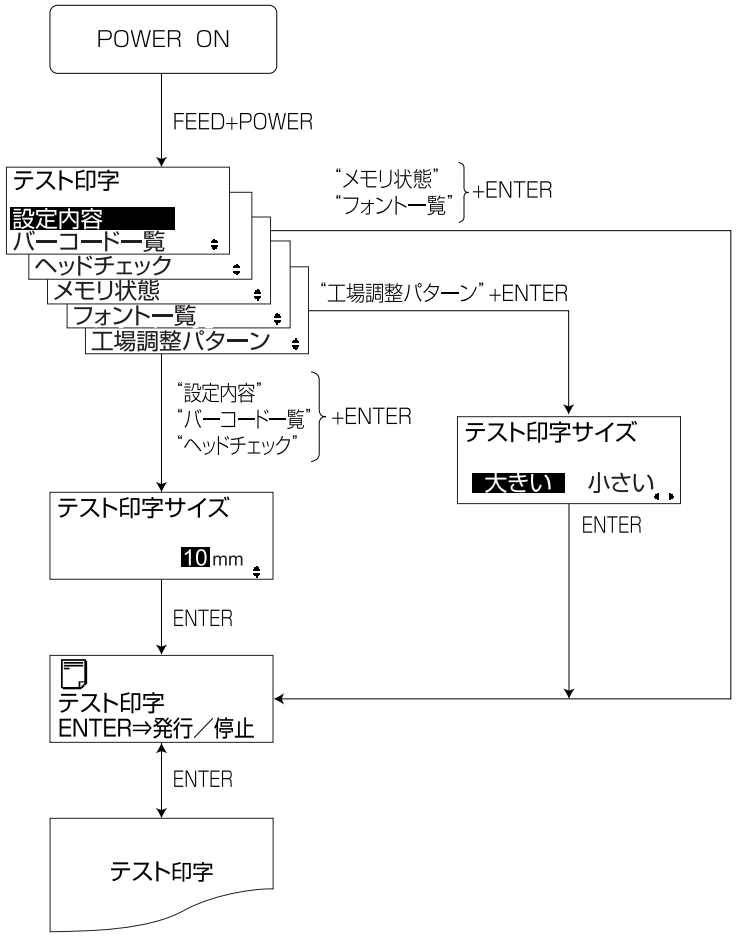
拡張設定


拡張設定
ENTER
濃度レンジ
A B C D E F
動作モード
自動設定
有効 無効
動作モード
ティアオフ
ハクリ
カッタ
ノンセパ
動作モード
連続発行
ティアオフ
カッタ・ハクリ・ノンセパ時のみ表示。
ノンセパ時は“印字前”か“なし”のみ選択可能。
バックフィード動作
印字後
印字前
なし
ハクリユニットが装着されていて、連続発行動作モードが選択されているときのみ表示。
内部巻き取り
有効 無効
印字方式
熱転写 感熱
“無効”+ENTER
“有効”+ENTER
外部信号
TYPE1 TYPE2
TYPE3 TYPE4
外部信号
有効 無効
ヘッドチェック
通常 バーコード
ヘッドチェック
有効 無効
センサタイプ
反射1
透過
反射2
ピッチセンサ
有効 無効
ENTER
（ハクリ／ティアオフ）
ENTER
（ハクリ／ティアオフ以外）
再発行信号
有効 無効
オンライン起動
する しない
起動時 紙送り
する しない
エラー後 紙送り
する しない
言語設定
ENGLISH
日本語
メモリカートリッジ装着時のみ表示
プロトコルコード設定
STANDARD
NON-STANDARD
SEMBLモード
自動起動
する しない
“する”+ENTER
起動プログラム
XXXXXXXX.BAS
“しない”+ENTER
ENTER

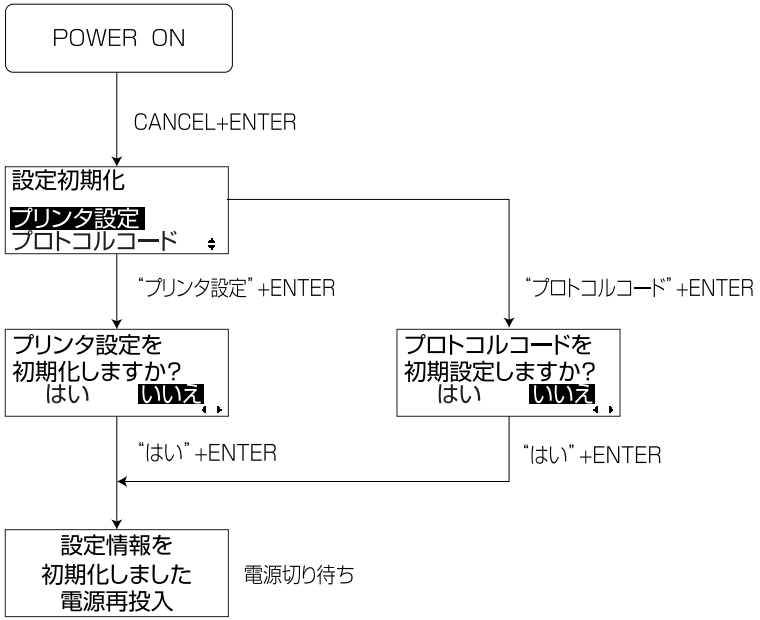
HEXダンプ印字



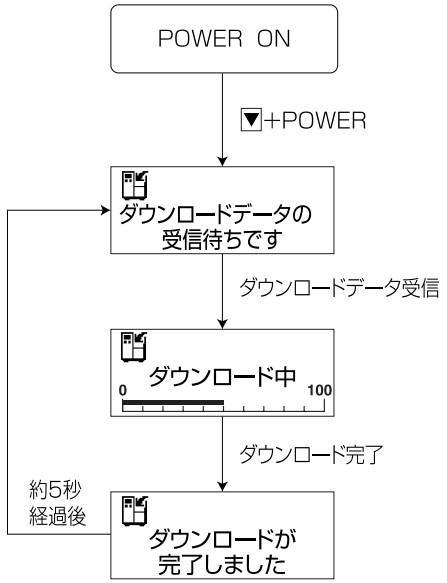
テスト印字モード



デフォルト設定モード



ダウンロードモード



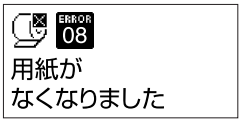
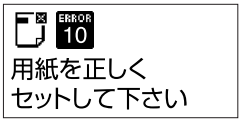
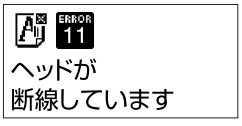
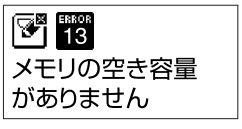
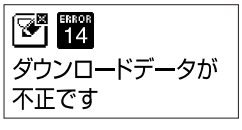
あれ？どうしたのかな？

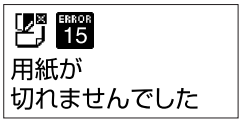
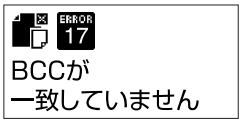
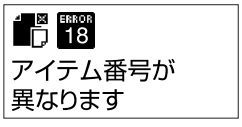
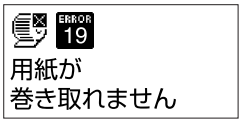
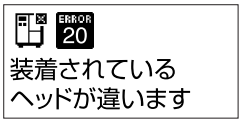
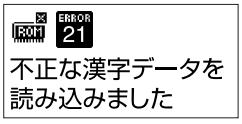
ディスプレイにエラーメッセージが表示されたとき、本機はエラー状態になります。こんなとき、どうしたらよいか説明します。また、本機の操作をしていてうまくいかなかったときはこの章をお読みください。

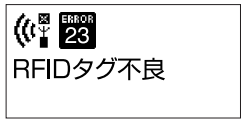
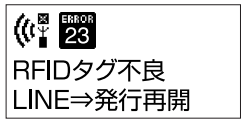
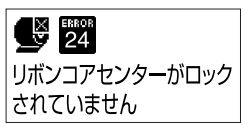
▲エラーメッセージがでたけれど

ディスプレイにエラーメッセージを表示したとき、プリンタはエラー状態になります。こんなときどうしたらよいか説明します。
また、プリンタを操作していて、うまくいかないときもこの章をお読みください。

エラー番号	LCD画面	説　　明
01	ERROR 01 マシンエラー	マシンエラーの画面です。 原　　因：基板不良。 対　　策：販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音：長音１回 外部信号：マシンエラー
02	ERROR 02 FLASHROMエラー	フラッシュROMエラーの画面です。 原　　因：①フラッシュROMにアクセスできない。 ②書込み回数オーバー 対　　策：販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音：長音１回 外部信号：マシンエラー
03	ERROR 03 通信条件を 確認してください	パリティエラーの画面です。 原　　因：①RS-232Cの通信設定が合っていない。 ②ケーブル接続異常。 対　　策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警 告 音：短音３回 外部信号：マシンエラー
04	ERROR 04 通信条件を 確認してください	オーバーランエラーの画面です。 原　　因：①RS-232Cの通信条件が合っていない。 ②ケーブル接続異常。 対　　策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警 告 音：短音３回 外部信号：マシンエラー
05	ERROR 05 通信条件を 確認してください	フレーミングエラーの画面です。 原　　因：①RS-232Cの通信条件が合っていない。 ②ケーブル接続異常。 対　　策：①通信条件を確認し通信条件を合わせてください。 ②ケーブルの接続を確認してください。 警 告 音：短音３回 外部信号：マシンエラー
06	ERROR 06 送信データが 多すぎます	バッファオーバーの画面です。 原　　因：①受信バッファを超えるデータを受信した場合。 ②通信プロトコルが合っていない。 対　　策：通信プロトコルに合うようにシステムを修正してください。 警 告 音：短音３回 外部信号：マシンエラー
07	ERROR 07 ヘッドが 開いています	ヘッドオープンの画面です。 原　　因：①ヘッド部がロックされていません。 ②ヘッド開閉検知用マイクロスイッチの異常。 対　　策：①ヘッド部をロックしてください。 それでも表示しているときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音：短音３回 外部信号：マシンエラー

エラー番号	LCD画面	説　　明
08		ペーパーエンドの画面です。 原　　因：①用紙がありません。 ②用紙が正しくセットされていません。 対　　策：①②用紙を正しくセットしてください。 警 告 音：短音３回 外部信号：ペーパーエンド
09		リボンエンドの画面です。 原　　因：①リボンがありません。 ②リボンが切れています。 対　　策：①リボンを正しくセットしてください。 ②リボン搬送ルートの清掃をしてください。 警 告 音：短音３回 外部信号：リボンエンド
10		センサエラーの画面です。 原　　因：①用紙センサのレベルが合っていません。 ②センサ種の設定が合っていません。 ③用紙蛇行 対　　策：①用紙センサのレベル調整をしてください。 ②用紙に合ったセンサを使用してください。 ③用紙搬送ルートの清掃を行ってください。 それでも表示しているときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音：短音３回 外部信号：マシンエラー
11		ヘッドエラーの画面です。 原　　因：ヘッドに異常があります。 対　　策：ヘッド交換。ヘッドの清掃を行い、再確認してください。 それでも表示しているときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音：長音1回 外部信号：マシンエラー
12		カートリッジ書込みエラー画面です。 原　　因：①カートリッジが挿入されていません。 ②コピー領域がありません。 ③書込みに失敗した。 ④フォーマットされていません。 対　　策：①カートリッジを挿入してください。 ②コピー領域を確認してください。 ③カートリッジを交換してください。 ④カートリッジをフォーマットしてください。 警 告 音：長音1回 外部信号：マシンエラー
13		カートリッジ容量不足の画面です。 原　　因：①カートリッジの空き容量がありません。 対　　策：①カートリッジの不要なデータを消してください。 警 告 音：長音1回 外部信号：マシンエラー
14		ダウンロードデータエラーの画面です。 原　　因：①不正なダウンロードデータを受信した。 ②ダウンロード領域がありません。 対　　策：①ダウンロードデータを確認してください。 ②ダウンロードデータサイズを確認してください。 警 告 音：長音1回 外部信号：マシンエラー

エラー番号	LCD画面	説　　明
15		カッタエラーの画面です。 原　　因：①カッタ部で用紙詰まりが発生した。 ②カッタ刃が所定の位置に戻っていません。 対　　策：①カッタ部の清掃をしてください。 ②[FEED]キーを押して、カッタ刃を所定の位置に戻してください。 それでも表示しているときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー
16		カッタオープンの画面です。 原　　因：①カッタユニットのカッタ上刃が開いている。 ②センサの異常。 対　　策：①カッタユニットのカッタ上刃を閉じてください。 それでも表示しているときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー
17		BCCチェックエラーの画面です。 原　　因：①送信データ（1アイテム分）に付加されたBCCが異なっている。 対　　策：①送信データおよび通信設定を確認してください。 警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー
18		アイテムNOエラーの画面です。 原　　因：①印字データ（1アイテム分）のシーケンス番号が前に印字したデータのシーケンス番号と合っていません。 対　　策：①送信データおよび通信設定を確認してください。 警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー
19		巻き取りフルエラーの画面です。 原　　因：①巻き取り機のラベルがいっぱいになった。 ②センサの異常。 対　　策：①巻き取ったラベルを取り除いてください。 それでも表示しているときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー
20		ヘッド密度エラーの画面です。 原　　因：①プリンタにヘッドが装着されてません。 ②非対応のヘッドが装着されている。 対　　策：①プリンタにヘッドを装着してください。 ②対応ヘッドを搭載してください。 警 告 音：短音3回 外部信号：出力しない
21		漢字ROMエラーの画面です。 原　　因：①漢字ROMより不正な漢字データが読み込まれた。 対　　策：①漢字ROMが装着されているか確認してください。 それでも表示しているときは、販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。 警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー

エラー番号	LCD画面	説　　明
23		RFIDタグエラーの画面です。 原　　因：①RFIDタグへ情報の書込みが正常に行えなかった。 対　　策：①別のRFIDタグに情報を書込んでください。 警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー
		RFIDタグエラー、エラー解除確認の画面です。 原　　因：①RFIDタグへ情報の書込みが正常に行えなかった。 対　　策：①別のRFIDタグに情報を書込んでください。 警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー
		RFIDタグプロテクトエラーの画面です。 原　　因：①RFIDタグがプロテクトされていて、情報の書込みが行えなかった。 対　　策：①別のRFIDタグに情報を書込んでください。 警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー
24		リボン巻き取り部ノブのノンロックエラーの画面です。 原　　因：リボン巻き取り部ノブがロックされていません。 対　　策：リボン巻き取り部ノブをロックしてください。 警 告 音：短音3回 外部信号：マシンエラー

【警告表示】

エラー番号	LCD画面	説　　明
1		ラベルニアエンドの画面です。 原　　因：①プリンタにセットされている用紙の残量が少なくなった。 対　　策：①用紙を交換してください。 警 告 音：なし 外部信号：出力しない
2		リボンニアエンドの画面です。 原　　因：①プリンタにセットされているリボンの残量が少なくなった。 対　　策：①リボンを交換してください。 警 告 音：なし 外部信号：リボンニアエンド
3		受信バッファニアフルの画面です。 原　　因：①受信バッファの空き容量が少なくなった。 対　　策：①受信済みデータの解析が終了するまで、上位機器からデータ送信しない。 警 告 音：なし 外部信号：出力しない
4		コマンドエラーの画面です。 原　　因：①コマンドエラーを検出した。 対　　策：①印字データを見直してください。 警 告 音：短音1回 外部信号：出力しない
5		ヘッドエラーの画面です。 原　　因：①ヘッドチェック検出方法に“通常”を選択した状態で、ヘッド断線を検出し、 ヘッドチェック検出方法を“バーコード”に切替えて印字発行を継続している。 対　　策：①ヘッドを交換してください。 警 告 音：なし 外部信号：出力しない

▲あれ？STATUS LEDが…

STATUS LEDが点滅または警告アイコン表示する場合があります。
これはエラーではなく、プリンタの現在の状態を知らせるメッセージです。

○STATUS LEDが緑で点滅



メッセージの意味

要　　因：受信データを多く受信したため、受信バッファが残り少なくなっています。
対応方法：このまま使用しても構いません。
　　プリンタの内部処理が進み、受信データが少なくなると自動的に消えます。

▲あれ？RIBBON LEDが…

RIBBON LEDが点滅または警告アイコン表示する場合があります。
これはエラーではなく、プリンタの現在の状態を知らせるメッセージです。

○RIBBON LEDが赤で点滅

メッセージの意味

要　　因：リボンが残り少なくなっております。
対応方法：このまま使用し続けても構いません。
　　印字途中でエラー09リボンエンドが表示された場合はリボンを交換してください。

▲あれ？LABEL LEDが…

LABEL LEDが点滅または警告アイコン表示する場合があります。
これはエラーではなく、プリンタの現在の状態を知らせるメッセージです。

○LABEL LEDが赤で点滅

メッセージの意味

要　　因：ラベルが残り少なくなっております。
対応方法：このまま印字し続けても構いません。
　　印字途中でエラー08ラベルエンドが表示された場合はラベルを交換してください。

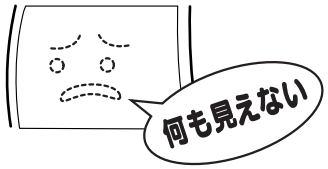
▲あれ？ブザー音が…

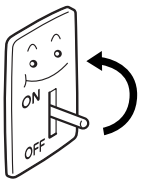
コマンド記述の誤り又は印字領域指定が誤っています。
対応方法：プログラムを見直してください。

▲こんなときは？

本機の操作をしてもうまくいかなかったときは、つぎのことを確認してみてください。

電源を入れてもディスプレイに何も表示されない。

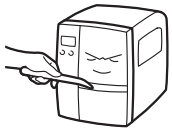
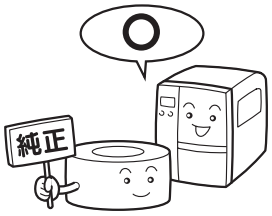


	【確認してください】	【直しかた】
1	電源コンセントに、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、コンセントにしっかりと差し込み直します。
2	本機に、電源コードがしっかりと差し込まれていますか？	電源コードを、本体の電源コネクタにしっかりと差し込み直します。
3	電源コードがいたんでいませんか？	電源コードを取り替えてください。 新しい電源コードは、本機を購入された販売店・ディーラーで必ず本機専用の電源コードをお求めください。本機専用の電源コード以外は絶対に使用しないでください。
4	本機の電源を取っている電源コンセントに電気がきていますか？	電源コンセントのもと電源を調べてください。もと電源に問題がないときは、建物全体に電気がきているか調べてください。停電の可能性も調べてください。 
5	建物の電源ヒューズが切れたり、ブレーカーが落ちたりしていませんか？	建物の電源ヒューズを取り替え、ブレーカーを電源オンの位置に直してください。

注意

- 濡れた手で電源スイッチの操作や電源コードの抜き差しをしないでください。感電する恐れがあります。

紙送りはするけど印字されない

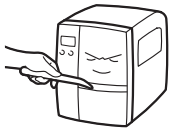
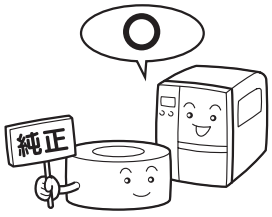
	【確認してください】	【直しかた】
1	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたら、添付のクリーニングセットで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。 ＊金属物での除去は避けてください（サーマルヘッドを傷つける恐れがあります）。 このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、添付のクリーニングセットでふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。 →108ページ 
2	本機専用の純正用紙・カーボンリボンを使っていますか？ 	本機専用の純正用紙・カーボンリボンを必ず使ってください。 
3	用紙センサが汚れていませんか？	用紙センサが汚れていたら、添付のクリーニングセットで汚れをふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。→108ページ
4	カーボンリボンが正しく巻き取れていますか？	リボン巻き取り部のノブが元の位置にセットされていなかったら、１度巻きつけたカーボンリボンを取り除き、ノブを元の位置に戻してセットしてください。
5	コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？	電源を入れ直してください。 それでもメッセージが表示されたら、コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。

注意

- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

きれいに印字しない

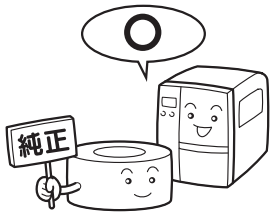


	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンがきちんと固定されているか調べてください。また、サーマルヘッド部を開けて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にあるか調べてください。
2	印字濃度が薄すぎたり、濃すぎたりしていませんか？	設定操作で印字濃度を設定し直してください。
3	プラテンローラが汚れていませんか？	プラテンローラが汚れていたら、添付のクリーニングセットで汚れをふき取ってください。
4	サーマルヘッドが汚れていたり、ラベルが貼りついていませんか？	サーマルヘッドが汚れていたら、添付のクリーニングセットで汚れをふき取ってください。ラベルが貼りついていたらはがしてください。 ＊金属物での除去は避けてください（サーマルヘッドを傷つける恐れがあります）。 このとき、ラベルののりがサーマルヘッドに付着していたら、添付のクリーニングセットでふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。→108ページ 
5	汚れた用紙を使っていませんか？	きれいな用紙を使ってください。
6	本機専用の純正用紙・カーボンリボンを使っていますか？ 	本機専用の純正用紙・カーボンリボンを必ず使ってください。 

注意

- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

印字位置がずれる

	【確認してください】	【直しかた】
1	用紙・カーボンリボンが正しくセットされていますか？	用紙・カーボンリボンをきちんと固定してください。また、サーマルヘッド部を開けて、用紙・カーボンリボンが正常な位置にあるようにセットし直してください。
2	プラテンローラが汚れていませんか？	プラテンローラが汚れていたら､添付のクリーニングセットで汚れをふき取ってください。
3	型くずれした用紙・カーボンリボンを使っていませんか？	用紙・カーボンリボンの周囲が型くずれしていると紙送りが正常にできません。新しい型くずれしていない用紙・カーボンリボンを使ってください。
4	本機専用の純正用紙・カーボンリボンを使っていますか？ 	本機専用の純正用紙・カーボンリボンを必ず使ってください。 
5	用紙センサが汚れていませんか？	用紙センサが汚れていたら、添付のクリーニングセットで汚れをふき取ってください。「毎日のお手入れ」を参照してください。→108ページ
6	コンピュータから送られてくるデータ・信号の内容が誤っていませんか？	電源を入れ直してください。 それでもメッセージが表示されたら、コンピュータ側のソフトウェアの内容や通信条件の確認をしてください。
7	ピッチ補正（ボリューム）または、基点補正（ユーザーモード設定）の内容がおかしくありませんか？	ピッチ補正（ボリューム）または、基点補正（ユーザーモード設定）の内容を設定し直してください。

注意

- 清掃は、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

メモリカートリッジの取り扱い

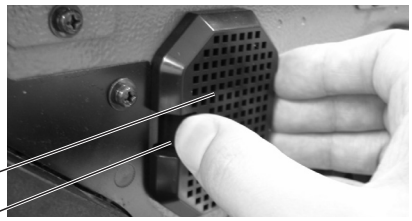
▲メモリカートリッジ

印字フォーマットやグラフィックデータなどを記憶させることができます。

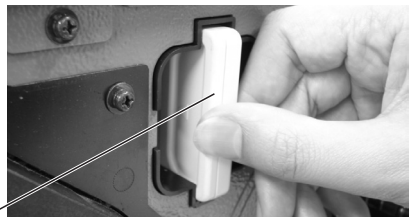
取り付け方

1 オープンカバーを開けます。

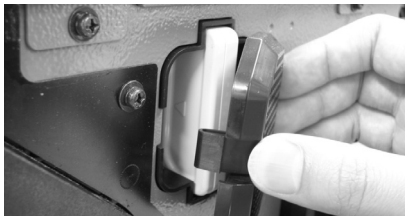
2 メモリカートリッジカバーのつまみを内側に倒して取り外します。



3 メモリカートリッジを差し込みます。



4 メモリカートリッジカバーのつまみを押しながら取り付けます。



5 オープンカバーを閉じます。

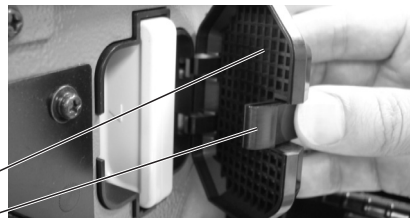
⚠注意

- メモリカートリッジを取り付けずにメモリカードコマンドを送信するとエラーが発生します。詳細は、「あれ？どうしたのかな？」を参照してください。→95ページ

取り外し方

1 オープンカバーを開けます。

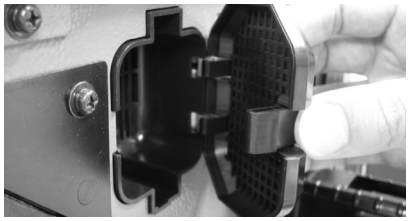
2 メモリカートリッジカバーのつまみを内側に倒して取り外します。



3 メモリカートリッジを引き抜きます。



4 メモリカートリッジカバーのつまみを押しながら取り付けます。



5 オープンカバーを閉じます。

⚠注意

- メモリカートリッジの取り付け、取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体の電源を切ってから行ってください。メモリカートリッジや基板、プリンタ本体を破損する恐れがあります。
- メモリカートリッジカバーは、メモリカートリッジが挿入されているとき、または挿入されていないときでも、異物混入防止のため必ず取り付けてください。
- メモリカートリッジカバーは、無くさないように保管してください。

オプションについて

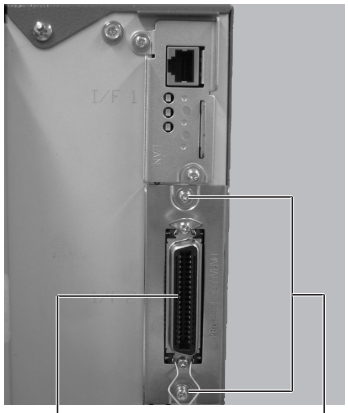
本プリンタではお客様のニーズにお答えできるように、次のオプションを用意しております。

オプションの種類

▲インタフェースボード

プリンタとコンピュータとのデータをやり取りするためのボードです。

○パラレルインタフェースボード（IEEE1284）（オプション）
○シリアルインタフェースボード（RS-232C）（オプション）
○USBインタフェースボード（オプション）
○LAN2インタフェースボード（オプション）
○無線LAN2インタフェースボード（オプション）
○ミニLANインタフェースボード（オプション）
○ETXコネクタ（外部信号インタフェース）（オプション）



※ご不明な点がありましたら、購入された販売店、ディーラー、またはサポートセンターにお問い合わせください。

注意

インタフェースボードの取り付け取り外しを行うときは、必ず、プリンタ本体の電源を切ってから行ってください。インタフェースボードやプリンタ本体を破損する恐れがあります。

▲カッタタイプ（工場オプション）

プリンタに用紙をカットする、カッタユニットを取り付けたタイプです。

▲簡易ハクリタイプ（工場オプション）

プリンタにラベルと台紙をはがす、簡易ハクリユニットを取り付けたタイプです。

▲ハクリタイプ（工場オプション）

プリンタにラベルと台紙をはがす、ハクリユニットを取り付けたタイプです。

▲ノンセパタイプ（工場オプション）

台紙のないラベルを印字し、カットするカッタユニット（ノンセパ専用）を取り付けたタイプです。

▲ラベル内部巻き取りタイプ（工場オプション）

プリンタにラベルを内部で巻き取る、内部巻き取りユニットを取り付けたタイプです。

▲RFIDタイプ（工場オプション）

ICタグ、ラベルを読み込み・書き込みする、RFIDユニットを取り付けたタイプです。

毎日のお手入れ

本機は大切な情報を含んだバーコードや文字を印字するプリンタです。各部が汚れていると大切なバーコードや文字もきれいに印字できなくなるだけでなく、故障の原因にもなります。定期的に清掃してください。

▲お手入れの時期

お手入れの時期の目安は、次の通りです。

クリーニングセットでのお手入れ

- サーマルヘッド、プラテンローラ、用紙センサ、ラベルガイド …用紙1巻おき、あるいは用紙150メートル印字ごと
- その他…用紙6巻おき、あるいは用紙900メートル印字ごと

ラッピングシートでのお手入れ

- 用紙6巻おき、あるいは900メートル印字ごと

▲お手入れのときの注意

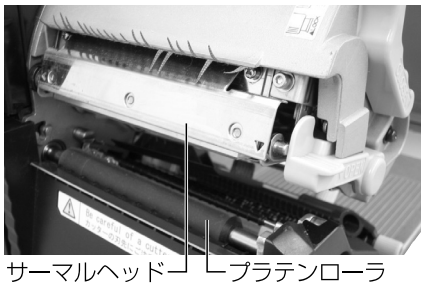
お手入れのとき、次のことに注意してください。

- 上の清掃時期は目安ですので、汚れの程度によって都合の良い時期に清掃してください。
- 各部の清掃には、クリーニングペンや綿布をご使用ください。
- ドライバーなどの堅いものを使用して清掃すると、各部を傷つける恐れがあります。特にヘッド部の清掃には絶対に使用しないでください。
- 電源は必ず切ってからおこなってください。

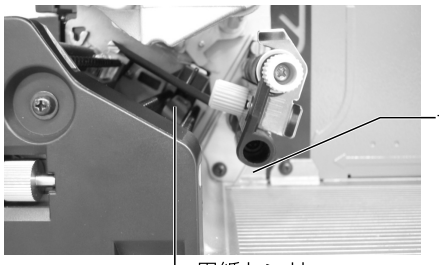
▲お手入れのしかた（1）

付属のクリーニングセットを使って、次の部分を清掃してください。

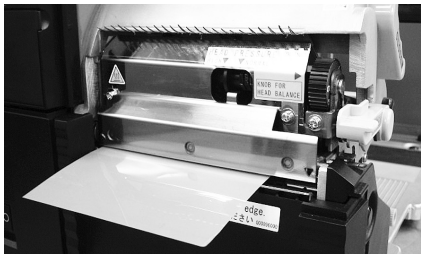
サーマルヘッド部



センサとガイド



ラッピングシート



プリンタクリーニングセット



ラッピングシートの使い方は、ラッピングシートに添付しています。
「サーマルヘッド付着カス除去について」をご覧ください。

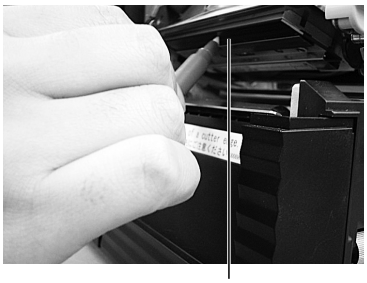
①オープンカバー・サーマルヘッド部を開け、ヘッド部分を見えるようにします。

②クリーニングペンで、サーマルヘッド、用紙センサの汚れを拭き取ります。

③クリーニング液を綿布に浸して、プラテンローラの汚れを拭き取ります。

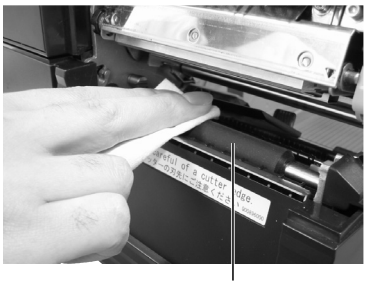
※ノンセパ仕様をお使いの方は、その他にクリーニングペンでカッタ固定刃の汚れもふき取ってください。
※カーボンリボンをお使いの場合は、必ずカーボンリボンをはずしてから清掃してください。

サーマルヘッドおよび用紙センサのクリーニング



サーマルヘッド

プラテンローラのクリーニング



プラテンローラ

▲お手入れのしかた（2）

付属のヘッドクリーニングシートを使って次の部分をクリーニングしてください。

①オープンカバー、サーマルヘッド部を開けます。ラベル、カーボンリボンをはずします。

② ヘッドクリーニングシートをサーマルヘッドとプラテンローラの間に挟み、サーマルヘッド部を閉じます。

③両手でヘッドクリーニングシートを手前に引きます。
これを2～3回繰り返してください。
これでサーマルヘッドの付着カスは除去されます。まだカスが残っている時は、さらに数回繰り返してください。

④サーマルヘッドをクリーニングペンでクリーニングし、ヘッド面をきれいにしてください。

※ヘッドクリーニングシートは、ザラザラしている面がサーマルヘッド側になるようにはさんでください。
※カーボンリボンをお使いの場合は、必ずカーボンリボンをはずしてから清掃してください。

サーマルヘッドのクリーニング



基本仕様

モデル名		SR408	SR412	SR424
印字方式		熱転写または感熱方式		
ヘッド密度		8ドット/mm（203dpi）	12ドット/mm（305dpi）	24ドット/mm（609dpi）
印字有効範囲		幅104mm×ピッチ2500mm	幅104mm×ピッチ1500mm	幅104mm×ピッチ400mm
		奥側より3mm印字不可。		
印字速度		最大12インチ/秒 （約300mm/秒）	最大12インチ/秒 （約300mm/秒）	最大6インチ/秒 （約150mm/秒）
		注）但し、印字レイアウト、用紙、カーボンリボンの種類によっては制限する場合があります。		
用紙		当社製指定用紙を必ずお使いください。		
紙厚		0.060mm～0.268mm		
ラベルサイズ（台紙及び厚紙サイズ）	標準	幅　：22～128mm（25～131mm） ピッチ：6～397mm（9～400mm）		
	ティアオフ	幅　：22～128mm（25～131mm） ピッチ：17～397mm（20～400mm）		
	ハクリ	幅　：22～128mm（25～131mm） ピッチ：17～397mm（20～400mm）		
	カッタ	幅　：22～128mm（25～131mm） ピッチ：17～397mm（20～400mm）		
	ノンセパ	幅　：22～128mm（25～131mm） ピッチ：17～397mm（20～400mm）		
		発行枚数や用紙のサイズ、種類により規制する場合があります。 但し、使用条件によってサイズを規制する場合があります。		
収容枚数	ロール紙	最大外径：200mm（約150m/巻）3インチ紙管使用 裏巻き（ただし、ノンセパは表巻のみ）		
	ファンフォールド紙	最大折り畳み高さ：200mm 「ファンフォールド紙のセット」を参照してください。→16ページ		
カーボンリボン 幅 長さ 基材の厚さ 色 巻き方向		当社製指定カーボンリボンを必ず使用してください。 39.5、45、59、76、84、92、102、111、128mm カーボンリボン幅は、ご使用になる用紙より広い幅をご使用ください。 300m/巻 4.5μm 黒（標準）、その他：赤、青、紫、緑 裏巻き		
ラベル発行		連続、ティアオフ、ハクリ、カッタ、ノンセパ		
寸法		W271mm×D455mm×H305mm（標準）		
重量		14Kg（標準）		
電源		入力電圧：AC　100V―240V±10% 消費電力：最大　200VA　150W、印字率　30%（待機時　89VA　40W）		
環境条件		動作周囲温度　0～40℃ 湿度　30～80%（但し、結露無きこと） 保存周囲温度　―5～60℃ 湿度　30～90%（但し、結露無きこと） 用紙、カーボンリボンは除く。		

モデル名		SR408	SR412	SR424
外部インタフェース		インタフェースボード ○パラレル（IEEE1284） ○RS-232C ・READY/BUSY ・XON/XOFF ・ステータス2/3 ・ドライバ専用プロトコル ・ステータス5 ○USB（Ver2.0） ○LAN2（10BASE-T/100BASE-TX自動切替え） ○無線LAN2（LAN：10BASE-T/100BASE-TX自動切替え、無線LAN：IEEE802.11b/g） ○ミニLAN（10BASE-T/100BASE-TX自動切替え） ○外部信号（EXT）インタフェース（14ピン）		
操作パネル	キー	LINE、FEED FUNCTION、▲／▼／◀／▶、ENTER、CANCEL		
	スイッチ	POWERスイッチ		
	LCD	グラフィックLCD（バックライト付き）　縦32ドット×横128ドット		
	LED	POWER、ONLINE、STATUS、LABEL、RIBBON		
	調整用ボリューム	VOLUME　：ブザー音量調整 PITCH　：印字位置調整 OFFSET　：ティアオフ、ハクリ、カッタ停止位置調整 DARKNESS：印字濃度調整		
センサ		用紙センサ　：反射型、透過型		
メモリカートリッジ		FLASH ROM 16MByte（ユーザーエリア4MByte）		
印字フォーマット		ホスト（コンピュータ）より転送（フォーマット登録機能あり）		
収容文字種	標準	X20　5×9ドット　（英数・記号・カナ） X21　17×17ドット　（英数・記号・カナ） X22　24×24ドット　（英数・記号・カナ） X23　48×48ドット　（英数・記号・カナ） X24　48×48ドット　（英数・記号・カナ） アウトラインフォント　（英数・記号・カナ） OCR-A　SR408　15×22ドット　（英数・記号） SR412　22×33ドット　（英数・記号） SR424　44×66ドット　（英数・記号） OCR-B　SR408　20×24ドット　（英数・記号） SR412　30×36ドット　（英数・記号） SR424　60×72ドット　（英数・記号）		
	TrueTypeフォント	CG Times　（英数・記号） CG Triumvirate　（英数・記号）		
	漢字フォント	16×16ドット　JIS第1水準、第2水準　明朝体またはゴシック体のいずれか選択可能 24×24ドット　JIS第1水準、第2水準　明朝体またはゴシック体のいずれか選択可能 22×22ドット　JIS第1水準、第2水準　明朝体またはゴシック体のいずれか選択可能 32×32ドット　JIS第1水準、第2水準　明朝体またはゴシック体のいずれか選択可能 40×40ドット　JIS第1水準、第2水準　明朝体またはゴシック体のいずれか選択可能 漢字アウトラインフォント		
バーコード	1次元コード	UPC-A/E、EAN8/13、JAN8/13 NW-7 INTERLEAVED 2 of 5（ITF） INDUSTRIAL 2 of 5 MATRIX 2 of 5 CODE39、CODE93、CODE128 UCC/EAN128 カスタマバーコード RSS-14		

モデル名		SR408	SR412	SR424
バーコード	2次元コード	QRコードモデル2、マイクロQR（Ver8.1） PDF417（Ver2.4　マイクロPDFを含む） MAXIコード（Ver3.0） データマトリックスECC200（Ver2.0） 合成シンボル（UPC-A/E、EAN8/13、JAN8/13、CODE39、CODE128 RSS-14によるCC-A/B/C対応）		
倍率		縦1～12倍、横1～12倍（文字） 1～12L（バーコード）		
回転		文字：0°、90°、180°、270° バーコード：パラレル1、シリアル1、パラレル2、シリアル2		
バーコード比率		1：2、1：3、2：5、任意指定		
ユーザーモード		1、ボリューム設定値表示　2、印字速度　3、印字濃度　4、印字位置補正 5、ゼロスラッシュ切替え　6、漢字コード切替え　7、漢字フォント設定 8、プロポーショナルピッチ設定		
自己診断機能		ヘッドチェック/ヘッドオープン/ペーパーエンド/リボンエンド/巻き取りフル/ 漢字ROMチェック/テスト印字		
ノイズ規格	放射ノイズ	VCCI　クラスB		
オプション		ハクリユニット（台紙巻き取り機付き）、カッタユニット、ノンセパユニット、 簡易ハクリユニット、内部巻き取りユニット、外部巻き取りユニット、RFIDユニット、 検証用スキャナユニット、EXTコネクタ（外部信号）、インタフェースボード（RS-232C、 パラレル（IEEE1284）、USB、LAN2（10BASE-T/100BASE-TX）、 無線LAN2（LAN：10BASE-T/100BASE-TX、無線LAN：IEEE802.11b/g）、 ミニLAN（10BASE-T/100BASE-TX）		

アフターフォローについて

サトーでは、お買い上げいただきましたサトーのシステム機器を、安心してご使用いただくために、保守サービス業務を行っております。
保守サービス業務について、ご説明します。

サービスの種類一覧表

	交換部品	技術料	出向費
保証期間内サービス	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償	保証規定に基づき無償
保守契約サービス	契約料金に含みます	契約料金に含みます	契約料金に含みます
スポットサービス	そのつど有償	そのつど有償	そのつど有償

標準仕様機器の補修部品の保有は、当該機器の販売終了後より5年間とさせていただきます。
（機器の販売終了につきましては、弊社のホームページhttp://www.sato.co.jpでご確認ください。）

保守サービスの内容一覧表

出向保守	オンサイト保守	故障が発生した場合、お客様のご要望により技術員を派遣し、故障の修復にあたります。
持ち込み保守	センドバック保守	故障が発生した場合は用紙を同梱した状態で、機器・故障ユニットを最寄りのサポートセンター・販売店へ、お客様により持ち込んで（運送して）いただいて、故障の修復にあたります。運送費はお客様負担となります。

保守サービスの説明

保証期間の保守サービス

製品は1台ごとに検査し、お届けしていますが、安心してご使用いただくため、正常な使用のもとでの故障については、納入日より6ヵ月間を保証期間として無償修理を行っております。
機種により保証条件が異なることがありますので、くわしくは保証書をご覧ください。

保守契約サービス

保証期間が過ぎましても、安心してご使用いただくために「保守契約サービス」があります。

フルメンテナンスサービス

1. 目的

お客様とサトーが保守契約し、契約期間中の正常なご使用のもとでの修理故障は、この契約に基づき実施いたします。技術料、および修理に使用した交換部品は、保守契約により充当されます。したがって、お客様にとりましては１年間一定の保守料で安心してご使用いただくことができます。

2. 保守契約料

保守契約料は、機器ごとにご使用状況別に年間の契約料をお見積りいたします。

保守契約サービスの期間

フルメンテナンスサービスは１ヵ年単位で契約し、解約のお申し出がない限り、４年間まで継続して契約することができます。４年をこえる保守契約サービスについては、別基準にしたがい個々にお見積りいたします。

保守契約の対象地域について

保守契約の対象地域に、サトー本社、支店、営業所、サポートセンターの所在地より半径80km以内といたします。対象地域外の場合は、遠隔地料を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。
なお離島の場合は、交通費を含む保守契約料により保守契約を申し受けます。

スポットサービス

保守契約を申し受けていない場合、保証期間終了後、すべてスポットサービスを実施いたします。
故障時には、保守契約のお客様を優先して対応させていただきますので、修理に時間がかかることがございますが、ご了承ください。
スポットサービスを実施した場合、サービス料金表に基づき、保守料を請求させていただきます。そのつどお支払いくださいますよう、お願いいたします。

銀行預金口座振込

お支払いには、振込手続が不要で便利な「銀行預金口座振込システム」のご利用をお勧めいたします。

登録データについて

修理を依頼される場合は、機械又はカード等に登録された各種データ・ソフト（フォーマット・プリセットデータ・印字ソフト等々）は、修復作業時に壊れる場合があります。（登録された各種データ・ソフトの保証は出来ません）
特に預かり・持込み保守におきましては、お客様で予め別途保存されることをお勧めします。修理の完了した機械の受け取り時に登録データの確認または再登録をお願いいたします。

SATO

DCS&Labeling Worldwide

株式会社 サトー

Q00937001